

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	01
担当教員	秋山 孝信	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	3125	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語と日本語の分析をとおして、両言語の類似点と相違点について具体例を挙げながら説明することができる。 2. 他者の意見を尊重した上で、客観的な事実や証拠に基づき自分の意見を効果的に伝えることができる。 3. 他者と共通の目的を設定し、互いに協力しながら目的を遂行することができる。またリーダーシップを発揮することができる。 4. TOEIC の受験対策を行うことによって、英語自主学习の方法を検討・改善し、目標スコアに到達することができる。 <p>対応 DP 及び CP : 1, 2, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本講義では、英語・日本語を分析する際に有効な認知・機能主義的アプローチに基づいて言語の研究を進めます。前期は、自分で設定した問い（研究対象）に対して、言語理論とコーパスデータに基づき、妥当性の高い仮説を提出することを目指します。自分の研究を批判的に検討し、またゼミ内での討議をとおして議論の妥当性を高めていきます。後期は、4 年次の研究論文の執筆に備えて、言語理論とアプローチに関する理解を深めます。ここでは、ビジネス英語表現、経済用語、広告表現などに注目し、理論とデータの応用の仕方を学びます。</p>

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	言語の分析における理論とデータの役割	<p>言語を分析にするにあたり、どのように理論とデータを援用するのかについて、先行研究を参照しながら討議を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。</p>
第 2 回	研究発表と討議（1）	<p>各自で設定した研究テーマについて、言語理論と実証の両面から検討した結果について発表を行う。その後、発表内容について全体で討議する。</p> <p>【事前学習】2 時間 事前に送信する発表者のハンドアウトに目をとおして概要を理解しておくこと。また、これまでの学習内容と照合して、理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。</p>
第 3 回	研究発表と討議（2）	<p>各自で設定した研究テーマについて、言語理論と実証の両面から検討した結果について発表を行う。その後、発表内容について全体で討議する。</p> <p>【事前学習】2 時間 事前に送信する発表者のハンドアウトに目をとおして概要を理解しておくこと。また、これまでの学習内容と照合して、理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。</p>
第 4 回	研究発表と討議（3）	<p>各自で設定した研究テーマについて、言語理論と実証の両面から検討した結果について発表を行う。その後、発表内容について全体で討議する。</p> <p>【事前学習】2 時間 事前に送信する発表者のハンドアウトに目をとおして概要を理解しておくこと。また、これまでの学習内容と照合して、理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。</p>
第 5 回	研究発表と討議（4）	<p>各自で設定した研究テーマについて、言語理論と実証の両面から検討した結果について発表を行う。その後、発表内容について全体で討議する。</p> <p>【事前学習】2 時間 事前に送信する発表者のハンドアウトに目をとおして概要を理解しておくこと。また、これまでの学習内容と照合して、理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。</p>
第 6 回	研究発表と討議（5）	<p>各自で設定した研究テーマについて、言語理論と実証の両面から検討した結果について発表を行う。その後、発表内容について全体で討議する。</p> <p>【事前学習】2 時間 事前に送信する発表者のハンドアウトに目をとおして概要を理解しておくこと。また、これまでの学習内容と照合して、理解できる部分と疑問点を把握してお</p>

		<p>くこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。</p>
第 7 回	研究発表と討議（6）	<p>各自で設定した研究テーマについて、言語理論と実証の両面から検討した結果について発表を行う。その後、発表内容について全体で討議する。</p> <p>【事前学習】2 時間 事前に送信する発表者のハンドアウトに目をとって概要を理解しておくこと。また、これまでの学習内容と照合して、理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。</p>
第 8 回	研究発表と討議（7）	<p>各自で設定した研究テーマについて、言語理論と実証の両面から検討した結果について発表を行う。その後、発表内容について全体で討議する。</p> <p>【事前学習】2 時間 事前に送信する発表者のハンドアウトに目をとって概要を理解しておくこと。また、これまでの学習内容と照合して、理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。</p>
第 9 回	研究発表と討議（8）	<p>各自で設定した研究テーマについて、言語理論と実証の両面から検討した結果について発表を行う。その後、発表内容について全体で討議する。</p> <p>【事前学習】2 時間 事前に送信する発表者のハンドアウトに目をとって概要を理解しておくこと。また、これまでの学習内容と照合して、理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。</p>
第 10 回	研究発表と討議（9）	<p>各自で設定した研究テーマについて、言語理論と実証の両面から検討した結果について発表を行う。その後、発表内容について全体で討議する。</p> <p>【事前学習】2 時間 事前に送信する発表者のハンドアウトに目をとって概要を理解しておくこと。また、これまでの学習内容と照合して、理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。</p>
第 11 回	研究発表と討議（10）	<p>各自で設定した研究テーマについて、言語理論と実証の両面から検討した結果について発表を行う。その後、発表内容について全体で討議する。</p> <p>【事前学習】2 時間 事前に送信する発表者のハンドアウトに目をとって概要を理解しておくこと。また、これまでの学習内容と照合して、理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。</p>
第 12 回	研究発表と討議（11）	<p>各自で設定した研究テーマについて、言語理論と実証の両面から検討した結果について発表を行う。その後、発表内容について全体で討議する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p>

		<p>事前に送信する発表者のハンドアウトに目をとおして概要を理解しておくこと。 また、これまでの学習内容と照合して、理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。</p>
第 13 回	研究発表と討議（1 2）	<p>各自で設定した研究テーマについて、言語理論と実証の両面から検討した結果について発表を行う。その後、発表内容について全体で討議する。</p> <p>【事前学習】2 時間 事前に送信する発表者のハンドアウトに目をとおして概要を理解しておくこと。 また、これまでの学習内容と照合して、理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。</p>
第 14 回	遠隔プレゼンミーティングについて	<p>ゼミ夏合宿の代替で行う遠隔グループプレゼンミーティングについて議論する。研究テーマの決め方、2 年生への指導方法について話し合う。</p> <p>【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。</p>
第 15 回	前期講義のまとめ	<p>前期講義で学んだ内容について討議を行い、理解を深める。</p> <p>【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。</p>
第 16 回	加算名詞と質量名詞（1）	<p>英語名詞の加算性について認知言語学の観点から分析する。英語名詞の加算性の特徴を洗い出し、可算・質量名詞の相違は、文脈に依存し、「人間のものの捉え方」を反映していることを確認し、討議を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。</p>
第 17 回	加算名詞と質量名詞（2）	<p>英語名詞の質量性について認知言語学の観点から分析する。英語名詞の質量性特徴を洗い出し、可算・質量名詞の相違は、文脈に依存し、「人間のものの捉え方」を反映していることを確認し、討議を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。</p>
第 18 回	英語冠詞の使用における認知的原理について（1）	<p>英語冠詞の使用における認知メカニズムについて、特に不定冠詞(the indefinite article)に注目して討議を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。</p>

		<p>理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。</p>
第 19 回	英語冠詞の使用における認知的原理について（2）	<p>英語冠詞の使用における認知メカニズムについて、特に定冠詞(the definite article)に注目して討議を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。</p>
第 20 回	ビジネス英語の特徴について（1）	<p>ビジネス英語において「現状の報告・意見の表明」で用いられる表現に注目し、その多様性とそれぞれの使い分けについて討議を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。</p>
第 21 回	ビジネス英語の特徴について（2）	<p>ビジネス英語で用いられる「依頼・要求」表現の多様性とそれぞれの使い分けについて討議を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。</p>
第 22 回	ビジネス英語の特徴について（3）	<p>ビジネス英語における「プレゼンテーション」で多用される表現方法について討議を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。</p>
第 23 回	英語経済用語の分析（1）	<p>日常的に用いられる英語経済用語（名詞）の用いられ方について、コーパスから抽出した連語パタンのデータに基づき、認知言語学の観点から討議を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。</p>
第 24 回	英語経済用語の分析（2）	<p>日常的に用いられる英語経済用語（名詞以外）の用いられ方について、コーパスから抽出した連語パタンのデータに基づき、認知言語学の観点から討議を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間</p>

		授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 25 回	英語経済用語の分析 (3)	比較的平易な英語の経済学用語について、当該表現が用いられる認知的メカニズムについて討議を行う。 【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 26 回	日英語キャッチコピーの分析 (1)	企業のコーポレートスローガンに注目し、企業の業務内容・目的とスローガンの関係について、意味論・語用論の観点から討議する。 【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 27 回	日英語キャッチコピーの分析 (2)	主に食料・飲料の商品名とキャッチコピーに注目し、商品の特性と当該商品名・キャッチコピーとの関係について、意味論・語用論の観点から討議する。 【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 28 回	日英語キャッチコピーの分析 (3)	食料・飲料以外の商品名とキャッチコピーに注目し、商品の特性と当該商品名・キャッチコピーとの関係について、意味論・語用論の観点から討議する。 【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 29 回	ゼミ活動とキャリア形成	これまでゼミナールで学んできた学習内容を今後のキャリア形成にどのように応用していくのかについて議論する。特に面接時における話の進め方（論理の構成）について演習を行う。 【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 30 回	今年度の学習のまとめ	今年度の学習内容のまとめを行い、次年度の研究論文執筆に向けての準備を行う。 【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。

授業形式
<ul style="list-style-type: none"> ・授業形態は、「部分対面型」と「同時双方向型」を組み合わせで行います。 ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	25%	0%	50%	25%	1
評価の特記事項					
評価方法における「レポート」とは、学年末課題レポートを指します。「その他」は、プレゼンテーションの質（発表用資料、口頭発表の仕方など）とゼミ内での討議などを指します。					

テキスト
基本的に教員が用意するハンドアウトを用いる。
参考文献
オフィスアワー
月曜日 15:00～16:00。事前にメールでアポイントメントをとること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
一つ疑問点を持ち始めたら、納得する解答が得られるまで徹底的に調査する粘り強さを身につけてください。また、討議における積極的な発言を期待しています。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	03
担当教員	伊佐敷 隆弘	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	金 4	単位区分	選
講義室	3114	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>このゼミの研究テーマは「哲学」である。哲学とは、「私たちの生活や学問の前提になっている根本的な概念（意識・時間・規範・記憶・意味・自由・物質」など）に関して、深い理解を得ることをめざす学問」である。このゼミでは、古典的テキストの講読を通して、私たち自身と世界について哲学的に深い理解を得ることをめざす。</p> <p>対応 DP 及び CP : 1, 2, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>哲学の古典的なテキストを丁寧に読みながら、参加者は互いに自分の考えを積極的に述べ、「なぜそのように考えるのか」を説明しあう。積極的な発言と自由な議論によって哲学的思考をきたえていく。当番がテキストの内容を報告し、復習課題（エコリンク）に各人が考えたことを記入し、次回ゼミで「復習課題まとめ」プリントを元に議論する。</p> <p>前期は功利主義と社会契約論に関する古典的テキストを読む。</p> <p>後期は、各ゼミ生が夏休み中に読んだ本を後期第 1 回のゼミで報告し、ゼミ生の投票によって後期に読むテキストを決める。</p>

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ゼミの進め方についての説明	ゼミの進め方について教員が説明する。ゼミ生が自分の関心について説明する。 【事前学習】2 時間。シラバスを読んで、授業内容を把握しておく。 【事後学習】2 時間。授業内容、授業の進め方について復習しておく。
第 2 回	功利主義についての説明	功利主義について教員が説明する。 【事前学習】2 時間。功利主義について調べておく。 【事後学習】2 時間。今日の功利主義の説明を復習しておく。
第 3 回	ベンサム『道徳および立法の諸原理序説』第 1 章	当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。 【事前学習】2 時間。当番はテキストの担当部分について調査し、内容の要約をしておく。他のゼミ生は同じ部分を読んで、自分の疑問点を明らかにしておく。 【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。
第 4 回	ベンサム『道徳および立法の諸原理序説』第 3 章	前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。 今日の当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。 【事前学習】2 時間。当番はテキストの担当部分について調査し、内容の要約をしておく。他のゼミ生は同じ部分を読んで、自分の疑問点を明らかにしておく。 【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。
第 5 回	ベンサム『道徳および立法の諸原理序説』第 4 章前半	前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。 今日の当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。 【事前学習】2 時間。当番はテキストの担当部分について調査し、内容の要約をしておく。他のゼミ生は同じ部分を読んで、自分の疑問点を明らかにしておく。 【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。
第 6 回	ベンサム『道徳および立法の諸原理序説』第 4 章後半	前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。 今日の当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。 【事前学習】2 時間。当番はテキストの担当部分について調査し、内容の要約をしておく。他のゼミ生は同じ部分を読んで、自分の疑問点を明らかにしておく。 【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。
第 7 回	ベンサム『道徳および立法の諸原理序説』第 5 章前半	前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。 今日の当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。 【事前学習】2 時間。当番はテキストの担当部分について調査し、内容の要約をしておく。他のゼミ生は同じ部分を読んで、自分の疑問点を明らかにしておく。 【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。
第 8 回	ベンサム『道徳および立法の諸原理序説』第 5 章後半	前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。 今日の当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。 【事前学習】2 時間。当番はテキストの担当部分について調査し、内容の要約をしておく。他のゼミ生は同じ部分を読んで、自分の疑問点を明らかにしておく。 【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。
第 9 回	社会契約論についての説明	社会契約論について教員が説明する。 【事前学習】2 時間。社会契約論について調べておく。 【事後学習】2 時間。今日の社会契約論の説明を復習しておく。
第 10 回	ホブズ『リヴァイアサン』第 13 章前半	前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。 今日の当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。 【事前学習】2 時間。当番はテキストの担当部分について調査し、内容の要約をしておく。他のゼミ生は同じ部分を読んで、自分の疑問点を明らかにしておく。

		<p>おく。</p> <p>【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。</p>
第 11 回	ホブズ『リヴァイアサン』第 13 章後半	<p>前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。</p> <p>今日の当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。</p> <p>【事前学習】2 時間。当番はテキストの担当部分について調査し、内容の要約をしておく。他のゼミ生は同じ部分を読んで、自分の疑問点を明らかにしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。</p>
第 12 回	ホブズ『リヴァイアサン』第 14 章	<p>前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。</p> <p>今日の当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。</p> <p>【事前学習】2 時間。当番はテキストの担当部分について調査し、内容の要約をしておく。他のゼミ生は同じ部分を読んで、自分の疑問点を明らかにしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。</p>
第 13 回	ホブズ『リヴァイアサン』第 15 章	<p>前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。</p> <p>今日の当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。</p> <p>【事前学習】2 時間。当番はテキストの担当部分について調査し、内容の要約をしておく。他のゼミ生は同じ部分を読んで、自分の疑問点を明らかにしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。</p>
第 14 回	ホブズ『リヴァイアサン』第 17 章	<p>前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。</p> <p>今日の当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。</p> <p>【事前学習】2 時間。当番はテキストの担当部分について調査し、内容の要約をしておく。他のゼミ生は同じ部分を読んで、自分の疑問点を明らかにしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。</p>
第 15 回	前期全体を振り返って議論	<p>前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。前期の功利主義と社会契約論について全員で議論する。</p> <p>【事前学習】2 時間。前期の学習内容を復習し、自分の疑問点がどこまで解決したかチェックしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。</p>
第 16 回	後期テキストの決定	<p>夏休み中に読んだ哲学書を各自がプレゼンし、後期のテキストを投票によって決定する。</p> <p>【事前学習】2 時間。夏休み中に自分が読んだ哲学書の内容を要約し、プレゼンの準備をしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間。選ばれなかったテキストについても自分が興味を持った哲学書について調べる。</p>
第 17 回	後期テキストの講読 (1)	<p>今日の当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。</p> <p>【事前学習】2 時間。当番はテキストの担当部分について調査し、内容の要約をしておく。他のゼミ生は同じ部分を読んで、自分の疑問点を明らかにしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。</p>
第 18 回	後期テキストの講読 (2)	<p>前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。今日の当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。</p> <p>【事前学習】2 時間。当番はテキストの担当部分について調査し、内容の要約をしておく。他のゼミ生は同じ部分を読んで、自分の疑問点を明らかにしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。</p>
第 19 回	後期テキストの講読 (3)	<p>前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。</p> <p>今日の当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。</p> <p>【事前学習】2 時間。当番はテキストの担当部分について調査し、内容の要約をしておく。他のゼミ生は同じ部分を読んで、自分の疑問点を明らかにしておく。</p>

[illegible]

		<p>【事前学習】2 時間。当番はテキストの担当部分について調査し、内容の要約をしておく。他のゼミ生は同じ部分を読んで、自分の疑問点を明らかにしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。</p>
第 29 回	後期テキストの講読（13）	<p>前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。</p> <p>今日の当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。</p> <p>【事前学習】2 時間。当番はテキストの担当部分について調査し、内容の要約をしておく。他のゼミ生は同じ部分を読んで、自分の疑問点を明らかにしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。</p>
第 30 回	ゼミ全体を振り返った議論	<p>前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。</p> <p>今年度のゼミ全体を振り返り、全員で議論する。</p> <p>【事前学習】2 時間。今年度の学習内容を復習し、自分の疑問点がどこまで解決したかチェックしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。</p>

授業形式	
<p>演習形式（ズームを利用する。新型コロナの状況とゼミ生の希望に応じて、対面授業をおこなう。）</p> <p>毎回エコリンクを通して、復習課題を提出し、次回授業において、「復習課題まとめ」プリントをもとに議論をおこなう。</p> <p>教員への連絡はメールにておこなう。（アドレスは初回授業の際に教員から伝える。）</p>	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	25%	25%	100%
評価の特記事項					
レポートは年度末に書く。評価方法の「その他」は毎回書く「復習課題」（エコリンク）のこと。					

テキスト
教員がプリントを配布する。
参考文献
授業中に指示する。
オフィシアワー
受講生から教員にメールで連絡し、随時設定する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミは受講生の積極的な参加によって成り立ちます。できるだけ欠席しないようにして、授業中は積極的に発言するように心がけましょう。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	04
担当教員	位田 将司	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	水 5	単位区分	選
講義室	3115	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本ゼミナールでは、理論的で創造的な書籍やテキストを読み、それを理解し、レジュメを用いてゼミ発表ができるようになることを目標とします。また、ゼミ発表によってゼミ生同士が議論を重ね、その成果をレポート・論文として、自らの考えを文章化することができるようになることも目標とします。ゼミナールは学生と教員が議論しながら、学問を通して交流する場でもあります。その交流を通して、理論的に物事を考えることができるようになります。</p> <p>対応 D P 及び C P : 1, 2, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本ゼミナールでは主に文学理論と文学作品を通して、理論的にテキストを読む訓練をします。また、理論を通して芸術やエンターテインメントを分析することで、社会の仕組みのより豊かな理解を目指します。文学や芸術、エンターテインメントを理論的に分析することにより、「批判的」そして「批評的」に社会や世界を見ることができるようになります。ただ、「批判的」や「批評的」というのは、社会を新しい切り口で見ることであって、欠点をあげつらうことでは決してありません。ゼミ生が新しい視点で社会や世界を解釈できるようにするのが、本ゼミナールの目的です。</p>

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	ゼミナールの基本的な進め方を解説します。ゼミ生同士の顔合わせ。 【事前学習】2 時間 事前のゼミ連絡を把握しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミナールの基本ルールを確認しておく。
第 2 回	ゼミ発表への準備	ゼミ発表の仕方を解説します。教員の模擬発表を聞き、レジュメ作成の方法、ゼミ発表の仕方を実際に体験する。 【事前学習】2 時間 課題テキスト・課題書籍を読んで予習する。 【事後学習】2 時間 実際に体験したゼミ発表の方法を確認し、レジュメの作り方を実際に復習する。
第 3 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 4 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 5 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 6 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 8 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。

		<p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 9 回	ゼミ発表	<p>文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 10 回	ゼミ発表	<p>文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 11 回	ゼミ発表	<p>文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 12 回	ゼミ発表	<p>文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 13 回	ゼミ発表	<p>文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 14 回	ゼミ発表	<p>文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 15 回	前期のまとめ	<p>文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p>

		自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 16 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 17 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 18 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 19 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 20 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 21 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 22 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 23 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読

		<p>指定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 24 回	ゼミ発表	<p>文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 25 回	ゼミ発表	<p>文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 26 回	ゼミ発表	<p>文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 27 回	ゼミ発表	<p>文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 28 回	ゼミ発表	<p>文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 29 回	ゼミ発表	<p>文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 30 回	ゼミのまとめ	<p>これまでのゼミの議論を振り返る。</p> <p>【事前学習】2 時間 これまでの各人のゼミ発表を振り返り，レジュメを読む。</p> <p>【事後学習】2 時間</p>

		一年間のゼミで研究したことを踏まえながら、学年末論文の準備をおこなう。
--	--	-------------------------------------

授業形式
ゼミ生と教員による、ゼミナール形式の講義です。少人数で教員を交えながら議論をします。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%
評価の特記事項					
ゼミナールでは出席とゼミ発表、学年末の論文を総合的に評価します。					

テキスト
ゼミ生と相談をして年間を通して輪読するテキストを決定します。
参考文献
適宜指示します。
オフィスアワー
火曜日：15：00～（必ず事前にアポイントを取ってください）
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
出席とゼミ発表、論文の執筆はゼミの義務です。必ず責任をもって実行してください。また、ゼミの「行事」にも積極的に取り組んでください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	05
担当教員	卜部 勝彦	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	水 3	単位区分	選
講義室	3104	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本ゼミナールでは、ゼミ生が以下の 1 ～ 5 の項目について達成できることを目標としている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の国土について地理学的な解釈や説明ができる。 2. 地域の産業・文化・景観・環境について地理学的な課題を設定し解決することができる。 3. 研究においてグループワークやチームワークによる課題解決ができる。 4. 地理学的分析結果を駆使してプレゼンテーションや報告書・論文等の執筆ができる。 <p>対応 DP 及び CP:1,2,6,7,8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本ゼミナールでは、地表面の多様な地理的事象を多角的に分析・考察する地理学分野，または教職としての教科教育すなわち中学や高校の地理教育分野において，地域の産業・文化・景観・環境を“フィールドワーク”を主体に研究を行う。教養研究（二）では，教養研究（一）で学修した地域研究の基礎的な手法を応用させながら，選定された事例対象地域における研究課題をフィールドワークを通して究明することを目的として，グループワークでの共同作業を通して研究活動を実践する。</p>

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	フィールドワークによる地域研究のねらい	<p>本年度のゼミナール年間計画や諸注意等のガイダンスから、フィールドワークによる地域研究のねらいを学ぶ。</p> <p>【事前学習】2 時間 教養研究（一）を振り返り、今年度のゼミに対する心がけを整理しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業で講じた地域研究のねらいについて、フィールドワークの意義を復習しておく。</p>
第 2 回	研究対象地域の俯瞰	<p>本年度の事例地域の地理的特色について予察し、研究対象地域の概要を把握する。</p> <p>【事前学習】2 時間 研究対象地域の地誌的な情報を入手し、整理しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 研究対象地域の地誌的な概要を復習しておくこと。</p>
第 3 回	研究対象に関するアプローチ（1）	<p>文献調査から既往研究動向について把握と研究対象に関する専門的事項の基礎概念等を修得する。</p> <p>【事前学習】2 時間 研究対象事項に関連する文献を入手・調査し、整理しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時の検討結果を振り返り、知識不足事項については基礎概念等を再度調べて理解しておくこと。</p>
第 4 回	研究対象に関するアプローチ（2）	<p>前回授業から引き続き既往研究動向の分析をさらに進め、研究対象に関する専門的事項の基礎概念等をさらに修得する。</p> <p>【事前学習】2 時間 前回授業で不足していた研究対象事項に関連する文献を入手・調査し、整理しておくこと</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時の検討結果を振り返り、知識不足事項については基礎概念等を再度調べて理解しておくこと。</p>
第 5 回	研究対象に関するアプローチ（3）	<p>前回までの授業で検討した事項の発表・討議を通して、本年度実施の地域研究の意義を学ぶ。</p> <p>【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 質疑内容や指摘事項を振り返り、修正すべき箇所については速やかに対応し復習しておくこと。</p>
第 6 回	研究の視点や方法に関する検討	<p>前回授業までの既往研究動向の分析を振り返り、本研究における独自の視点や方法を創出する。</p> <p>【事前学習】2 時間 前回授業で学習した本年度実施の地域研究の意義を振り返り、研究における独自の視点について考えておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間</p>
第 7 回	研究対象の地域統計分析（1）	<p>国や地方自治体による公的統計データを入手・整理・分析し、事象の経年的推移や地域的特色を考察する。</p> <p>【事前学習】2 時間 地域分析に必要な公的統計データを入手し、各自がデータのグラフ化や地図化をしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時に検討したデータとその考察結果を共有し、データの解釈について復</p>

		習しておくこと。
第 8 回	研究対象の地域統計分析 (2)	<p>前回授業で不足していた国や地方自治体による公的統計データを入手・整理・分析し、事象の経年的推移や地域的特色を考察する。</p> <p>【事前学習】2 時間 地域分析に必要な公的統計データを入手し、各自がデータのグラフ化や地図化をしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時に検討したデータとその考察結果を共有し、データの解釈について復習しておくこと。</p>
第 9 回	研究対象の地域統計分析 (3)	<p>前回までの授業で検討した地域統計の分析・考察結果を発表し討議する。</p> <p>【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 質疑内容や指摘事項を振り返り、修正すべき箇所については速やかに対応し復習しておくこと。</p>
第 10 回	研究対象地域の事前調査 (1)	<p>研究対象地域において市町村や関係機関が公表する諸資料を入手・分析し、個別の研究対象事項に関する概況を把握する。</p> <p>【事前学習】2 時間 事例地域において市町村や関係機関が公表する諸資料を入手し各自が考察を試みる。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時に検討・考察した個別の研究対象事項に関する概況を共有し復習しておくこと。</p>
第 11 回	研究対象地域の事前調査 (2)	<p>前回までの授業で検討した個別の研究対象事項に関する概況を発表し討議する。</p> <p>【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 質疑内容や指摘事項を振り返り、修正すべき箇所については速やかに対応し復習しておくこと。</p>
第 12 回	研究対象地域へのリモート 調査実践（1）	<p>研究対象地域とのリモート会議において、個別の研究対象に関する基礎・基本的事項について聞き取り等の予察的調査を試みる。</p> <p>【事前学習】2 時間 グループで調査項目を整理・共有し、調査の準備を進めておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 各自がフィールドノートにメモした聞き取り事項等のグループ内で確認・共有しておくこと。</p>
第 13 回	研究対象地域へのリモート 調査実践（2）	<p>研究対象地域とのリモート会議において、個別の研究対象に関する基礎・基本的事項について聞き取り等の予察的調査を試みる。</p> <p>【事前学習】2 時間 グループで調査項目を整理・共有し、調査の準備を進めておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 各自がフィールドノートにメモした聞き取り事項等のグループ内で確認・共有しておくこと。</p>
第 14 回	研究対象地域へのリモート 調査実践（3）	<p>研究対象地域とのリモート会議において、個別の研究対象に関する基礎・基本的事項について聞き取り等の予察的調査を試みる。</p> <p>【事前学習】2 時間 グループで調査項目を整理・共有し、調査の準備を進めておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 各自がフィールドノートにメモした聞き取り事項等のグループ内で確認・共有しておくこと。</p>
第 15 回	研究対象地域の現地フィー	研究対象地域の現地フィールドワークでの本調査事項について検討する。

	ルドワークにむけて	<p>【事前学習】2 時間 各グループで究明している事項について知識不足の概念を列挙する。</p> <p>【事後学習】 授業内で示された共有すべき基礎概念について復習し理解を深める。</p>
第 16 回	調査結果の分析・考察と補足調査（1）	<p>研究対象地域の現地フィールドワークによる各調査結果について分析・考察し、未解明事項に関する補足調査を試みる。</p> <p>【事前学習】2 時間 調査結果を整理・分析し、各自が現時点で究明されている研究課題についてまとめること。</p> <p>【事後学習】 授業内で示された共有された究明事項の整理を行い、必要な補足調査についてアプローチを試みること。</p>
第 17 回	調査結果の分析・考察と補足調査（2）	<p>研究対象地域の現地フィールドワークによる各調査結果について分析・考察し、未解明事項に関する補足調査を試みる。</p> <p>【事前学習】2 時間 調査結果を整理・分析し、各自が現時点で究明されている研究課題についてまとめること。</p> <p>【事後学習】 授業内で示された共有された究明事項の整理を行い、必要な補足調査についてアプローチを試みること。</p>
第 18 回	調査結果の分析・考察と補足調査（3）	<p>研究対象地域の現地フィールドワークによる各調査結果について分析・考察し、未解明事項に関する補足調査を試みる。</p> <p>【事前学習】2 時間 調査結果を整理・分析し、各自が現時点で究明されている研究課題についてまとめること。</p> <p>【事後学習】 授業内で示された共有された究明事項の整理を行い、必要な補足調査についてアプローチを試みること。</p>
第 19 回	調査結果の中間報告	<p>前回までの授業で考察した調査結果や補足調査結果から、現時点で究明している事項を報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 質疑内容や指摘事項を振り返り、修正すべき箇所については速やかに対応し復習しておくこと。</p>
第 20 回	研究成果発表に向けての準備（1）	<p>研究成果の発表（口頭・ポスター）にむけての資料作成技法を学ぶ。</p> <p>【事前学習】2 時間 研究成果として使用する候補の図表類を各自が準備しておくこと</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時において作成した図表類の共有と、修正すべき箇所については速やかに対応しておくこと。</p>
第 21 回	研究成果発表に向けての準備（2）	<p>研究成果の発表（口頭・ポスター）にむけての資料作成技法を学ぶ。</p> <p>【事前学習】2 時間 研究成果として使用する候補の図表類を各自が準備しておくこと</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時において作成した図表類の共有と、修正すべき箇所については速やかに対応しておくこと。</p>
第 22 回	研究成果発表に向けての準備（3）	<p>研究成果の発表（口頭・ポスター）にむけての資料作成技法を学ぶ。</p> <p>【事前学習】2 時間 研究成果として使用する候補の図表類を各自が準備しておくこと</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時において作成した図表類の共有と、修正すべき箇所については速やかに対応しておくこと。</p>

		かに対応しておくこと。
第 23 回	研究成果発表（口頭・ポスター）の実践（1）	<p>研究成果の模擬発表を行い，プレゼンテーションやポスターセッションの技法を学ぶ。</p> <p>【事前学習】2 時間 プレゼン発表またはポスター発表の準備を入念にしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時の討議や指摘事項等を振り返り，修正・改善すべき箇所について速やかに対応しておくこと。</p>
第 24 回	研究成果発表（口頭・ポスター）の実践（2）	<p>研究成果の模擬発表を行い，プレゼンテーションやポスターセッションの技法を学ぶ。</p> <p>【事前学習】2 時間 前回の授業を踏まえ，プレゼン発表またはポスター発表の準備を入念にしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時の討議や指摘事項等を振り返り，修正・改善すべき箇所について速やかに対応しておくこと。</p>
第 25 回	研究成果発表（口頭・ポスター）の実践（3）	<p>研究成果の模擬発表を行い，プレゼンテーションやポスターセッションの技法を学ぶ。</p> <p>【事前学習】2 時間 前回の授業を踏まえ，プレゼン発表またはポスター発表の準備を入念にしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時の討議や指摘事項等を振り返り，修正・改善すべき箇所について速やかに対応しておくこと。</p>
第 26 回	研究報告書の作成（1）	<p>研究報告書作成に関する基礎・基本的な事項を学ぶ。</p> <p>【事前学習】2 時間 研究成果発表（口頭・ポスター）の内容が文書化できるよう，各自が準備をしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時の確認や指摘事項等を振り返り，修正・改善すべき箇所について速やかに対応しておくこと。</p>
第 27 回	研究報告書の作成（2）	<p>研究報告書作成に関する基礎・基本的な事項を学ぶ。</p> <p>【事前学習】2 時間 研究成果発表（口頭・ポスター）の内容が文書化できるよう，各自が準備をしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時の確認や指摘事項等を振り返り，修正・改善すべき箇所について速やかに対応しておくこと。</p>
第 28 回	研究報告書の作成（3）	<p>研究報告書作成に関する基礎・基本的な事項を学ぶ。</p> <p>【事前学習】2 時間 研究成果発表（口頭・ポスター）の内容が文書化できるよう，各自が準備をしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時の確認や指摘事項等を振り返り，修正・改善すべき箇所について速やかに対応しておくこと。</p>
第 29 回	研究報告書の作成（4）	<p>研究報告書作成に関する基礎・基本的な事項を学ぶ。</p> <p>【事前学習】2 時間 研究成果発表（口頭・ポスター）の内容が文書化できるよう，各自が準備をしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時の確認や指摘事項等を振り返り，修正・改善すべき箇所について速やかに対応しておくこと。</p>

第 30 回	本年度における研究活動の 総括と今後の課題	<p>前回までの授業で作成された報告書をもとに，本年度の研究活動を総括し 今後の課題を確認する。</p> <p>【事前学習】2 時間 作成された報告書全体を入念にチェックしておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 本年度の研究活動全体を振り返り，次年度の「研究論文」に備えること。</p>
--------	--------------------------	--

授業形式
授業形態は部分対面型でのグループワーク主体のゼミナール形式による。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%
評価の特記事項					

テキスト
参考文献
必読文献等は授業中に指示する
オフィスアワー
火曜日 4 限時（14:40～16:10）。事前にメールでアポイントを取ること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
共同作業での充実した研究成果が得られるよう、頑張りましょう！
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	教養研究（二）	クラス	
担当教員	大澤 秀雄	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (教養ゼミ)
曜日・時限	水 4	単位区分	選
講義室	7073	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>「教養研究(一)」で培った基本的な分析力を発展させて、さらに高度な多変量の分析を行なうことができるようになる。そのために統計ツールを使いこなしながら、「統計学 I」および「統計学 II」で学ぶ多変量解析の統計処理さらに統計分析の理解を深めることができる。さらに、各自の課題を設定して、その目的に応じたデータを収集して統計分析を実践できるようになる。それにより、「卒業研究」に向けた分析力を付けることができる。</p> <p>対応 DP 及び CP：1, 2, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>「教養研究(一)」で培った基本的な分析力を発展させて、「統計学 I」および「統計学 II」で学ぶ多変量解析の統計分析、さらにグループ調査および各自の課題を設定して、その目的に応じたデータを収集して統計分析を実践できるようにすることが目的となる。</p> <p>(1) 多変量のデータに対して分析に必要な計算処理をできるようにすること。 (2) 多変量データの特性を捉えて、調査目的に対する適切な分析を選択できる能力を高めること。 (3) OR 分析手法を学び、理論面から統計調査分析に役立てるすること。 (4) 調査課題を設定し、適切なデータ収集、統計分析の選択をしてまとめ上げる能力をつけること。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	「教養研究」、「研究論文」の流れおよびゼミ活動の意義を理解する。 【事前学習】2 時間 Googleclass から配布資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 「教養研究(一)」の講義内容を理解しておくこと。
第 2 回	OR 手法(1)	ゼミで必須となる PC, Excel の基本操作を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 3 回	OR 手法(2)	データの数え上げ、データ表の作成を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 4 回	OR 手法(3)	度数分布表の作成し、基本統計値の導出を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、処理を進めておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 5 回	OR 手法(4)	社会データをダウンロードし、その処理を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、処理を進めておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 6 回	OR 手法(5)	基本統計値に基づき、データの分布状況を捉える手法を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 7 回	OR 手法(6)	6 回目につき、基本統計値から分布を把握する処理法を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、処理を進めておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 8 回	データ処理(1)	中心極限定理を理解し、PC 実験により実際に成立することを把握するための処理を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、処理を進めておくこと。

		【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 9 回	統計分析手法(1)	<p>社会データをダウンロードし、そのデータの分布状況を把握するための処理を実践する。</p> <p>【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、処理を進めておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。</p>
第 10 回	統計分析手法(2)	<p>統計的推測の原理を理解し、PC による処理を実践する。</p> <p>【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。</p>
第 11 回	統計分析手法(3)	<p>正規分布による統計的推測のための処理を実践する。</p> <p>【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。</p>
第 12 回	統計分析手法(4)	<p>t 分布による統計的推測のための処理を実践する。</p> <p>【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。</p>
第 13 回	多変量データの分析(1)	<p>社会データに対して、統計的推測を実践する。</p> <p>【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、処理を進めておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。</p>
第 14 回	多変量データの分析(2)	<p>前期習得した手法を実践する。</p> <p>【事前学習】2 時間 社会データから分析資料をダウンロードし、処理を進めておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 今回指摘された内容について改善を図り、理解を深めておくこと。</p>
第 15 回	課題分析(1)	<p>各自取得したデータの処理を実践する。</p> <p>【事前学習】2 時間 14 回目のデータについて、処理を進めておくこと。</p> <p>【事後学習】4 時間 前期の内容を駆使して、分析データについてまとめること。</p>
第 16 回	前期課題の復習	<p>前期まとめた分析レポートを発表する。</p> <p>【事前学習】2 時間 発表にあたりパワーポイントによるスライドを準備すること。</p>

		【事後学習】2 時間 今回の発表内容に関して、各自の意見をまとめておくこと。
第 1 7 回	重回帰分析(1)	<p>前期まとめた分析レポートを発表する。</p> <p>【事前学習】2 時間 発表にあたりパワーポイントによるスライドを準備すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 今回の発表内容に関して、各自の意見をまとめておくこと。</p>
第 1 8 回	重回帰分析(2)	<p>前期まとめた分析レポートを発表する。</p> <p>【事前学習】2 時間 発表にあたりパワーポイントによるスライドを準備すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 今回の発表内容に関して、各自の意見をまとめておくこと。</p>
第 1 9 回	アンケート調査集計分析(1)	<p>仮説検定法の原理を理解し、PC による処理を実践する。</p> <p>【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。</p>
第 2 0 回	アンケート調査集計分析(2)	<p>社会データに対して、仮説検定法を実践する。</p> <p>【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、処理を進めておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。</p>
第 2 1 回	主成分分析(1)	<p>前回に続き、社会データに対して、仮説検定法を実践する。</p> <p>【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、処理を進めておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。</p>
第 2 2 回	主成分分析(2)	<p>相関分析の原理を理解し、PC による処理を実践する。</p> <p>【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。</p>
第 2 3 回	研究論文の課題について	<p>回帰分析の原理を理解し、PC による処理を実践する。</p> <p>【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。</p>
第 2 4 回	課題分析(2)	<p>相関・回帰分析の流れを理解し、PC による処理を実践する。</p> <p>【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。</p>

		【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 2 5 回	課題の復習	<p>社会データに対して、相関・回帰分析を実践する。</p> <p>【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、処理を進めておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。</p>
第 2 6 回	シミュレーション(1)	<p>与えられた一変量データに対して、基本的な分析を意図し実践する。</p> <p>【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、処理を進めておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 今回の講義内容に応じて分析を進め理解を深めておくこと。</p>
第 2 7 回	シミュレーション(2)	<p>与えられた二変量データに対して、相関・回帰分析を意図し実践する。</p> <p>【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、処理を進めておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 今回の講義内容に応じて分析を進め理解を深めておくこと。</p>
第 2 8 回	シミュレーション(3)	<p>26, 27 回の内容に基づき、シミュレーションモデルを実践する。</p> <p>【事前学習】2 時間 Googleclass から配布資料をダウンロードし、データ処理しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。</p>
第 2 9 回	課題分析(3)	<p>17 回目以降の内容に関する演習ファイルを実習する。</p> <p>【事前学習】2 時間 Googleclass から配布資料をダウンロードし、データ処理しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 講評された内容について各自理解を深めておくこと。</p>
第 3 0 回	「研究論文」の課題と取り組みについて	<p>来年度の「研究論文」のテーマと取り組みについて各自報告を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 Googleclass から配布資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。</p> <p>【事後学習】4 時間 各自のテーマに基づき、課題への取り組みについて十分に検討しておくこと。</p>

授業形式

解説の場合は講義形式となるが、演習では各自の意見や見解も重要である。ゼミ生諸君も積極的に議論に加わってもらう。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	50 %	0 %	50 %	0 %	100 %
評価の特記事項					
研究論文に向けて、必要になる分析法や処理法、考え方を解説および実践するので、各回で指定された課題をしっかりと取り組んでいるかを十分に評価する。					

テキスト
統計学 I, II の講義資料がテキストにあたる
参考文献
オフィスアワー
講義時に指示する
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
研究論文に直接関連してくる内容なので、各回で指定された課題等をしっかりと取り組んでもらいたい。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	06
担当教員	小笠原 祐子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	金 4	単位区分	選
講義室	7093	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では、以下の 1) ～5) ができることを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 社会問題の普遍性と多様性について学ぶ。 2) 社会問題をさまざまな角度から検討することによって、性急に結論を出すことの危険性について学ぶ。 3) グループ討論において自分の意見を説得的・論理的に述べる。 4) 他者の見解を吟味し、他者から学ぶ姿勢を身につける。 5) グローバルに展開する社会的変化への理解を深め、仕事と家族の新しい関係について考える。 <p>対応 DP および CP : 1, 2, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>AI による人の労働力の代替や日本的雇用慣行の見直し、人生 100 年時代の到来など、働き方や生き方が問い直されていること、その中で新しい仕事と家族の関係の構築が求められていることを理解し、このようなグローバルな社会の変革を説得的かつ論理的に説明する力、理論的および批判的に省察する力を習得させる。またグループワークを通して、場面に応じて適切にリーダーシップを発揮し協働する力を涵養する。</p>

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容，講義の形式，評価方法，履修上の注意について再確認する。新しいメンバーがいる場合は，自己紹介をする。 【事前学習】2 時間 自己紹介で述べたいことを考えてくる。 【事後学習】2 時間 ゼミ運営の方針についてよく復習し，疑問点を書き出して，次回授業で質問をする。
第 2 回	教養研究（一）の反省	教養研究（一）を反省し今年度への改善点や抱負について討論する。 【事前学習】2 時間 昨年 1 年間の反省点や改善点について考えてくる。 【事後学習】2 時間 今期に向けて自分なりの目標を立てる。
第 3 回	文献およびテーマのセクション	ゼミ生の関心に応じてゼミ生自身が文献を選定する。 【事前学習】2 時間 各自の関心に応じて，取り上げたい文献をピックアップしてくる。 【事後学習】2 時間 担当文献の入手方法を決め，報告日までの準備スケジュールを組む。
第 4 回	レジュメ作成および報告方法の改善	昨年度の反省点をふまえて，レジュメの作成および報告の方法について改善点を出す。 【事前学習】2 時間 レジュメおよび報告の改善方法について考えてくる。 【事後学習】2 時間 学んだ内容を担当文献に応用する。
第 5 回	ゼミ生選定テーマの文献について輪読	ゼミ生自身が選定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レジュメおよび報告原稿を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分の報告時に注意すべきことをまとめる。
第 6 回	ゼミ生選定テーマの文献について輪読	ゼミ生自身が選定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レジュメおよび報告原稿を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分の報告時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	ゼミ生選定テーマの文献について輪読	ゼミ生自身が選定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レジュメおよび報告原稿を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分の報告時に注意すべきことをまとめる。
第 8 回	ゼミ生選定テーマの文献について輪読	ゼミ生自身が選定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レジュメおよび報告原稿を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分の報告時に注意すべきことをまとめる。
第 9 回	ゼミ生選定テーマの文献について輪読	ゼミ生自身が選定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間

		<p>自分が報告する箇所を読み，レジメおよび報告原稿を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分の報告時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 10 回	ゼミ生選定テーマの文献について輪読	<p>ゼミ生自身が選定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>自分が報告する箇所を読み，レジメおよび報告原稿を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分の報告時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 11 回	ゼミ生選定テーマの文献について輪読	<p>ゼミ生自身が選定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>自分が報告する箇所を読み，レジメおよび報告原稿を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分の報告時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 12 回	ゼミ生選定テーマの文献について輪読	<p>ゼミ生自身が選定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>自分が報告する箇所を読み，レジメおよび報告原稿を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分の報告時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 13 回	ゼミ生選定テーマの文献について輪読	<p>ゼミ生自身が選定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>自分が報告する箇所を読み，レジメおよび報告原稿を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分の報告時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 14 回	ゼミ生選定テーマの文献について輪読	<p>ゼミ生自身が選定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>自分が報告する箇所を読み，レジメおよび報告原稿を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分の報告時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 15 回	前期の反省	<p>前期の反省と後期への改善点や抱負について討論する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>前期の反省点や改善点について考えてくる。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>後期に向けて自分なりの目標を立てる。</p>
第 16 回	後期のゼミ運営について	<p>前期の反省をふまえて，後期のゼミ運営について話し合う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>前期の反省をふまえて，後期のゼミ運営について考えてくる。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>話し合いの内容をふまえて，後期の自分なりのゼミの目標を立てる。</p>
第 17 回	グループワークの実践	<p>ゼミ生自身が選定したテーマについてグループワークをする。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>ゼミ生自身が選定したテーマについて調べておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>ゼミ生自身が選定したテーマについて問題点を整理する。</p>
第 18 回	報告と討論の実践	<p>ゼミ生自身が選定したテーマについてグループで報告し，討論する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>議題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。</p>

		【事後学習】2 時間 資料等による理解を深める。
第 19 回	ディバートの実践	ゼミ生自身が選定したテーマについてディバートを行う。 【事前学習】2 時間 担当の立場の論拠を整理する。 【事後学習】2 時間 ディバートの反省点を整理する。
第 20 回	グループワークの実践	ゼミ生自身が選定したテーマについてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 ゼミ生自身が選定したテーマについて調べておく。 【事後学習】2 時間 ゼミ生自身が選定したテーマについて問題点を整理する。
第 21 回	報告と討論の実践	ゼミ生自身が選定したテーマについてグループで報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 議題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等による理解を深める。
第 22 回	ディバートの実践	ゼミ生自身が選定したテーマについてディバートを行う。 【事前学習】2 時間 担当の立場の論拠を整理する。 【事後学習】2 時間 ディバートの反省点を整理する。
第 23 回	グループワークの実践	ゼミ生自身が選定したテーマについてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 ゼミ生自身が選定したテーマについて調べておく。 【事後学習】2 時間 ゼミ生自身が選定したテーマについて問題点を整理する。
第 24 回	報告と討論の実践	ゼミ生自身が選定したテーマについてグループで報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 議題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等による理解を深める。
第 25 回	ディバートの実践	ゼミ生自身が選定したテーマについてディバートを行う。 【事前学習】2 時間 担当の立場の論拠を整理する。 【事後学習】2 時間 ディバートの反省点を整理する。
第 26 回	グループワーク報告会準備	グループワーク報告会の予行練習を行う。 【事前学習】2 時間 プレゼン資料および原稿を用意する。 【事後学習】2 時間 予行練習の反省点を整理する。
第 27 回	3 年生のグループワーク報告会（その 1）	グループワークの報告会を実施する。 【事前学習】2 時間 予行練習の反省点をふまえて，報告の準備をする。 【事後学習】2 時間 グループワークを通して学んだことを整理しておく。
第 28 回	3 年生のグループワーク報告会（その 2）	グループワークの報告会に実施する。 【事前学習】2 時間 予行練習の反省点をふまえて，報告の準備をする。 【事後学習】2 時間 グループワークを通して学んだことを整理しておく。

第 29 回	4 年生の就職活動報告会	4 年生による就職活動報告会に参加する。 【事前学習】2 時間 就職活動について先輩に質問したい内容を書き出してくる。 【事後学習】2 時間 就職活動について学んだことを整理しておく。
第 30 回	1 年間を振り返る	1 年間の反省と来期への改善点や抱負について討論する。 【事前学習】2 時間 1 年間の反省点や改善点について考えてくる。 【事後学習】2 時間 来期に向けて自分なりの目標を立てる。

授業形式	
<p>授業形態は①「同時双方向型」とする。</p> <p>質問等のフィードバックは、講義内で行う。</p> <p>質問等は Ecolink または Gmail でも受け付ける。</p>	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	50%	20%	100%
評価の特記事項					
特になし。					

テキスト
使用しない。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミ内での討論参加が重要なので、欠席する場合は事前に必ず連絡をすること。 積極的に議論に参加することを心がけ、発言が苦手な人も1日1回は発言するなど自分なりの目標を立てて、コミュニケーション力の向上に努めること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	07
担当教員	岡本 奈穂子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	金 4	単位区分	選
講義室	3113	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
1. 現代ドイツならびに日本における各種社会問題を理解し，説明することができる。 2. 豊かな教養・知識に基づく多様な価値観と幅広い視野を持つことができる。 3. 理論的・批判的思考力を養うことができる。 4. 読解力，説明力，コミュニケーション能力，文章力を身につけることができる。 対応 D P 及び C P : 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
文献の輪読，プレゼンテーション、ディスカッションを中心に授業を進め，日独比較について考察する。 また，文献講読による読解力，プレゼンテーションによる説明力，ディスカッションによるコミュニケーション能力，レポート作成による文章力の向上を図る。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	授業計画，成績評価，授業に関する諸注意等について説明する。
第 2 回	50 メルケル政権（ドイツの歴史を知るための 50 章）	テキスト第 50 章「メルケル政権」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し，プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 3 回	第 2 章 戦争の反省としての憲法	テキスト「第 2 章 戦争の反省としての憲法」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し，プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 4 回	第 3 章 「戦後」はどのように終わるのか	テキスト「第 3 章 『戦後』はどのように終わるのか」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し，プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 5 回	憲法	日独の憲法について理解を深め，ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 資料を熟読し，内容を理解する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 6 回	第 4 章 社会の中の憲法	テキスト「第 4 章 社会の中の憲法」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し，プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 7 回	第 5 章 法のなかの女性	テキスト「第 5 章 法のなかの女性」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し，プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 8 回	第 6 章 婚姻・家族の変容と法	テキスト「第 6 章 婚姻・家族の変容と法」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し，プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 9 回	第 7 章 アイデンティティとしての氏	テキスト「第 7 章 アイデンティティとしての氏」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し，プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 10 回	第 8 章 企業のあり方と法の役割	テキスト「第 8 章 企業のあり方と法の役割」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し，プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 11 回	第 9 章 法からみる労働者の組織と働き方	テキスト「第 9 章 法からみる労働者の組織と働き方」の発表・ディスカッションを行う。

		<p>【事前学習】2 時間 該当章を熟読し、プレゼンテーション資料を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。</p>
第 12 回	第 10 章 国民と外国人の 2 分法の揺らぎ	<p>テキスト「第 10 章 国民と外国人の 2 分法の揺らぎ」の発表・ディスカッションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 該当章を熟読し、プレゼンテーション資料を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。</p>
第 13 回	第 11 章 グローバル化の下での国際移住と法	<p>テキスト「第 11 章 グローバル化の下での国際移住と法」の発表・ディスカッションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 該当章を熟読し、プレゼンテーション資料を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。</p>
第 14 回	移民・難民	<p>日独の移民・難民の状況について理解を深め、ディスカッションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を熟読し、内容を理解する。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。</p>
第 15 回	前期のまとめ	<p>前期の学習内容を復習する。</p> <p>【事前学習】2 時間 これまでの学習内容を見直し、重要事項をまとめておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業の内容を復習しておくこと。</p>
第 16 回	後期授業ガイダンス ドイツのエコロジー生活、食文化など	<p>後期授業の内容について説明する。</p> <p>ドイツのエコロジー生活、食文化などについて理解を深め、ディスカッションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 前期の学習内容を見直し、復習しておくこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業の内容を復習しておくこと。</p>
第 17 回	2 すぐそこにある森 / 3 産業とエネルギー（ドイツの歴史を知るための 50 章）	<p>テキスト第 2 章「すぐそこにある森」/ 第 3 章「産業とエネルギー」の発表・ディスカッションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 該当章を熟読し、プレゼンテーション資料を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。</p>
第 18 回	ドイツの歴史から学ぶ（1）	<p>ドイツの歴史（ナチスドイツ、ヒトラー）について理解を深め、そこからの教訓を議論する。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を熟読し、内容を理解する。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。</p>
第 19 回	ドイツの歴史から学ぶ（2）	<p>ドイツの歴史（ナチスドイツ、ヒトラー）について理解を深め、そこからの教訓を議論する。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を熟読し、内容を理解する。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。</p>
第 20 回	発表 1	各自選択したテーマについて文献発表とディスカッションを行う。

		<p>【事前学習】2 時間 文献を熟読し、プレゼンテーション資料を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業の内容を復習しておくこと。</p>
第 21 回	発表 2	<p>各自選択したテーマについて文献発表とディスカッションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 文献を熟読し、プレゼンテーション資料を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業の内容を復習しておくこと。</p>
第 22 回	発表 3	<p>各自選択したテーマについて文献発表とディスカッションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 文献を熟読し、プレゼンテーション資料を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業の内容を復習しておくこと。</p>
第 23 回	現代ドイツから学ぶ（1）	<p>現代ドイツ（政治、メディア、社会）について理解を深め、そこからの教訓を議論する。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を熟読し、内容を理解する。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。</p>
第 24 回	現代ドイツから学ぶ（2）	<p>現代ドイツ（政治、メディア、社会）について理解を深め、そこからの教訓を議論する。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を熟読し、内容を理解する。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。</p>
第 25 回	発表 4	<p>各自選択したテーマについて文献発表とディスカッションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 文献を熟読し、プレゼンテーション資料を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業の内容を復習しておくこと。</p>
第 26 回	発表 5	<p>各自選択したテーマについて文献発表とディスカッションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 文献を熟読し、プレゼンテーション資料を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業の内容を復習しておくこと。</p>
第 27 回	発表 6	<p>各自選択したテーマについて文献発表とディスカッションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 文献を熟読し、プレゼンテーション資料を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業の内容を復習しておくこと。</p>
第 28 回	現代ドイツから未来を考える（1）	<p>現代ドイツ（移民、多文化社会）についての理解を深め、日独の今後の課題を議論する。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を熟読し、内容を理解する。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。</p>
第 29 回	現代ドイツから未来を考える（2）	<p>現代ドイツ（移民、多文化社会）についての理解を深め、日独の今後の課題を議論する。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を熟読し、内容を理解する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p>

		授業時の議論を復習しておくこと。
第 30 回	後期のまとめ	各自選択したテーマについてドイツの様相をまとめる。 【事前学習】2 時間 これまでの学習内容を見直し、重要事項をまとめたレポートを作成する。 【事後学習】2 時間 授業の内容を復習しておくこと。

授業形式
<p>授業は、①同時双方向型授業を中心にを行います（一部、対面授業を行う可能性があります）。</p> <p>また、アクティブラーニングを取り入れ、プレゼンテーション、ディスカッションなど、授業への積極的な参加を必須とします。</p> <p>質問等のフィードバックは原則として授業中に行います。</p>

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	70%	0%	100%
評価の特記事項					
出席状況、発表（資料・口頭説明）、ディスカッション（発言・質問）、レポート（文章、論理性、説得力）を総合的に勘案して評価します。					
発表やディスカッションでは積極性を重視します。					

テキスト
廣渡清吾『比較法社会論－日本とドイツを中心に－』放送大学教育振興会、¥2,200＋税
参考文献
特になし
オフィスアワー
月曜日 18:00-（要事前連絡）
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
<ul style="list-style-type: none"> ・文献講読では、わからない言葉や内容はできるだけ事前に調べておきましょう。 ・発表（プレゼンテーション）では本の文章をそのまま読むのではなく、内容を理解した上で自分の言葉で説明できるように準備しておいてください。 ・物事は多面的で、世の中にはいろいろな考え方や価値観があります。みなさんの積極的な発言・質問で活発なディスカッションになることを期待しています。 ・ゼミは一般の講義とは異なり、自主性が重視されます。何事にも積極的に取り組むことで経験値が高まり、その後の可能性も広がります。ゼミは発表やディスカッションの「練習の場」だと思って、失敗を恐れず、チャレンジしてみてください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	09
担当教員	笠貫 葉子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	火 4	単位区分	選
講義室	3062	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
1. 日々何気なく使っている「ことば」に意識を向け、その背景にある「動機づけ」について深く考えることができる。 2. 認知言語学における基本概念を用いて、実例を分析し、筋道を立てて論じることができる。 対応 DP 及び CP: 1,2,6,7,8
授業概要（教育目的）
基本的な文献から発展的な文献まで概観しつつ、認知言語学の考え方を解説します。ゼミ生には、その内容を理解した上でディスカッションや発表を行うことを通じ、他者の意見を聴く力や自分の意見を的確に述べる力を養ってもらいます。前期末と年度末には各自で決めたテーマについてのレポート作成を課し、書く力の向上につなげます。 対応 DP 及び CP: 1,2,6,7,8

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の進め方の説明 【事前学習】2 時間 テキストの i~iv ページを読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業後に課されるアンケートフォームに回答して提出する。
第 2 回	日常的語彙にあふれる比喻について	ゼミ生が各自で気になった日常的な語彙に見いだされる比喻の発表とディスカッション 【事前学習】2 時間 新聞やニュースなどで見聞きする時事的な用語について、気になるものを書き出しておく。 【事後学習】2 時間 授業で話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。
第 3 回	テキスト（1）第 1 章「言葉は喩えて満ちている」	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。
第 4 回	テキスト（1）第 2 章「ぬるきミルクのような幸せ」	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。
第 5 回	テキスト（1）第 3 章「船頭多くして船山に登る」	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。
第 6 回	テキスト（1）第 4 章「シミリー・メタファー・シネグドキー」	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。
第 7 回	テキスト（1）第 5 章「メトニミーとは何か」	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。
第 8 回	テキスト（1）第 6 章「かんぴょう巻きでも寿司は寿	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。

	司」	<p>【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し，疑問点を明確にしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り，同様の語彙使用について考察する。</p>
第 9 回	テキスト（1）第 7 章「僕は僕の手から帽子を落とす」	<p>担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き，ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。</p> <p>【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し，疑問点を明確にしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り，同様の語彙使用について考察する。</p>
第 10 回	テキスト（1）第 8 章「昭和な街角」	<p>担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き，ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。</p> <p>【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し，疑問点を明確にしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り，同様の語彙使用について考察する。</p>
第 11 回	テキスト（1）第 9 章「間接的な言語表現とアイロニー」（前半）	<p>担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き，ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。</p> <p>【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し，疑問点を明確にしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り，同様の語彙使用について考察する。</p>
第 12 回	テキスト（1）第 9 章「間接的な言語表現とアイロニー」（後半）	<p>担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き，ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。</p> <p>【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し，疑問点を明確にしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り，同様の語彙使用について考察する。</p>
第 13 回	時事的用語にあふれるメタファーとその効果	<p>担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き，ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。</p> <p>【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し，疑問点を明確にしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り，同様の語彙使用について考察する。</p>
第 14 回	前期内容の総まとめ	<p>重要なポイントを総括し，理解度を確認する。各自で疑問点があれば，皆でその疑問を解決する。</p> <p>【事前学習】2 時間 テキストを事前に見直し，疑問点を明確にしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り，確実な知識を定着させる。</p>
第 15 回	レポート課題について	<p>前期に学んだ認知言語学の基礎概念について，理解度を確認する。レポートのテーマを各自発表する。</p> <p>【事前学習】2 時間 前期のテキストにおける既習部分を復習しておく。レポートのテーマを決めておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p>

		授業での発表に対するフィードバックを踏まえ、レポートについて考察を深める。
第 16 回	後期授業開始にあたってのオリエンテーション	<p>・後期授業の進め方についての説明</p> <p>・ゼミ生による「振り返り」についての発表</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>これまでの学習のあり方を振り返り、今後に生かすための方法を考えておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。</p>
第 17 回	前期レポートの発表	<p>前期レポートの内容を各自発表する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>レポートを見直し、わかりやすく発表できるようにしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>授業でのフィードバックを振り返り、今後の課題を検討する。</p>
第 18 回	テキスト（１）第 10 章「ナガシマ語とケンポーV」	<p>担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。</p>
第 19 回	テキスト（１）第 11 章「詭弁を見抜く」	<p>担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。</p>
第 20 回	テキスト（１）第 12 章「クラムボンはかぷかぷわらったよ」	<p>担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。</p>
第 21 回	テキスト（１）第 13 章「へたなしゃれはやめなしゃれ」（前半）	<p>担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。</p>
第 22 回	テキスト（１）第 13 章「へたなしゃれはやめなしゃれ」（後半）	<p>担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。</p>
第 23 回	テキスト（１）第 14 章「コシヒカリと夢の華」	<p>担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。</p> <p>【事前学習】2 時間</p>

		<p>テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。</p>
第 24 回	テキスト（2）第 2 章「概念メタファー」	<p>担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>テキストの第 1 章と第 2 章を事前に通読し、疑問点を明確にしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。</p>
第 25 回	テキスト（2）第 2 章「概念メタファー」	<p>担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。</p>
第 26 回	テキスト（2）第 2 章「概念メタファー」	<p>担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。</p>
第 27 回	テキスト（2）第 5 章「メトニミー」	<p>担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。</p>
第 28 回	テキスト（2）第 5 章「メトニミー」	<p>担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。</p>
第 29 回	気になる語彙使用について	<p>ゼミ生各自が見つめてきた「気になる語彙」についての発表とディスカッション。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>気になる語彙を見つけ、自分なりに「動機づけ」を考察しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>授業で話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。</p>
第 30 回	総まとめ	<p>後期に学んだ認知言語学の基礎概念について、理解度を確認する。期末レポートに向けて、疑問点があれば解消する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>後期のテキストにおける既習部分を復習し、自分なりに説明できるようにしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>授業内容を振り返り、レポートについて考察を深める。</p>

授業形式
<ul style="list-style-type: none"> ・授業形態は「①同時双方向型」とし、活発な発言を期待する。 ・質問等のフィードバックは授業内に行う。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	60%	0%	30%	10%	1
評価の特記事項					
課題は期日までに必ず提出すること。					

テキスト
<p>(1) 森雄一著『学びのエクササイズ レトリック』, ひつじ書房, 2012 年, 1400 円 (税別) .</p> <p>(2) 谷口一美著『認知意味論の新展開: メタファーとメトニミー』, 研究社, 2003 年, 2800 円 (税別)</p>
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
基本的には授業前後の時間帯とする。事前に必ずアポイントメントをとること。
学生へのメッセージ (事前・事後学習の内容など)
やむを得ず遅刻・欠席をする場合には、必ず教員に連絡すること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	10
担当教員	加藤 嘉津枝	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	火 4	単位区分	選
講義室	7061	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第二言語習得について基礎的なことを理解し、説明できる。 2. 効果的な英語学習法を理解し、説明できる。 3. 第二言語習得や英語学習法について活発に議論し意見交換することができる。 <p>対応 DP 及び CP:1,2,6,7,8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本講義では、教養研究 I で学習したことを基に、様々な英語学習法（例えば、多読、音読《overlapping, shadowing, repeating など》、語彙学習法など）について、より深く研究・発表・討論してもらいます。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容, 講義の形式, 評価方法, 履修上の注意点について説明します。 【事前学習】2 時間 これまでの自身の英語学習を振り返り, 良かった点, 問題点などをまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 2 回	グループワーク, 発表準備	グループワークでは, これまでの英語学習を振り返り, 良かった点, 問題点, 今後の学習について話し合います。 グループに分かれて, 発表の準備を行います。 【事前学習】2 時間 グループ発表について, メンバーとテーマや, 発表準備について話し合う。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 3 回	Writing, Speaking, 発表準備	100 万円があったら, どのように使うかというテーマで Writing をします。その後, ペア, グループで発表します。 グループに分かれて, 発表の準備を行います。 【事前学習】2 時間 グループ発表について, メンバーと話し合う。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 4 回	Ted Talks	Ted talks の speech を基に様々な学習法を体験し, 学習法について振り返ります。 【事前学習】2 時間 自分の好みに合う Ted talks を視聴して, shadowing や overlapping, dictation などを行う。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 5 回	テキスト批評発表	ゼミ生がテキスト批評発表をします。発表を聞いたゼミ生は, 紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で, 発表について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして, 予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 6 回	テキスト批評発表	ゼミ生がテキスト批評発表をします。発表を聞いたゼミ生は, 紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で, 発表について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして, 予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 7 回	テキスト批評発表	ゼミ生がテキスト批評発表をします。発表を聞いたゼミ生は, 紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で, 発表について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして, 予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。

第 8 回	テキスト批評発表	ゼミ生がテキスト批評発表をします。発表を聞いたゼミ生は、紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で、発表について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 9 回	テキスト批評発表	ゼミ生がテキスト批評発表をします。発表を聞いたゼミ生は、紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で、発表について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 10 回	テキスト批評発表	ゼミ生がテキスト批評発表をします。発表を聞いたゼミ生は、紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で、発表について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 11 回	グループ発表	英語学習法についてゼミ生が発表します。発表を聞いたゼミ生は、紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で、その英語学習法について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 12 回	グループ発表	英語学習法についてゼミ生が発表します。発表を聞いたゼミ生は、紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で、その英語学習法について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 13 回	グループ発表	英語学習法についてゼミ生が発表します。発表を聞いたゼミ生は、紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で、その英語学習法について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 14 回	グループ発表	英語学習法についてゼミ生が発表します。発表を聞いたゼミ生は、紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で、その英語学習法について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 15 回	前期まとめ	前期授業で学習したことを確認し、グループで前期の英語学習と今後の英語学習計画について考えます。
第 16 回	後期ガイダンス、英語学習	講義の内容、講義の形式、履修上の注意点について説明します。

	の振り返りと後期の学習計画	夏休みの英語学習を振り返り、後期の学習についてグループで話します。 【事前学習】2 時間 夏休みの英語学習について、良かった点、問題点などを振り返り、後期の学習について計画を立てる。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 17 回	英語活動、グループ発表準備	英語活動を行い、活動について振り返ります。 グループに分かれて、発表の準備を行います。 【事前学習】2 時間 グループ発表について、メンバーとテーマや、発表準備について話し合う。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。発表準備をさらに進める。
第 18 回	英語活動、グループ発表準備	英語活動を行い、活動について振り返ります。 グループに分かれて、発表の準備を行います。 【事前学習】2 時間 グループ発表について、メンバーとテーマや、発表準備について話し合う。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。発表準備をさらに進める。
第 19 回	グループ発表	英語学習法についてゼミ生が発表し、それについて全体で討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 20 回	グループ発表	英語学習法についてゼミ生が発表し、それについて全体で討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 21 回	グループ発表	英語学習法についてゼミ生が発表し、それについて全体で討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 22 回	グループ発表	英語学習法についてゼミ生が発表し、それについて全体で討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 23 回	個人発表	英語学習法についてゼミ生が発表し、それについて全体で討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 24 回	個人発表	英語学習法についてゼミ生が発表し、それについて全体で討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 25 回	個人発表	英語学習法についてゼミ生が発表し、それについて全体で討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間

		授業内容を復習する。
第 26 回	個人発表	英語学習法についてゼミ生が発表し、それについて全体で討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 27 回	個人発表	英語学習法についてゼミ生が発表し、それについて全体で討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 28 回	個人発表	英語学習法についてゼミ生が発表し、それについて全体で討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 29 回	個人発表	英語学習法についてゼミ生が発表し、それについて全体で討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 30 回	まとめ	授業で学習したことを振り返り、これまでの英語学習と今後の英語学習計画についてグループで考えます。

授業形式
<ul style="list-style-type: none"> ・授業形態は「①同時双方向型」「③部分対面型」とします。 ・演習形式を中心として授業を進め、ペアワーク、グループワークなども行います。 ・内容理解を確認するための課題提出等を随時課します。課題に関するフィードバックは原則として授業中に行います。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	60%	0%	20%	20%	100%
評価の特記事項					
授業への参画度では、レポート以外の課題への取り組み（質、量ともに）を評価します。その他では、プレゼンテーション等への取り組みを評価します。					

テキスト
特になし。
参考文献
授業中に随時紹介します。
オフィスアワー
月曜日 11:00～12:00。事前にメールでアポイントをとってください。メールによる相談も受け付けます。初回に授業用メールアドレスをお伝えします。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
全体での演習やグループワーク、ペアワークでは、ゼミ生の意見をよく聴き、自分からも積極的に発言するように心がけてください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	11
担当教員	金田 耕一	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	3114	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>・「教養研究(一)」(2 年)では身近な問題から公共政策について考える糸口となる発表を中心にすすめる。</p> <p>・「教養研究(二)」(3 年)では「研究論文」を見据えて、各人が主に取り組むテーマを見出せるような発表をおこなう。</p> <p>・「研究論文」(4 年)では、これまでの成果を論文としてまとめるために、資料の収集、論文構想、具体的な執筆、経過報告、最終報告をおこなう。</p> <p>対応 DP 及び CP：1，2，6，7，8</p>
授業概要（教育目的）
<p>現代社会が直面するさまざまな公共的課題を発見して、読み解き、それが引き起こしている影響、原因、そして解決の見通しなどについて考える力をつける。近年では公共的課題の「効率的」解決として公共システムの民営化や縮小がおこなわれてきた。しかし、その結果として、公的領域が私的領域へと変えられて、ますます公共的課題に取り組む「学知」も痩せ細ってきている。公共政策の課題をつうじて、あらためて「公共性」について考えたい。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容, 講義の形式, 評価方法, 履修上の注意点について説明する。 前期の輪読のスケジュールと担当者の割り当てを行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし, よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと
第 2 回	指定した文献の輪読①	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み, レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから, 自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 3 回	グループワークの実践①	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 4 回	指定した文献の輪読②	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み, レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから, 自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 5 回	グループワークの実践②	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 6 回	指定した文献の輪読③	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み, レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから, 自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	グループワークの実践③	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 8 回	指定した文献の輪読④	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み, レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから, 自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 9 回	グループワークの実践④	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間

		<p>前回の内容を振り返っておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>グループワークで出た問題点を整理する。</p>
第 10 回	指定した文献の輪読⑤	<p>指定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 11 回	グループワークの実践⑤	<p>前回実施内容についてグループワークをする。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>前回の内容を振り返っておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>グループワークで出た問題点を整理する。</p>
第 12 回	指定した文献の輪読⑥	<p>指定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 13 回	グループワークの実践⑥	<p>前回実施内容についてグループワークをする。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>前回の内容を振り返っておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>グループワークで出た問題点を整理する。</p>
第 14 回	指定した文献の輪読⑦	<p>指定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 15 回	グループワークの実践⑦	<p>前回実施内容についてグループワークをする。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>前回の内容を振り返っておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>グループワークで出た問題点を整理する。</p>
第 16 回	指定した文献の輪読⑧	<p>指定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 17 回	グループワークの実践⑧	<p>前回実施内容についてグループワークをする。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>前回の内容を振り返っておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>グループワークで出た問題点を整理する。</p>
第 18 回	指定した文献の輪読⑨	<p>指定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポ</p>

		ート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 19 回	グループワークの実践⑨	<p>前回実施内容についてグループワークをする。</p> <p>【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。</p>
第 20 回	指定した文献の輪読⑩	<p>指定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 21 回	グループワークの実践⑩	<p>前回実施内容についてグループワークをする。</p> <p>【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。</p>
第 22 回	指定した文献の輪読⑪	<p>指定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 23 回	グループワークの実践⑪	<p>前回実施内容についてグループワークをする。</p> <p>【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。</p>
第 24 回	指定した文献の輪読⑫	<p>指定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 25 回	グループワークの実践⑫	<p>前回実施内容についてグループワークをする。</p> <p>【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。</p>
第 26 回	指定した文献の輪読⑬	<p>指定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 27 回	グループワークの実践⑬	<p>前回実施内容についてグループワークをする。</p> <p>【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。</p>
第 28 回	指定した文献の輪読⑭	<p>指定した文献の内容を順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p>

		<p>自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 29 回	グループワークの実践⑭	<p>前回実施内容についてグループワークをする。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>前回の内容を振り返っておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>グループワークで出た問題点を整理する。</p>
第 30 回	全体のまとめ	<p>全体のまとめ・1 年間の振り返り</p> <p>【事前学習】4 時間</p> <p>これまでの内容を振り返っておく。</p>

授業形式	
<ul style="list-style-type: none"> ・質問等のフィードバックは，講義内で行う。 ・質問等は EcoLink から受け付ける。 	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	100%	0%	100%
評価の特記事項					
質問等のフィードバックは、講義内で行う。					

テキスト
授業時に指示する
参考文献
オフィスアワー
授業時に指示する
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	12
担当教員	久井田 直之	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	金 4	単位区分	選
講義室	3125	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本ゼミナールでは、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語と日本語の違いを理解し、説明できる。 2. 身近にあるさまざまな問題について、グローバルな視点で捉え、自身の考えを平易な英語で発信できる。 3. 問題の背景を調査し、深く考察することで、問題の本質を説明できる。 4. 効果的なプレゼンテーションを行うことができる。 <p>対応 D P 及び C P : 1, 2, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本ゼミナールでは、社会人として求められるスキルと英語学習や英語の資格試験に必要とされるスキルの二つの習得を目標とします。またゼミ内での英語アクティビティに関する企画発案・運営・振り返り・企画の見直しを通して、問題発見能力や問題解決能力の育成も図ります。3 年次ゼミナールでは、4 年次の研究論文の作成に必要とされるスキルや就職活動で必要とされるスキルの育成も図ります。</p> <p>対応 D P 及び C P : 1, 2, 6, 7, 8</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	自己分析と他己分析	自身の将来の職業について、業界研究や職種研究を行い、英語能力との関係性を調査する。他己分析と自己分析を比較考察する。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 1 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 2 回	日英の丁寧表現	日英語の丁寧語表現の違いについて学び、就職活動でのメールのやり取りの演習を行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 2 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 3 回	グループディスカッションとは	時事ニュースからディスカッショントピックを取り上げ、グループディスカッションを行う。ディスカッションに参加する側とディスカッションを見る側の両方の立場を経験し、ディスカッションについて考察する。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 3 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 4 回	グループディスカッションの実践	時事ニュースからディスカッショントピックを取り上げ、グループディスカッションを行う。ディスカッションに参加する側とディスカッションを見る側の両方の立場を経験し、ディスカッションについて考察する。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 4 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 5 回	英語力とインターン	英語力とインターンの関係性について調査し、ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 5 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 6 回	日英の伝え方と伝わり方	日本語と英語の伝え方や伝わり方の違いについて考え、ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 6 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 7 回	英文法	英文法の確認のミニクイズを基に自信の得意分野と不得意分野を確認し、解説書や問題集を参考に、見た人にわかりやすく解説する英文法動画の作成をする。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 7 回の準備を行うこと。

		<p>【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。</p>
第 8 回	動画作成	<p>グループワークで英文法解説動画の作成をする。</p> <p>【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 8 回の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。</p>
第 9 回	動画作成 2	<p>前回に引き続きグループワークで英文法解説動画の作成をする。</p> <p>【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 9 回の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。</p>
第 10 回	動画作成 3	<p>前回に引き続き、グループワークで英文法解説動画の作成をする。どのような動画を作成すると、わかりやすいかなどの動画作成上のポイントも整理する。</p> <p>【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 9 回の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。</p>
第 11 回	特徴の分析の手法	<p>後期の研究プロジェクトの準備として、実際に使用されている英語（映画、小説、広告、新聞、地図、プレゼンテーションなど）の特徴の調査・分析の手法を学ぶ。</p> <p>【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 11 回の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。</p>
第 12 回	実例検証	<p>第 11 回で学んだ調査・分析方法を用いて、実例検証をペアもしくはグループワークで行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 12 回の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。</p>
第 13 回	検証結果のプレゼンテーション	<p>前回行ったグループワークの検証結果をプレゼンテーションする。</p> <p>【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 13 回の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。</p>
第 14 回	リスニングとスピーキング	<p>英語資格試験対策を意識した英語トレーニングを行う。リスニング・リーディング・ライティング・スピーキングの 4 技能それぞれに焦点をあてる。第 14 回はリスニングとスピーキング。</p> <p>【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、</p>

		<p>第 14 回の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。</p>
第 15 回	リーディングとライティング	<p>英語資格試験対策を意識した英語トレーニングを行う。リスニング・リーディング・ライティング・スピーキングの 4 技能それぞれに焦点をあてる。第 15 回はリーディングとライティング。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 15 回の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。</p>
第 16 回	研究プロジェクト予備調査	<p>後期の研究プロジェクトの各自のテーマを決める。自身の興味関心から“英語×〇〇”を意識して予備調査をスタートさせる。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 16 回の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。</p>
第 17 回	問題の本質とは	<p>各自のプロジェクトテーマの問題の本質は何か、背景調査を十分に行う。どのような背景調査が必要か、教員と意見交換を十分に行いながら、図書館を用いて調査する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 17 回の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。</p>
第 18 回	問題解決の目標設定	<p>各自のプロジェクトテーマについて自身が追求する問題解決の目標の設定を行う。どのような問題に、どのような問題解決方法を提示するか、教員と意見交換を十分に行いながら、検討する。問いの立て方を学ぶ。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 18 回の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。</p>
第 19 回	独自性とは	<p>各自のプロジェクトテーマについて、どのような独自性のあるアイデアを提示するか、教員と意見交換を十分に行いながら、検討する。独自性について、実例を通じて学びながら、自身の独自のアプローチを探す。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 19 回の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。</p>
第 20 回	先行研究の見つけ方	<p>各自のプロジェクトテーマについて、先行研究の見つけ方を学び、見つけた論文を速読し、自身のテーマとの関連性を考え、取捨しながら、3-4 の論文に絞り込む。</p> <p>【事前学習】2 時間</p>

		<p>google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 20 回の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。</p>
第 21 回	問い立てと先行研究	<p>各自のテーマに沿って絞り込んだ論文を読み、論文の趣旨や自身の問い立てとの比較を行い、先行研究整理ノートを作成する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 21 回の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。</p>
第 22 回	先行研究の整理	<p>整理した論文の中から、自身のプロジェクトテーマに最も関連していると思われる本を図書館で取り寄せ、目を通し、論文との対比などを通して先行研究の整理を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 22 回の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。</p>
第 23 回	自身の問いの見直し	<p>先行研究から整理した問題点の中から、自身の取り組む問いを再度立てる。第 18 回で立てた問いと比べて、3 年次の実現可能な問いに修正し、その問いへの答え方を検討する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 23 回の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。</p>
第 24 回	研究プロジェクトの構成とプレゼンテーション準備	<p>自身の研究プロジェクトの構成の見直しと、プレゼンテーションに向けての準備を進める。教員と意見交換を十分に行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 24 回の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。</p>
第 25 回	研究プロジェクトの構成とプレゼンテーション準備 2	<p>自身の研究プロジェクトの構成の見直しと、プレゼンテーションに向けての準備を進める。教員と意見交換を十分に行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 25 回の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。</p>
第 26 回	発表会に向けて	<p>研究プロジェクト発表会に向けての最終準備を行う。プレゼンテーションの評価方法や質疑応答のやりかたなどを確認する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 26 回の準備を行うこと。</p>

		<p>【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い，振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。</p>
第 27 回	研究プロジェクト発表会 1	<p>第 1 回研究プロジェクト発表会を実施する。担当者はパワーポイントスライド等を用いてプレゼンテーションを行い，質疑応答を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い，クラスルーム内の指示に従い，第 27 回の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 プレゼンテーション評価シートを提出できるように準備しておくこと。</p>
第 28 回	研究プロジェクト発表会 2	<p>第 2 回研究プロジェクト発表会を実施する。担当者はパワーポイントスライド等を用いてプレゼンテーションを行い，質疑応答を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い，クラスルーム内の指示に従い，第 28 回の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 プレゼンテーション評価シートを提出できるように準備しておくこと。</p>
第 29 回	研究プロジェクト発表会 3	<p>第 3 回研究プロジェクト発表会を実施する。担当者はパワーポイントスライド等を用いてプレゼンテーションを行い，質疑応答を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い，クラスルーム内の指示に従い，第 29 回の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 プレゼンテーション評価シートを提出できるように準備しておくこと。</p>
第 30 回	研究プロジェクト発表会 4	<p>第 4 回研究プロジェクト発表会を実施する。担当者はパワーポイントスライド等を用いてプレゼンテーションを行い，質疑応答を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い，クラスルーム内の指示に従い，第 30 回の準備を行うこと。</p> <p>【事後学習】2 時間 プレゼンテーション評価シートを提出できるように準備しておくこと。</p>

授業形式
<p>授業形態は「①同時双方向型」とする。（コロナウィルス感染状況に応じて対面で実施する）</p> <p>・アクティブ・ラーニングを実施する。（実施方法の詳細は初回ゼミナールで説明する。）</p>

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	70%	0%	30%	0%	100%
評価の特記事項					
欠席数が 5 回以上になった学生は評価の対象外とする。					

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスパワー
月曜日 15 : 00 ~ 17 : 00。事前に授業後またはメールでアポをとること。なお、メールアドレスは、授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
英語が好きで、英語を使いこなせるようになりたいという向上心を持って、自身の英語力のレベルアップのために努力を惜しまない姿勢で取り組んでもらえたらと思います。また物事に積極的に取り組む姿勢と自主性を持ち、他のゼミ生と協調していくことができることが重要です。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	14
担当教員	坂野 徹	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	月 3	単位区分	選
講義室	3103	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本ゼミでは、現代日本社会における様々な文化的事象を、フィールドワーク（現地調査）と書物を通じて考えていく。現在のコロナ渦にあって、どこか遠くに出かけてのフィールドワークは難しくなってしまったが、東京という都市、学生の暮らす家や街、アルバイト先、さらにはネット空間もまたひとつのフィールド（現場）にほかならない。本ゼミでは、こうした 様々なフィールド（現場）で発生する文化的事象を対象に、幅広い読書と自らの観察・聞き書き（目、耳）も駆使しながら考えていく。</p> <p>対応DP及びCP：1, 2, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>ゼミで取り上げる可能性のある問題は、政治やコロナ渦などの社会に関わる問題から、大学生活や恋愛、ファッション、趣味、風俗といった日常的な問題まで、非常に多岐にわたる。学生諸君には、「全てはフィールドである」という精神のもと、自分を取り巻く日常世界を批判的に捉え返す姿勢を養ってもらいたい。ゼミの目的を一言で表すならば、「人生の強化」である。</p>

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	ゼミの内容、形式、評価方法、履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 課題テキストをよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習しておくこと。
第 2 回	フィールドワークの方法論 （1）	フィールドワークの方法論に関する輪読（1） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 3 回	フィールドワークの方法論 （2）	フィールドワークの方法論に関する輪読（2） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 4 回	フィールドワークの方法論 （3）	フィールドワークの方法論に関する輪読（3） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 5 回	読書への誘い（1）	各自が新書を 1 冊選び、紹介する。 【事前学習】2 時間 図書館などで本を選び、紹介レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 他の学生が紹介した本について調べてみる。
第 6 回	フィールドワークの方法論 （4）	フィールドワークの方法論に関する輪読（4） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	フィールドワークの方法論 （5）	フィールドワークの方法論に関する輪読（5） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 8 回	フィールドワークの方法論 （6）	フィールドワークの方法論に関する輪読（6） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 9 回	読書への誘い（2）	各自が新書を 1 冊選び、紹介する。 【事前学習】2 時間 図書館などで本を選び、紹介レポートを作成する。

		【事後学習】2 時間 他の学生が紹介した本について調べてみる。
第 10 回	フィールドワークの方法論 (7)	フィールドワークの方法論に関する輪読 (7) 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 11 回	フィールドワークの方法論 (8)	フィールドワークの方法論に関する輪読 (8) 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 12 回	フィールドワークの方法論 (9)	フィールドワークの方法論に関する輪読 (9) 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 13 回	フィールドワークの方法論 (10)	フィールドワークの方法論に関する輪読 (10) 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 14 回	読書への誘い (3)	各自が新書を 1 冊選び、紹介する。 【事前学習】2 時間 図書館などで本を選び、紹介レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 他の学生が紹介した本について調べてみる。
第 15 回	前期まとめ	大学外またはオンラインによるフィールドワーク 【事前学習】2 時間 フィールドワーク対象の調査。 【事後学習】2 時間 資料などにより理解を深める。
第 16 回	イントロダクション (後期)	ゼミ (後期) の内容、形式、評価方法、履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 課題テキストをよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習しておくこと
第 17 回	フィールドワークの理論と実践 (1)	フィールドワークの理論と実践に関する輪読 (1) 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 18 回	フィールドワークの理論と実践 (2)	フィールドワークの理論と実践に関する輪読 (2) 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間

		自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジюме作成時に注意すべきことをまとめる。
第 19 回	フィールドワークの理論と実践（３）	フィールドワークの理論と実践に関する輪読（３） 【事前学習】２時間 自分が報告する箇所を読み、レジюмеを作成する。 【事後学習】２時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジюме作成時に注意すべきことをまとめる。
第 20 回	読書への誘い（４）	各自が新書を１冊選び、紹介する。 【事前学習】２時間 図書館などで本を選び、紹介レポートを作成する。 【事後学習】２時間 他の学生が紹介した本について調べてみる。
第 21 回	フィールドワークの理論と実践（４）	フィールドワークの理論と実践に関する輪読（４） 【事前学習】２時間 自分が報告する箇所を読み、レジюмеを作成する。 【事後学習】２時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジюме作成時に注意すべきことをまとめる。
第 22 回	フィールドワークの理論と実践（５）	フィールドワークの理論と実践に関する輪読（５） 【事前学習】２時間 自分が報告する箇所を読み、レジюмеを作成する。 【事後学習】２時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジюме作成時に注意すべきことをまとめる。
第 23 回	フィールドワークの理論と実践（６）	フィールドワークの理論と実践に関する輪読（６） 【事前学習】２時間 自分が報告する箇所を読み、レジюмеを作成する。 【事後学習】２時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジюме作成時に注意すべきことをまとめる。
第 24 回	読書への誘い（５）	各自が新書を１冊選び、紹介する。 【事前学習】２時間 図書館などで本を選び、紹介レポートを作成する。 【事後学習】２時間 他の学生が紹介した本について調べてみる。
第 25 回	フィールドワークの理論と実践（７）	フィールドワークの理論と実践に関する輪読（７） 【事前学習】２時間 自分が報告する箇所を読み、レジюмеを作成する。 【事後学習】２時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジюме作成時に注意すべきことをまとめる。
第 26 回	フィールドワークの理論と実践（８）	フィールドワークの理論と実践に関する輪読（８） 【事前学習】２時間 自分が報告する箇所を読み、レジюмеを作成する。 【事後学習】２時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジюме作成時に注意すべきことをまとめる。
第 27 回	フィールドワークの理論と実践（９）	フィールドワークの理論と実践に関する輪読（９） 【事前学習】２時間 自分が報告する箇所を読み、レジюмеを作成する。 【事後学習】２時間

		自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 28 回	フィールドワークの理論と実践（10）	<p>フィールドワークの理論と実践に関する輪読（10）</p> <p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 29 回	読書への誘い（6）	<p>各自が新書を 1 冊選び、紹介する。</p> <p>【事前学習】2 時間 図書館などで本を選び、紹介レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 他の学生が紹介した本について調べてみる。</p>
第 30 回	後期まとめ	<p>大学外またはオンラインによるフィールドワーク</p> <p>【事前学習】2 時間 フィールドワーク対象の調査。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料などにより理解を深める。</p>

授業形式

- ・授業形態は③部分対面型とする。
- ・質問等のフィードバックは、講義内で行う。
- ・質問等は Ecolink または Gmail から受け付ける。
- ・アクティブ・ラーニングを実施する（実施方法の詳細は初回に説明する）。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	30%	40%	100%
評価の特記事項					
ゼミ内でのレジュメ作成、発表、討論への参加、フィールドワーク実践の成果を総合的に評価する。					

テキスト
工藤保則他編『質的調査の方法〔第2版〕』（法律文化社、2016年）、2600円（税抜） 島村恭則『みんなの民俗学』（平凡社新書、2020年）、880円（税抜）
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
月1回程度2, 3年生と合同ゼミとする。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	15
担当教員	佐藤 温	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	火 4	単位区分	選
講義室	3105	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
1. 近世の語彙や文法に関する知識を身につけ、古典文を読解することができる。 2. 作品の読解を通して近世の文化について考え、その特徴を時代背景とともに説明することができる。 3. 近世の歴史や社会のあり方について、文化との関わりから理解し、説明することができる。 対応 D P, C P : 1, 2, 6, 7, 8,
授業概要（教育目的）
日本の近世（江戸時代）の文学作品を読みながら、その表現や思想の特徴、ならびに当時の文化や社会のあり方について解説していきます。近世の人々が、それ以前の文学の伝統を受け継ぎつつ、新しい文学をどのように作り出していったかという観点を中心に、当時の文学作品の意義について考察します。自らの力で歴史的な作品や文献を読み解くことにより、その意味を理解する力とともに、現代の社会や文化を新たな角度から考える力も涵養してもらいたいと思います。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	前期ガイダンス	前期の学習内容と授業実施方法を確認する。 【事前学習】2 時間 春期休暇中の課題図書『雨月物語』を読み直し，内容を再確認する。 【事後学習】2 時間 次回以降の文献の輪読について，担当箇所を確認し発表準備を計画する。
第 2 回	文献の輪読（1）	『雨月物語』について，指定された文献を読み，内容について討論する。 （第 1 回） 【事前学習】2 時間 文献の指定された箇所を読み，内容についてわからない点などは自分で調べておく。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について，調査・考察をする。
第 3 回	文献の輪読（2）	『雨月物語』について，指定された文献を読み，内容について討論する。 （第 2 回） 【事前学習】2 時間 文献の指定された箇所を読み，内容についてわからない点などは自分で調べておく。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について，調査・考察をする。
第 4 回	文献の輪読（3）	『雨月物語』について，指定された文献を読み，内容について討論する。 （第 3 回） 【事前学習】2 時間 文献の指定された箇所を読み，内容についてわからない点などは自分で調べておく。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について，調査・考察をする。
第 5 回	文献の輪読（4）	『雨月物語』について，指定された文献を読み，内容について討論する。 （第 4 回） 【事前学習】2 時間 文献の指定された箇所を読み，内容についてわからない点などは自分で調べておく。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について，調査・考察をする。
第 6 回	文献の輪読（5）	『雨月物語』について，指定された文献を読み，内容について討論する。 （第 5 回） 【事前学習】2 時間 文献の指定された箇所を読み，内容についてわからない点などは自分で調べておく。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について，調査・考察をする。
第 7 回	文献の輪読（6）	『雨月物語』について，指定された文献を読み，内容について討論する。 （第 6 回） 【事前学習】2 時間 文献の指定された箇所を読み，内容についてわからない点などは自分で調べておく。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について，調査・考察をする。
第 8 回	文献の輪読（7）	『雨月物語』について，指定された文献を読み，内容について討論する。

		<p>(第 7 回)</p> <p>【事前学習】2 時間 文献の指定された箇所を読み、内容についてわからない点などは自分で調べておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。</p>
第 9 回	文献の輪読 (8)	<p>『雨月物語』について、指定された文献を読み、内容について討論する。</p> <p>(第 8 回)</p> <p>【事前学習】2 時間 文献の指定された箇所を読み、内容についてわからない点などは自分で調べておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。</p>
第 10 回	文献の輪読 (9)	<p>『雨月物語』の論点について、作品と文献に基づきながら討論する。</p> <p>【事前学習】2 時間 2～9 回の文献を再読する。</p> <p>【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。</p>
第 11 回	論点の調査と考察 (1)	<p>2～10 回の授業内容に基づき、『雨月物語』についての発表と討論を行う。</p> <p>(第 1 回)</p> <p>【事前学習】2 時間 各自の関心のある論点について調査・考察をし、発表資料を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。</p>
第 12 回	論点の調査と考察 (2)	<p>2～10 回の授業内容に基づき、『雨月物語』についての発表と討論を行う。</p> <p>(第 2 回)</p> <p>【事前学習】2 時間 各自の関心のある論点について調査・考察をし、発表資料を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。</p>
第 13 回	論点の調査と考察 (3)	<p>2～10 回の授業内容に基づき、『雨月物語』についての発表と討論を行う。</p> <p>(第 3 回)</p> <p>【事前学習】2 時間 各自の関心のある論点について調査・考察をし、発表資料を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。</p>
第 14 回	レポートの書き方	<p>11～13 回の発表内容をもとにレポートを執筆する方法について学ぶ。</p> <p>【事前学習】2 時間 各自の発表内容を見直し、レポート執筆に向けて修正・増補すべき点について考える。</p> <p>【事後学習】2 時間 レポートを執筆する際の考え方や決まり事について復習する。</p>
第 15 回	まとめ	<p>前期の学習内容を振り返り、来学期の学習の目標を確認する。</p> <p>【事前学習】2 時間 前期の資料を全体的に読み直し、内容を再確認する。</p> <p>【事後学習】2 時間 夏期休暇中の課題レポートに取り組むために必要な準備を行う。</p>
第 16 回	後期ガイダンス	<p>後期の学習内容と実施方法を確認する。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題図書（作品 1（仮））を読み直し、内容を再確認する。</p> <p>【事後学習】2 時間 次回以降の文献の輪読について、担当箇所を確認し発表準備を計画す</p>

		る。
第 17 回	文献の輪読（10）	<p>作品 1（仮）について、指定された文献を読み、内容について討論する。（第 1 回）</p> <p>【事前学習】2 時間 文献の指定された箇所を読み、内容についてわからない点などは自分で調べておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。</p>
第 18 回	文献の輪読（11）	<p>作品 1（仮）について、指定された文献を読み、内容について討論する。（第 2 回）</p> <p>【事前学習】2 時間 文献の指定された箇所を読み、内容についてわからない点などは自分で調べておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。</p>
第 19 回	文献の輪読（12）	<p>作品 1（仮）について、指定された文献を読み、内容について討論する。（第 3 回）</p> <p>【事前学習】2 時間 文献の指定された箇所を読み、内容についてわからない点などは自分で調べておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。</p>
第 20 回	文献の輪読（13）	<p>作品 1（仮）の論点について、作品と文献に基づきながら討論する。</p> <p>【事前学習】2 時間 17～19 回の文献を再読する。</p> <p>【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。</p>
第 21 回	文献の輪読（14）	<p>作品 2（仮）について、指定された文献を読み、内容について討論する。（第 1 回）</p> <p>【事前学習】2 時間 文献の指定された箇所を読み、内容についてわからない点などは自分で調べておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 次回以降の文献の輪読について、担当箇所を確認し発表準備を計画する。</p>
第 22 回	文献の輪読（15）	<p>作品 2（仮）について、指定された文献を読み、内容について討論する。（第 2 回）</p> <p>【事前学習】2 時間 文献の指定された箇所を読み、内容についてわからない点などは自分で調べておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 次回以降の文献の輪読について、担当箇所を確認し発表準備を計画する。</p>
第 23 回	文献の輪読（16）	<p>作品 2（仮）について、指定された文献を読み、内容について討論する。（第 1 回）</p> <p>【事前学習】2 時間 文献の指定された箇所を読み、内容についてわからない点などは自分で調べておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 次回以降の文献の輪読について、担当箇所を確認し発表準備を計画する。</p>
第 24 回	文献の輪読（17）	作品 2（仮）について、指定された文献を読み、内容について討論する。

		<p>(第2回)</p> <p>【事前学習】2 時間 文献の指定された箇所を読み，内容についてわからない点などは自分で調べておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 次回以降の文献の輪読について，担当箇所を確認し発表準備を計画する。</p>
第 25 回	文献の輪読 (18)	<p>作品 2 (仮) の論点について，作品と文献に基づきながら討論する。</p> <p>【事前学習】2 時間 21～24 回の文献を再読する。</p> <p>【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について，調査・考察をする。</p>
第 26 回	研究論文のテーマ選定	<p>来年度の研究論文を見据え，テーマを選定する方法や注意点について学ぶ。</p> <p>【事前学習】2 時間 関心のあるテーマについて，書き出してまとめる。</p> <p>【事後学習】2 時間 論文の構想を具体化させるためにテーマを絞り込む。</p>
第 27 回	先行研究の調査 (1)	<p>先行研究を調査する方法について，文献の検索の仕方や図書館の使い方を中心に学ぶ。</p> <p>【事前学習】2 時間 関心のあるテーマについて，インターネット検索等を用いてどのような情報が手に入るか確認する。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業中に説明されたデータベース類を実際に使って，テーマに関する検索を行う。</p>
第 28 回	先行研究の調査 (2)	<p>調査した文献から，論文のテーマに関わる分野の研究史をまとめる方法について学ぶ。</p> <p>【事前学習】2 時間 既に収集した文献を確認し，研究の流れを把握する。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業中に説明された内容を踏まえて，それぞれの文献の関係性を整理する。</p>
第 29 回	文献リストの作成	<p>先行研究をまとめた文献リストの作成の仕方について学ぶ。</p> <p>【事前学習】2 時間 既に収集した文献について，著者名や題名などの基本的な情報をまとめておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業中に説明された書式に基づいてリストを作成する。</p>
第 30 回	まとめ	<p>後期の学習内容を振り返り，来年度の学習の目標を確認する。</p> <p>【事前学習】2 時間 後期の資料を全体的に読み直し，内容を再確認する。</p> <p>【事後学習】2 時間 春期休暇中の課題レポートに取り組むために必要な準備を行う。</p>

授業形式

授業形態は「①同時双方向型」とする。

質問等は Gmail で受け付ける。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	30%	40%	100%
評価の特記事項					
授業への参画度，発表や討論への取り組み，レポートなどを評価の対象とする。					

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
特になし。
オフィスアワー
授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
特になし。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	16
担当教員	篠ヶ谷 圭太	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	月 3	単位区分	選
講義室	3105	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教授・学習に関する心理学の理論（記憶、メタ認知、動機づけなど）について説明できる。 2) 教授・学習に関する心理学的な様々な研究法について理解し、説明できる。 3) 教授・学習に関する心理学研究の知見と自身の学習や教育実践の関連について説明できる。 4) 教授・学習に関する心理学研究の知見をもとに様々な意見や考えを比較し、統合することができる。 <p>対応 DP 及び CP: 1, 2, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>この授業では、教授・学習過程に関する心理学の書籍や学術論文を精読し、その内容を資料にまとめて報告してもらいます。その上で、研究結果が実際に人に教える時、自分が学ぶ時にどのように活かせるかについて、学生同士で意見交換を行います。一連の活動を通じて、教授・学習過程に関する様々な理論や研究法の知識、分析結果を読み取り、批判的・論理的に思考する力、プレゼンテーションスキルとディスカッションスキルの獲得、向上を目指します。</p>

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	心理学の研究法①	教育心理学の研究領域や研究法，統計的な分析方法について解説する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み，内容を自分なりに解釈した上で，疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り，わかったこと，わからなかったことをまとめ，疑問点については情報探索を行う。
第 2 回	心理学の研究法②	教育心理学の研究領域や研究法，統計的な分析方法について解説する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み，内容を自分なりに解釈した上で，疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り，わかったこと，わからなかったことをまとめ，疑問点については情報探索を行う。
第 3 回	学術論文の精読と討議	各自，担当した論文の内容について順番に報告する 【事前学習】2 時間 授業資料を読み，内容を自分なりに解釈した上で，疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り，わかったこと，わからなかったことをまとめ，疑問点については情報探索を行う。
第 4 回	学術論文の精読と討議	各自，担当した論文の内容について，順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み，内容を自分なりに解釈した上で，疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り，わかったこと，わからなかったことをまとめ，疑問点については情報探索を行う。
第 5 回	学術論文の精読と討議	各自，担当した論文の内容について，順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み，内容を自分なりに解釈した上で，疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り，わかったこと，わからなかったことをまとめ，疑問点については情報探索を行う。
第 6 回	学術論文の精読と討議	各自，担当した論文の内容について，順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み，内容を自分なりに解釈した上で，疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り，わかったこと，わからなかったことをまとめ，疑問点については情報探索を行う。
第 7 回	学術論文の精読と討議	各自，担当した論文の内容について，順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み，内容を自分なりに解釈した上で，疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り，わかったこと，わからなかったことをまとめ，疑問点については情報探索を行う。

第 8 回	学術論文の精読と討議	各自、担当した論文の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 9 回	学術論文の精読と討議	各自、担当した論文の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 10 回	学術論文の精読と討議	各自、担当した論文の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 11 回	学術論文の精読と討議	各自、担当した論文の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 12 回	学術論文の精読と討議	各自、担当した論文の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 13 回	学術論文の精読と討議	各自、担当した論文の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 14 回	学術論文の精読と討議	各自、担当した論文の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 15 回	まとめとふりかえり	授業で扱った内容全体を振り返り、教授・学習過程の理論と研究法に関する理解を深める。 【事前学習】2 時間

		<p>授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>授業で扱った内容全体を振り返り、自身の学習の深まりと広がりについてレポートにまとめる。</p>
第 16 回	研究計画の立案と討議	<p>担当した論文の内容および自身の研究計画について、順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。</p>
第 17 回	研究計画の立案と討議	<p>担当した論文の内容および自身の研究計画について、順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。</p>
第 18 回	研究計画の立案と討議	<p>担当した論文の内容および自身の研究計画について、順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。</p>
第 19 回	研究計画の立案と討議	<p>担当した論文の内容および自身の研究計画について、順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。</p>
第 20 回	研究計画の立案と討議	<p>担当した論文の内容および自身の研究計画について、順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。</p>
第 21 回	研究計画の立案と討議	<p>担当した論文の内容および自身の研究計画について、順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。</p>
第 22 回	研究計画の立案と討議	<p>担当した論文の内容および自身の研究計画について、順番に報告する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p>

		授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 23 回	研究計画の立案と討議	担当した論文の内容および自身の研究計画について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 24 回	研究計画の立案と討議	担当した論文の内容および自身の研究計画について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 25 回	研究計画の立案と討議	担当した論文の内容および自身の研究計画について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 26 回	研究計画の立案と討議	担当した論文の内容および自身の研究計画について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 27 回	研究計画の立案と討議	担当した論文の内容および自身の研究計画について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 28 回	学術論文の精読と討議	担当した論文の内容および自身の研究計画について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 29 回	学術論文の精読と討議	担当した論文の内容および自身の研究計画について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 30 回	まとめとふりかえり	授業で扱った内容全体を振り返り、教授・学習過程の理論と研究法に関する

		<p>る理解を深める。</p> <p>【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業で扱った内容全体を振り返り、自身の学習の深まりと広がりについてレポートにまとめる。</p>
--	--	--

授業形式	
<p>授業形態は「③同時双方向型」とする。</p> <p>質問は授業内および EcoLink と Gmail で受け付け、授業内でフィードバックを行う。</p> <p>学生による発表と小グループでのディスカッションを中心に進める。</p>	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	10%	0%	50%	40%	100%
評価の特記事項					
資料およびプレゼンテーションの質（40%）, 議論への参画度（50%）, レポート（10%）で評価します。					

テキスト
参考文献
市川伸一 学習と教育の心理学（現代心理学 3） 岩波書店
オフィスアワー
月曜 14:30～16:00 水曜 10:40～13:00
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
積極的に自分の考えや解釈を伝え、他者の意見と統合して学習を深めようとする姿勢を強く求めます。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	17
担当教員	清水 純	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	金 4	単位区分	選
講義室	3124	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>食文化をテーマとし、グループワークを通じて、調査と分析の実践、文献資料検索と講読、プレゼンテーションの実践を行う。</p> <p>身の回りの食に関するテーマについて、問題意識を持って課題を設定し、調査や文献研究を通じて考察を進め、報告をまとめ、発表資料を作成してプレゼンテーションを行う、この研究の一通りのプロセスを十分な準備に基づいて実践する。</p> <p>対応 DP および CP : 1, 2, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>前期は、グループに分かれてアンケート調査と文献講読を行い、研究結果の報告を行う。グループでの話し合いや分析などの分担作業を通じて、相互の協力関係を作り上げる。後期は、自主的に目標を設定し、文献調査とテーマの設定を行い、グループメンバー間の分担作業により、研究を進めてプレゼンテーションを行う。前期の実践を踏まえ、自主的な調査研究を進める。</p>

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	授業の進め方	今年度の授業の進め方についてガイダンス、アンケート調査実施のためのグループ分けを行う。 【事前学習】2 時間 昨年度のレポートを読み直しておく。 【事後学習】2 時間 グループメンバーとの間で授業ガイダンスの内容を再確認しておく。
第 2 回	アンケートテーマの選定	グループごとにアンケート調査のテーマ選定について検討し、テーマを決める。 【事前学習】2 時間 研究テーマを探しておく。 【事後学習】2 時間 グループでの話し合いの結果をまとめておく。
第 3 回	アンケートの作成	グループ内で、アンケート項目について検討と設問作成を行う。 【事前学習】2 時間 アンケート項目を考えておく。 【事後学習】2 時間 分担項目について質問事項を作成しておく。
第 4 回	ゼミアンケートの完成と調査の実施	各グループのアンケートを統合してゼミ全体のアンケートをまとめる。 【事前学習】2 時間 各グループで作成したアンケートをまとめておく。 【事後学習】2 時間 分担してアンケート調査を行い、回答を集める。
第 5 回	アンケートの集計	グループごとに回答を集計し、グラフにして整理する。さらに集計結果とグラフを分析してどのようなことがいえるのか、グループごとに検討する。 【事前学習】2 時間 アンケート回答を整理しておく。 【事後学習】2 時間 授業内でのアンケートの分析の結果を報告にまとめる。
第 6 回	報告資料の作成	各グループで報告内容について話し合い、報告のための資料作成を完成させる。 【事前学習】2 時間 各自が担当部分についての発表資料原案を作成しておく。 【事後学習】2 時間 授業での検討内容を発表資料に反映させる。
第 7 回	アンケート結果報告	各グループが分析結果を報告し合い、ゼミ全体で分析結果について共有し、討論する。 【事前学習】2 時間 自分の担当分についてプレゼンテーションの仕方を工夫し、練習しておく。 【事後学習】2 時間 他のグループの報告内容にもとづき、分析結果や問題点を整理する。
第 8 回	発展的研究	今回のアンケートを土台にして、今後どのように発展的に研究を進めることができるかを具体的に考える。 ①聞き足りないところを探して、さらに踏み込んだ質問を作る。 ②関連性を考えて発展的な質問を作成する。 ③インターネット上で関連する記事などを探す。 ④関連するテーマの文献収集、リスト化。 【事前学習】2 時間 自分の担当した設問部分について回答と分析を見直しておく。 【事後学習】2 時間 授業で検討した内容をまとめる。

第 9 回	文献リストの作成	<p>関連するテーマについて、文献リスト検索の結果説明を行う。 テキスト講読のグループ分けと各章の分担決めを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 文献リストを整理しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 グループでの分担内容について確認しておく。</p>
第 10 回	講読と発表準備	<p>テキストの講読を開始する。</p> <p>【事前学習】2 時間 テキストを準備し、序文と目次を読んでおく。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分が担当する章について、感想をまとめる。</p>
第 11 回	講読と発表準備	<p>自分の担当部分について、内容の要約を作成し、添削指導を受ける。</p> <p>【事前学習】2 時間 担当する箇所を読んでおく。</p> <p>【事後学習】2 時間 添削指導に基づき、要約の修整を行う。</p>
第 12 回	講読と発表準備	<p>自分の担当部分の発表資料を作成し、添削指導を受ける。</p> <p>【事前学習】2 時間 パワーポイントの使い方、レジュメのまとめ方について確認しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 添削指導に基づき、発表資料の集成を行う。</p>
第 13 回	研究報告	<p>読んだ文献の内容について、グループごとに報告を行う。各メンバーは自分が担当した部分について資料を使って発表する。</p> <p>【事前学習】2 時間 プレゼンテーションの練習をしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 他の発表者のプレゼンテーションについて振り返り、自分の発表資料の作り方や発表の仕方などについて参考になる点はどこかを考える。</p>
第 14 回	研究報告	<p>読んだ文献の内容について、グループごとに報告を行う。各メンバーは自分が担当した部分について資料を使って発表する。</p> <p>【事前学習】2 時間 プレゼンテーションの練習をしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 他の発表者のプレゼンテーションについて振り返り、発表資料の作り方や発表の仕方を参考にする。</p>
第 15 回	研究報告	<p>読んだ文献の内容について、グループごとに報告を行う。各自が担当した部分について資料を使って発表する。</p> <p>【事前学習】2 時間 プレゼンテーションの練習をしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 他の発表者のプレゼンテーションについて振り返り、自分の発表資料の作り方や発表の仕方を参考にする。</p>
第 16 回	後期自由研究についてのガイダンス	<p>後半の自由研究についてのガイダンスを行う。研究テーマの候補案をグループに明かれて検討する。</p> <p>【事前学習】2 時間 夏休み中に研究テーマとなる課題を探しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 グループでの検討内容をまとめておく。</p>
第 17 回	研究テーマの絞り込み	<p>研究テーマの提案を行い、全員で検討して研究テーマの絞り込みを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 候補としたテーマについて、概要を説明できるようにまとめておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p>

		自分の選んだテーマについて調べておく。
第 18 回	文献の検索	グループごとにテーマに沿って文献資料を検索する。 【事前学習】2 時間 自分の選んだテーマについて調べておく。 【事後学習】2 時間 検索した文献資料について整理する。
第 19 回	文献の絞り込み	検索した文献についての検討を行い、講読文献を絞り込む。 【事前学習】2 時間 検索した文献資料の概要を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で絞り込んだ文献を整理しておく。
第 20 回	文献の決定	講読文献を決定し、分担を決める。 【事前学習】2 時間 文献リストを作っておく。 【事後学習】2 時間 分担した文献を準備する。
第 21 回	文献講読とまとめ	文献を購読し、まとめを作成する。 【事前学習】2 時間 担当する文献を講読する。 【事後学習】2 時間 読んだ文献の内容を要約する。
第 22 回	文献講読とまとめ	文献を購読し、まとめを作成する。 【事前学習】2 時間 担当する文献を講読する。 【事後学習】2 時間 読んだ文献の内容を要約する。
第 23 回	文献講読とまとめ	文献を購読し、まとめを作成する。 【事前学習】2 時間 担当する文献を講読する。 【事後学習】2 時間 読んだ文献の内容を要約する。
第 24 回	報告準備	各自が発表資料を作成して持ち寄り、グループ内で内容を確認し合う。 【事前学習】2 時間 発表資料をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内での討論に基づき、発表資料を修正する。
第 25 回	報告資料の作成と提出	発表資料を提出し、添削指導を受ける。 【事前学習】2 時間 発表資料の完成版を作っておく。 【事後学習】2 時間 添削指導に従って、資料を修正する。
第 26 回	グループ内での報告練習	グループ内でプレゼンテーションの練習を行う。 【事前学習】2 時間 自分の分担分について、発表原稿を作って練習しておく。 【事後学習】2 時間 授業に基づき、各自の発表の仕方を振り返る。
第 27 回	研究報告（プレゼンテーション）	資料を使って研究成果を報告する。 【事前学習】2 時間 他のグループの発表資料に目を通しておく。 【事後学習】2 時間 他のグループの発表内容について、参考になる点を記録しておく。
第 28 回	研究報告（プレゼンテーション）	資料を使って研究成果を報告する。

	ン)	<p>【事前学習】2 時間 他のグループの発表資料に目を通しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 他のグループの発表内容について、参考になる点を記録しておく。</p>
第 29 回	研究報告の総括	<p>ゼミ全体の研究報告の結果を総合し、研究課題について検討する。</p> <p>【事前学習】2 時間 他のグループの発表内容を要約しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内で討論した内容について要点をまとめる。</p>
第 30 回	今年度の学習の総括	<p>今年度行った調査、資料収集、分析、プレゼンテーション資料作成、プレゼンテーションの実践のプロセスについて振り返り、今年度のゼミでの学習を総括する。</p> <p>【事前学習】2 時間 今年度の学習内容を復習しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業の感想をまとめる。</p>

授業形式
オンラインの同時双方向形式、およびオンデマンド形式を使い分けて授業を進める。後期は可能であれば教室での対面形式の授業も取り入れる。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	1
評価の特記事項					

テキスト
参考文献
オフィスアワー
相談が必要なときはいつでも G メールで相談を受け付けます。 対面で相談する必要があるときは、G メールでアポイントを取ってください。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	18
担当教員	杉藤 久志	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	水 4	単位区分	選
講義室	3134	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 西洋文化の基本となる思想の概要（特にヨーロッパの都市文化の特徴とキリスト教の社会的影響）を、中世と近代という広い視点から説明できるようになる。 2. 西洋文化について書かれた本を日常的に読み、その主題を要約して文章でまとめ、さらに自分の視点からその考えを批評できるようになる。 3. 研究で取り上げていない主題にたいして、自分の研究に関連づけられるような批評性を養う。 4. 上記 1-3 の技術を統合しながら、本格的な学術論文が作成できるようになる。 <p>対応 DP および CP: 1,2,6,7,8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本講義では、自分が選んだ主題にかんする学術論文を書くための発展的な学習を行います。中世という時代区分に限らず、中世から近代（あるいは現代）にかけて、人間の生活や思想で何が大きく変化したのか、あるいは変化していない部分は何か、古典的な研究書を輪読しながら考えていきます。これらの作業で得た考えを、研究論文の中に取り入れることで、研究範囲は狭いものであっても、広い視野を持つ態度を養うことが最終的な目標です。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	融合する食文化 1	<p>西洋の食文化の基礎を学習します。ヨーロッパの南と北での食文化の違いを中心に学びます。</p> <p>【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備すること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 2 回	融合する食文化 2	<p>西洋の食文化の基礎を学習します。香辛料や料理法などの特徴を学びます。</p> <p>【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備すること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 3 回	融合する食文化 3	<p>西洋の食文化の基礎を学習します。マナーや四体液説などの思想を学びます。</p> <p>【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備すること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 4 回	都市と農村の住居 1 研究進捗報告 1	<p>都市と農村における建築の特徴を学習します。古代から中世へ引き継がれた建築様式を学びます。</p> <p>【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備すること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 5 回	都市と農村の住居 2	<p>都市と農村における建築の特徴を学習します。ロマネスクからゴシックへの変化を学びます。</p> <p>【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備すること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 6 回	都市と農村の住居 3	<p>都市と農村における建築の特徴を学習します。農村社会の住居の構造を学びます。</p> <p>【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくる</p>

		<p>こと。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 7 回	知の復興と書物の変容 1	<p>大学や学問が形成されていった過程を学習します。12 世紀ルネサンスという考えについて学びます。</p> <p>【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備すること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 8 回	知の復興と書物の変容 2 研究進捗報告 2	<p>大学や学問が形成されていった過程を学習します。写本と注釈という文化について学びます。</p> <p>【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備すること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 9 回	知の復興と書物の変容 3	<p>大学や学問が形成されていった過程を学習します。印刷に至るまでの書物の広まりについて学びます。</p> <p>【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備すること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 10 回	見えないものへのまなざしと美術 1	<p>中世美術が持っていた機能について学習します。神聖な、目に見えないものを当時の美術が表象していたことを学びます。</p> <p>【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備すること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 11 回	見えないものへのまなざしと美術 2	<p>中世美術が持っていた機能について学習します。教会における彫像の役割について学びます。</p> <p>【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備すること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 12 回	見えないものへのまなざしと美術 3	<p>中世美術が持っていた機能について学習します。写本美術に込められた表象の工夫について学びます。</p>

	研究進捗報告 3	<p>【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 13 回	都市 1	<p>ブローデルによる都市の思想を学習します。都市である条件は何か、その定義を中心に学びます。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 14 回	都市 2	<p>ブローデルによる都市の思想を学習します。中世にあった都市のさまざまな規模について学びます。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 15 回	研究中間発表	<p>研究の進捗について、原稿と資料を用意して発表します。参加者は研究が発展するような肯定的批評を行います。</p> <p>【事前学習】2 時間 各自で自分の研究発表のための資料を作成します。</p> <p>【事後学習】2 時間 他のメンバーの研究を聞き、自身の研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 16 回	都市 3	<p>ブローデルによる都市の思想を学習します。農村との分業のあり方を学びます。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 17 回	都市 4	<p>ブローデルによる都市の思想を学習します。囲壁などの都市の構造の種類を学びます。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 18 回	都市 5	<p>ブローデルによる都市の思想を学習します。都市と外部からの労働者の問題をを中心に学びます。</p>

		<p>【事前学習】2 時間 資料を読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくる。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 19 回	都市 6 研究進捗報告 4	<p>ブローデルによる都市の思想を学習します。都市の地理的な問題を中心に学びます。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくる。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 20 回	都市 7	<p>ブローデルによる都市の思想を学習します。都市における交易や市場について学びます。授業で扱った箇所についてまとめ、受講生それぞれの研究の観点から分析して討論します。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくる。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 21 回	プロテスタンティズムの倫理と 資本主義の精神 1	<p>ウェーバーが考えたプロテスタンティズムの特徴について学習します。ベンジャミン・フランクリンの引用から、ウェーバーの定義する資本主義を学びます。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくる。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 22 回	プロテスタンティズムの倫理と 資本主義の精神 2	<p>ウェーバーが考えたプロテスタンティズムの特徴について学習します。近代の企業家たちの倫理観について述べられている部分を解釈します。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくる。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 23 回	プロテスタンティズムの倫理と 資本主義の精神 3 研究進捗報告 5	<p>ウェーバーが考えたプロテスタンティズムの特徴について学習します。伝統主義という生き方について考えます。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくる。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>

		ら確認できるようにしておくこと。
第 24 回	プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神 4	<p>ウェーバーが考えたプロテスタンティズムの特徴について学習します。資本主義の非合理的な性質とは何か、考えます。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくる。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 25 回	プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神 5	<p>ウェーバーが考えたプロテスタンティズムの特徴について学習します。授業で扱った箇所についてまとめ、受講生それぞれの研究の観点から分析して討論します。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくる。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 26 回	有用性の限界 1	<p>バタイユの提唱する有用性の限界について学習します。宗教改革後に起きた生き方の変化は何だったのか、バタイユの考えをもとに分析します。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくる。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 27 回	有用性の限界 2 研究進捗報告 6	<p>バタイユの提唱する有用性の限界について学習します。バタイユが有用という言葉と宗教を結びつけた文脈について分析します。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくる。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 28 回	有用性の限界 3	<p>バタイユの提唱する有用性の限界について学習します。有用性について、現代のわれわれと中世における意識の違いを、ウェーバーの文章も振り返りながら討論します。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくる。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 29 回	研究発表 1	<p>研究の進捗について、原稿と資料を用意して発表します。参加者は研究が発展するような肯定的批評を行います。</p> <p>【事前学習】2 時間 各自で自分の研究発表のための資料を作成します。</p>

		<p>【事後学習】2 時間 他のメンバーの研究を聞き、自身の研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>
第 30 回	研究発表 2	<p>研究の進捗について、原稿と資料を用意して発表します。参加者は研究が発展するような肯定的批評を行います。</p> <p>【事前学習】2 時間 各自で自分の研究発表のための資料を作成します。</p> <p>【事後学習】2 時間 他のメンバーの研究を聞き、自身の研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。</p>

授業形式	
<p>・授業形態は「①同時双方向型」とします。</p> <p>・質問や論文の添削などのフィードバックは、授業および Google Classroom を通じて行います。</p>	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	70%	0%	30%	0%	1
評価の特記事項					
「授業への参画度」には、発表および研究報告が含まれます。「レポート」は、前期末および後期末の「研究論文中間報告」により評価します。					

テキスト
堀越宏一、甚野尚志編著、『15 のテーマで学ぶ中世ヨーロッパ史』（ミネルバ書房、2013 年） フェルナン・ブローデル、『物質文明・経済・資本主義 15-18 世紀 I-2: 日常性の構造 2』（みすず書房、1985 年） マックス・ヴェーバー、『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』（岩波文庫、1989 年） ジョルジュ・バタイユ、『呪われた部分：有用性の限界』（ちくま学芸文庫、2003 年）
参考文献
特になし
オフィスアワー
火曜 5 限に質問や相談を受け付けます。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミナールで文章を読むときは、発表者であるかどうかにかかわらず、常に自分の研究との関係を考えながら批判的に取り組むようにしてください。その際、表面的な言葉を気にするのではなく、抽象的な構造における物事の類似を考えることが重要です。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	19
担当教員	鈴木 基子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	水 3	単位区分	選
講義室	7062	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本授業では、以下の能力を身につけることを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中国語検定 2 級レベルの実力が付くようにしたい。 2. 身近な話題の中国語文書が読めるようになる。 3. 新聞やニュースなどが理解できるようになる。 4. 研究論文の作成方法をグループワークで学ぶ。 <p>対応 DP 及び CP : 1, 2, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<ol style="list-style-type: none"> 1. 中国は日本人の生活と密接な関係をもつ隣国である。中国で話されている標準語（普通話）を学びながら、文化背景を理解をし、意思疎通とコミュニケーションができるようにする。中級中国語力の養成とともに、現代中国を知ることに関心を置く。 2. 中国社会、文化遺産・名所旧跡、中国語検定対策、時事中国語のテキストなどを使用する。『中国文化 55 のキーワード』をサブテキストとして用いる。 3. 映画「孫文」「宋家の三姉妹」「山河ノスタルジア」「KAN O—海の向こうの甲子園」「海角七号」の一部を観賞する。 4. グループワークを通して、研究論文の作成方法を学ぶ。 <p>授業は、学生と話し合い、希望を聞き、調整して進める。</p>

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	復習 今年度の授業の進め方	2 年間学んだ中国語のおさらいをする。 今年度の授業の進め方を説明する。 【事前学習】2 時間 中国語学習の復習をする。 【事後学習】2 時間 年間計画を立てる。自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 2 回	第 1 課 本文・文法 中国文化 5 5 のキーワード	第 1 課 呼称の変化 文法ポイント 中国文化 5 5 のキーワード：1 - 5（〈中国〉をかたちづくるもの） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 3 回	第 1 課 練習 中国文化 5 5 のキーワード	第 1 課 練習問題 討論 中国文化 5 5 のキーワード：6 - 10（〈中国〉をかたちづくるもの、意味ありげな場所とのであい） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 4 回	第 2 課 本文・文法 中国文化 5 5 のキーワード	第 2 課 大学生の恋愛事情 文法ポイント 中国文化 5 5 のキーワード：11 - 15（意味ありげな場所とのであい、人びとの生活を彩るもの） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 5 回	第 2 課 練習 中国文化 5 5 のキーワード	第 2 課 練習問題 討論 中国文化 5 5 のキーワード：16 - 20（人びとの生活を彩るもの） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 6 回	第 3 課 本文・文法 中国文化 5 5 のキーワード	第 3 課 飲食の変化 文法ポイント 中国文化 5 5 のキーワード：21 - 25（人びとの生活を彩るもの、いろいろな人たち） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。

		<p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 7 回	<p>第 3 課 練習 中国文化 5 5 のキーワード</p>	<p>第 3 課 練習問題 討論 中国文化 5 5 のキーワード：2 6 – 3 0（いろいろな人たち） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 8 回	<p>第 4 課 本文・文法 中国文化 5 5 のキーワード</p>	<p>第 4 課 適齢期を逃した女性 文法ポイント 中国文化 5 5 のキーワード：3 1 – 3 5（不思議なものども） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 9 回	<p>第 4 課 練習 中国文化 5 5 のキーワード</p>	<p>第 4 課 練習問題 討論 中国文化 5 5 のキーワード：3 6 – 4 0（不思議なものども、書く・描く・見る・読む・聞く・遊ぶ） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 10 回	映画鑑賞	<p>【事前学習】2 時間 映画に関する資料を入手する。 【事後学習】2 時間 資料を読み込む。</p>
第 11 回	映画鑑賞	<p>【事前学習】2 時間 資料を読み込む。 【事後学習】2 時間 映画を見て考えたことを、レポートにまとめる。</p>
第 12 回	<p>第 5 課 本文・文法 中国文化 5 5 のキーワード</p>	<p>第 5 課 ふたりっ子政策 文法ポイント 中国文化 5 5 のキーワード：4 1 – 4 5（書く・描く・見る・読む・聞く・遊ぶ） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 13 回	<p>第 5 課 練習 中国文化 5 5 のキーワード</p>	<p>第 5 課 練習問題 討論 中国文化のキーワード：4 6 – 5 0（周縁の愉悦） 【事前学習】2 時間</p>

		<p>自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 14 回	第 6 課 本文・文法 中国文化 5 5 のキーワード	<p>第 6 課 住居</p> <p>文法ポイント</p> <p>中国文化のキーワード：5 1 – 5 5（周縁の愉悦）</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 15 回	第 6 課 練習 夏休みの宿題について	<p>第 6 課</p> <p>練習問題</p> <p>討論</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 16 回	後期の授業の進め方 第 7 課 本文・文法	<p>後期の授業の進め方を説明する。</p> <p>第 7 課 結婚観</p> <p>文法ポイント</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 17 回	第 7 課 練習 研究テーマの選び方	<p>第 7 課</p> <p>練習問題</p> <p>討論</p> <p>グループワーク：研究テーマを検索する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 18 回	第 8 課 本文・文法 研究資料の収集方法	<p>第 8 課 海外旅行</p> <p>文法ポイント</p> <p>グループワーク：研究資料を図書館のホームページから検索する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 19 回	第 8 課 練習 論文の構成	<p>第 8 課</p> <p>練習問題</p> <p>討論</p> <p>グループワーク：論文の目的、方法、構成を考える。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p>

		自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 20 回	第 9 課 本文・文法 研究論文の例	第 9 課 WeChat 文法ポイント 研究論文の実例を示す。 グループワーク：研究論文を紹介する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 21 回	第 9 課 練習 研究論文作成に向けて	第 9 課 練習 討論 グループワークをする。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。 グループワークの課題内容の問題点を整理する。
第 22 回	第 10 課 本文・文法 研究論文作成に向けて	第 10 課 服装の変化 文法ポイント グループワークをする。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。 グループワークの課題内容の問題点を整理する。
第 23 回	第 10 課 練習 研究論文作成に向けて	第 10 課 練習問題 グループワークをする。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。 グループワークの課題内容の問題点を整理する。
第 24 回	映画鑑賞	【事前学習】2 時間 映画に関する資料を収集する。 【事後学習】2 時間 資料を読み込む。
第 25 回	映画鑑賞	【事前学習】2 時間 資料を読み込む。 【事後学習】2 時間 映画を見て、考えたことをレポートにまとめる。
第 26 回	第 11 課 本文・文法 グループワークの発表	第 11 課 移民 文法ポイント グループワークの発表をし、質疑応答を行う。 グループワークの課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事前学習】2 時間

		<p>自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p> <p>グループワークの資料などにより、理解を深める。</p>
第 27 回	第 1 1 課 練習 グループワークの発表	<p>第 1 1 課 練習問題 討論</p> <p>グループワークの発表をし、質疑応答を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p> <p>グループワークの資料などにより、理解を深める。</p>
第 28 回	第 1 2 課 本文・文法 グループワークの発表	<p>第 1 2 課 春節 文法ポイント</p> <p>グループワークの発表をし、質疑応答を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。</p> <p>グループワークの課題について、要点を整理し、疑問点を抽出しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p> <p>グループワークの資料などにより、理解を深める。</p>
第 29 回	第 1 2 課 練習 グループワークの発表	<p>第 1 2 課 練習問題 討論</p> <p>グループワークの発表をし、質疑応答を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。</p> <p>グループワークの課題について、要点を整理し、疑問点を抽出しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p> <p>グループワークの資料などにより、理解を深める。</p>
第 30 回	まとめ	<p>グループワークから個人研究へ。</p> <p>1 年間の振り返りを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>

授業形式
<p>①オンデマンド型 ②部分対面型</p> <p>演習、発表、討論形式をとる。</p>

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	70%	0%	100%
評価の特記事項					

テキスト
山下輝彦・路元『知ってる？今の中国－衣食住遊－』朝日出版社 武田雅哉・加部勇一郎・田村容子『中国文化 55 のキーワード』ミネルヴァ書房
参考文献
中国語検定問題集 2 級 授業時に適宜紹介します。
オフィスアワー
事前にメールで予約してください。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
遅刻・私語は厳禁とします。 欠席は事前に連絡していただきますようお願いいたします。 発表者は、必ずペーパー資料を作成し、十分な準備を行いましょう。 発表者以外も、予習復習に努めるようにしましょう。
授業用 URL
http://www.eco.nihon-u.ac.jp
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	20
担当教員	武廣 亮平	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	7063	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>このゼミでは以下の知識や能力を身に付けることを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歴史を深く掘り下げて研究することで、歴史的事象の分析・考察・理解力を高める。 2. 研究発表を通して文章力、表現力のスキルアップを図る。 3. 「歴史」という観点から現代社会を見通す力を養う。 <p>対応 DP 及び CP 1, 2, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>このゼミでは、歴史のさまざまなテーマに関する研究を、個別研究、共同研究という2つの形式で行う。個別研究は、昨年度の研究内容をより深めて、研究論文につながる内容の充実を目指すそれに基づいて研究を深める。発表は前期（研究内容の発表）、後期（研究関連史料の講読）に実施する。共同研究は教養研究（一）の学生に対するアドバイスなども含めた主体的な立場での研究活動を求める。年末には研究論文の作成に向けた具体的な指導も行う。</p>

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	オリエンテーションと年間予定	ゼミの概要（目的と意義、年間スケジュールなど）についての説明を行う 【事前学習】2 時間 春休み中の研究進捗状況の確認 【事後学習】2 時間 1 年間のスケジュールの確認
第 2 回	共同研究テーマについて	今年度の共同研究テーマを決める 【事前学習】2 時間 ゼミ生各自によるテーマ案の設定 【事後学習】2 時間 決定したテーマに関する資料の収集
第 3 回	課題研究（グループワーク）	「歴史」に関する時事問題的な課題についてのディスカッション 【事前学習】 新聞、ニュース記事等から歴史的なテーマを検索 【事後学習】2 時間 ディスカッション内容の整理
第 4 回	個人研究発表と質疑応答 ①	ゼミ生による個人研究発表と質疑応答 【事前学習】2 時間 事前に配布した発表資料の通読と質問事項等の確認 【事後学習】2 時間 発表内容に関するゼミ生各自の追加研究とその成果物の提出
第 5 回	個人研究発表と質疑応答 ②	ゼミ生による個人研究発表と質疑応答 【事前学習】2 時間 事前に配布した発表資料の通読と質問事項等の確認 【事後学習】2 時間 発表内容に関するゼミ生各自の追加研究とその成果物の提出
第 6 回	個人研究発表と質疑応答 ③	ゼミ生による個人研究発表と質疑応答 【事前学習】2 時間 事前に配布した発表資料の通読と質問事項等の確認 【事後学習】2 時間 発表内容に関するゼミ生各自の追加研究とその成果物の提出
第 7 回	研究発表前半のまとめ	これまでの研究発表で議論となった点のディスカッション 【事前学習】2 時間 研究発表①～③の議論点の確認 【事後学習】2 時間 ディスカッションの内容のまとめ（レポート）
第 8 回	個人研究発表と質疑応答 ④	ゼミ生による個人研究発表と質疑応答 【事前学習】2 時間 事前に配布した発表資料の通読と質問事項等の確認 【事後学習】2 時間 発表内容に関するゼミ生各自の追加研究とその成果物の提出
第 9 回	個人研究発表と質疑応答 ⑤	ゼミ生による個人研究発表と質疑応答 【事前学習】2 時間 事前に配布した発表資料の通読と質問事項等の確認 【事後学習】2 時間 発表内容に関するゼミ生各自の追加研究とその成果物の提出
第 10 回	個人研究発表と質疑応答 ⑥	ゼミ生による個人研究発表と質疑応答 【事前学習】2 時間 事前に配布した発表資料の通読と質問事項等の確認 【事後学習】2 時間

		発表内容に関するゼミ生各自の追加研究とその成果物の提出
第 11 回	研究発表後半のまとめ	これまでの研究発表で議論となった点のディスカッション 【事前学習】2 時間 研究発表①～③の議論点の確認 【事後学習】2 時間 ディスカッションの内容のまとめ（レポート）
第 12 回	博物館・資料館活用論	東京の博物館・資料館の活用について考える 【事前学習】2 時間 大学周辺の博物館・資料館について調べる 【事後学習】2 時間 実際に訪れて共同研究関係の資料を探す
第 13 回	夏季学外研修準備作業①	夏季学外研修に関する準備作業（資料収集編） 【事前学習】2 時間 学外研修に関する資料の収集 【事後学習】2 時間 学習成果のまとめ
第 14 回	夏季学外研修準備作業②	夏季学外研修に関する準備作業（資料作成編） 【事前学習】2 時間 前回収集した資料の検討 【事後学習】2 時間 作成した資料による予習
第 15 回	前期総括	前期の内容のまとめと後期に向けての課題の提示 【事前学習】2 時間 ゼミ生各自による前期発表の振り返り 【事後学習】2 時間 後期の個人研究発表に向けての準備
第 16 回	後期ゼミの予定と発表テーマの確認	後期ゼミのスケジュール概要と、個人研究発表テーマの報告 【事前学習】2 時間 個人研究テーマと発表内容の確認 【事後学習】2 時間 研究発表の準備作業
第 17 回	共同研究ガイダンス	2・3 年生の共同研究に関するガイダンス 【事前学習】2 時間 事前に配布した共同研究資料の内容確認 【事後学習】2 時間 グループによる研究テーマの設定
第 18 回	共同研究グループワーク①	設定した共同研究テーマに関するグループワーク 【事前学習】2 時間 各自の担当項目に関するグループ別事前学習 【事後学習】2 時間 グループワークの内容と成果の整理
第 19 回	共同研究グループワーク②	設定した共同研究テーマに関するグループワーク 【事前学習】2 時間 各自の担当項目に関するグループ別事前学習 【事後学習】2 時間 グループワークの内容と成果の整理
第 20 回	共同研究関連史料の講読	共同研究に関連する史料の講読 【事前学習】2 時間 事前に配布した史料の下読みと語句調べ 【事後学習】2 時間 講読史料の読みと解釈のまとめ
第 21 回	グループ発表資料の作成	グループ発表資料を各グループで作成する

		【事前学習】2 時間 発表資料の作成 【事後学習】2 時間 作成資料の見直しと加筆・修正
第 22 回	共同研究グループ発表と講評①	共同研究のグループ発表を行う 【事前学習】2 時間 発表内容の確認と発表原稿の作成 【事後学習】2 時間 質問や意見をうけた発表内容の振り返り
第 23 回	共同研究グループ発表と講評②	共同研究のグループ発表を行う 【事前学習】2 時間 発表内容の確認と発表原稿の作成 【事後学習】2 時間 質問や意見をうけた発表内容の振り返り
第 24 回	個人研究関連史料の講読会①	個人研究に関連する史料を全員で講読する 【事前学習】2 時間 事前に配布した発表資料の通読と質問事項等の確認 【事後学習】2 時間 講読した史料の読みや内容の確認
第 25 回	個人研究関連史料の講読会②	個人研究に関連する史料を全員で講読する 【事前学習】2 時間 事前に配布した発表資料の通読と質問事項等の確認 【事後学習】2 時間 講読した史料の読みや内容の確認
第 26 回	個人研究関連史料の講読会③	個人研究に関連する史料を全員で講読する 【事前学習】2 時間 事前に配布した発表資料の通読と質問事項等の確認 【事後学習】2 時間 講読した史料の読みや内容の確認
第 27 回	個人研究関連史料の講読会④	個人研究に関連する史料を全員で講読する 【事前学習】2 時間 事前に配布した発表資料の通読と質問事項等の確認 【事後学習】2 時間 講読した史料の読みや内容の確認
第 28 回	研究論文作成指導	研究論文の作成について具体的な指導を行う 【事前学習】2 時間 個人研究発表の内容の整理 【事後学習】2 時間 研究論文の構成を考える
第 29 回	研究論文発表会	4 年生による研究論文の発表会 【事前学習】2 時間 事前にデータで送られた研究論文（原稿）の通読 【事後学習】2 時間 研究論文発表会の論点整理
第 30 回	年間総括	ゼミ活動の年間総括と教員による講評 【事前学習】2 時間 各自による活動内容の振り返り 【事後学習】2 時間 次年度の研究論文に向けての準備

授業形式
Google Meet または Zoom を利用したオンライン授業

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	20%	0%	80%	0%	1
評価の特記事項					
特に発表時における積極的な質問や意見を評価する。					

テキスト
特に指定はしない。必要に応じて資料を事前に配布する。
参考文献
オフィスアワー
木曜日 1・2 時限目
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	21
担当教員	田村 真奈美	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	金 4	単位区分	選
講義室	3104	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>①小説を読み、背景にある文化、歴史について理解を深める。</p> <p>②ことばの使い方に注意を払い、テキストをいろいろな角度から検討できる。</p> <p>③調べて学んだこと、考えたことを、聞き手にわかりやすく発表できる。</p> <p>④ディスカッションにおいて、自分とは違うものの見方、考え方に対して興味を持ち、意見のやり取りを楽しむことができる。</p> <p>対応 DP 及び CP: 1,2,6,7,8</p>
授業概要（教育目的）
<p>前期は 19 世紀以降にイギリスで出版された小説を読み、ディスカッションをします。イギリスの文化、歴史に対する理解を深めるだけでなく、言語表現にも注意を払い、深く読み考える授業です。後期は研究論文の準備をします。</p>

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の内容と教材、授業の進め方について説明します。また、次回までの事前学習についても詳しく説明します。 【事前学習】2 時間 EcoLink のメッセージを読み、Google Classroom にアクセスしておく。 【事後学習】2 時間 受講方法を再度確認して、わからないことがあったら EcoLink あるいは Gmail で質問する。
第 2 回	『日の名残り』プロローグ (pp. 9-33)	担当学生の発表に引き続き、ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定箇所を精読し、疑問点や気になった点をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 3 回	『日の名残り』一日目夜 (pp. 34-63)	担当学生の発表に引き続き、ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定箇所を精読し、疑問点や気になった点をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 4 回	『日の名残り』二日目朝 (pp. 64-94)	担当学生の発表に引き続き、ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定箇所を精読し、疑問点や気になった点をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 5 回	『日の名残り』二日目朝 (pp. 94-131)	担当学生の発表に引き続き、ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定箇所を精読し、疑問点や気になった点をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 6 回	『日の名残り』二日目朝 (pp. 131-161)	担当学生の発表に引き続き、ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定箇所を精読し、疑問点や気になった点をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 7 回	『日の名残り』二日目午後 (pp. 162-182)	担当学生の発表に引き続き、ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定箇所を精読し、疑問点や気になった点をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 8 回	中間のまとめ	これまで読んできた部分について振り返り、ディスカッションを行う。
第 9 回	『日の名残り』三日目朝 (pp. 183-201)	担当学生の発表に引き続き、ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定箇所を精読し、疑問点や気になった点をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 10 回	『日の名残り』三日目夜 (pp. 202-224)	担当学生の発表に引き続き、ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 テキストの指定箇所を精読し、疑問点や気になった点をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 11 回	『日の名残り』三日目夜	担当学生の発表に引き続き、ディスカッションを行う。

	(pp. 224-257)	<p>【事前学習】2 時間 テキストの指定箇所を精読し、疑問点や気になった点をまとめておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。</p>
第 12 回	『日の名残り』三日目夜 (pp. 257-291)	<p>担当学生の発表に引き続き、ディスカッションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 テキストの指定箇所を精読し、疑問点や気になった点をまとめておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。</p>
第 13 回	『日の名残り』四日目午後 (pp. 292-329)	<p>担当学生の発表に引き続き、ディスカッションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 テキストの指定箇所を精読し、疑問点や気になった点をまとめておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。</p>
第 14 回	『日の名残り』六日目夜 (pp. 330-353)	<p>担当学生の発表に引き続き、ディスカッションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 テキストの指定箇所を精読し、疑問点や気になった点をまとめておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。</p>
第 15 回	『日の名残り』まとめ	<p>提出された課題を資料としてディスカッションを行い、小説全体を振り返るとともに、小説を読むという体験そのものを考える。</p> <p>【事前学習】2 時間 『日の名残り』をまだ読んだことのない人に、一読を勧める文章を書き、期限までに Google Classroom に提出する。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習する。また、前期末までに「研究論文計画書」を提出する。</p>
第 16 回	後期授業への導入	<p>後期授業の内容と進め方について説明します。また、次回までの事前学習についても詳しく説明します。</p> <p>【事前学習】2 時間 Google Classroom にアップする資料をよく読んでおく。</p> <p>【事後学習】2 時間 受講方法を再度確認して、わからないことがあったら EcoLink あるいは Gmail で質問する。</p>
第 17 回	研究論文準備：テーマの 選び方・絞り方	<p>研究論文とはどのようなものか考えます。特にテーマの選び方・絞り方について、具体的に説明します。</p> <p>【事前学習】2 時間 Google Classroom にアップする資料をよく読んでおく。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。</p>
第 18 回	研究論文準備：資料収 集・整理	<p>研究論文を準備する際の資料収集・整理の仕方について、具体的に説明します。</p> <p>【事前学習】2 時間 Google Classroom にアップする資料をよく読んでおく。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。</p>
第 19 回	研究論文準備：資料分 析、ブックレポートについて	<p>収集した資料を分析する際の注意点を具体的に説明します。また、ブックレポートの準備についても詳しく説明します。</p> <p>【事前学習】2 時間 Google Classroom にアップする資料をよく読んでおく。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。ま</p>

		た、ブックレポートの準備を始める。
第 20 回	研究論文準備：資料分析	<p>収集した資料を分析する際の注意点を意識して、実際に分析を行います。</p> <p>【事前学習】2 時間 Google Classroom にアップする資料をよく読んでおく。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。また、ブックレポートの準備をしておく。</p>
第 21 回	研究論文準備：論文の書き方、構想発表について	<p>実際に研究論文を書く際に注意すべき点を具体的に説明します。</p> <p>【事前学習】2 時間 Google Classroom にアップする資料をよく読んでおく。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。また、ブックレポートの準備をしておく。</p>
第 22 回	ブックレポート	<p>研究論文の資料として用いる予定の書籍を 1 冊選び、その内容について批判的な考察を加えて発表する。その後ディスカッションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 ブックレポートのやり方を理解し、資料をまとめておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 他の学生の意見を参考に、資料を再検討する。</p>
第 23 回	ブックレポート	<p>研究論文の資料として用いる予定の書籍を 1 冊選び、その内容について批判的な考察を加えて発表する。その後ディスカッションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 ブックレポートのやり方を理解し、資料をまとめておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 他の学生の意見を参考に、資料を再検討する。</p>
第 24 回	ブックレポート	<p>研究論文の資料として用いる予定の書籍を 1 冊選び、その内容について批判的な考察を加えて発表する。その後ディスカッションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 ブックレポートのやり方を理解し、資料をまとめておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 他の学生の意見を参考に、資料を再検討する。</p>
第 25 回	ブックレポート	<p>研究論文の資料として用いる予定の書籍を 1 冊選び、その内容について批判的な考察を加えて発表する。その後ディスカッションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 ブックレポートのやり方を理解し、資料をまとめておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 他の学生の意見を参考に、資料を再検討する。</p>
第 26 回	研究論文構想発表	<p>研究論文についての構想を発表し、その後ディスカッションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 構想発表のやり方を理解し、資料をまとめておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 他の学生の意見を参考に、資料を再検討する。</p>
第 27 回	研究論文構想発表	<p>研究論文についての構想を発表し、その後ディスカッションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 構想発表のやり方を理解し、資料をまとめておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 他の学生の意見を参考に、資料を再検討する。</p>
第 28 回	研究論文構想発表	<p>研究論文についての構想を発表し、その後ディスカッションを行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 構想発表のやり方を理解し、資料をまとめておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 他の学生の意見を参考に、資料を再検討する。</p>

第 29 回	研究論文構想発表	研究論文についての構想を発表し、その後ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 構想発表のやり方を理解し、資料をまとめておく。 【事後学習】2 時間 他の学生の意見を参考に、資料を再検討する。
第 30 回	まとめ	1 年間の授業を振り返り、学習内容をまとめます。 【事前学習】2 時間 これまでの授業を振り返り、疑問点などをまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだ内容を参考に、各自、研究テーマを明確にし、資料収集を進める。

授業形式
①Zoom を利用した同時双方型授業（アクティブ・ラーニング）を実施します。質問・課題に関するフィードバックは主として授業中に行います。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	40%	60%	1
評価の特記事項					
その他は前期の発表 1 回、後期の発表 2 回の評価です。					

テキスト
前期：カズオ・イシグロ著、土屋政雄訳『日の名残り』ハヤカワ epi 文庫、2001 年、760 円（税抜） 後期：必要な資料は Google Classroom を通じて配布します。
参考文献
授業中に指示します。
オフィスアワー
EcoLink のメッセージ、あるいは Gmail で連絡してください。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
前期は輪読、後期は主に発表形式で授業を進めます。受講の仕方は授業内で説明します。欠席するときは必ず連絡すること。無断欠席は認めません。授業には積極的に参加してください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	22
担当教員	鄭 亨奎	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	水 3	単位区分	選
講義室	3135	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>日本と中国の文化の特質を把握し、共通点と相違点を認識することができる。</p> <p>テーマを設定し、資料を調べ、自ら分析し、それをまとめて発表することができる。</p> <p>ゼミナールでの発表を通じてプレゼンテーション能力を高めることができる。</p> <p>対応 DP 及び CP: 1,2,6,7,8</p>
授業概要（教育目的）
<p>日本と中国の言語、歴史、社会など文化全般について学び、両者を比較しながら研究を進める。同じ漢字でもどうして意味がこんなに違うのか。似て非なる異文化現象の根源はどこにあるのかなど、日常生活の中でも常に体験し、疑問に思われている事例をとりあげ、その背後にある文化的・社会的要因について考察する。</p> <p>日中の文化、日中関係に関する資料を読み、その内容をめぐって全員でディスカッションをする。</p> <p>順番に学習した内容或いは関連する内容をめぐりプレゼンテーションを行い、質疑応答をする。</p>

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	東洋思想	A:文献講読： 東洋思想(プリント) B:ディスカッション
第 2 回	儒教思想	A:文献講読： 儒教思想(プリント) B:ディスカッション
第 3 回	発表 1	A:ゼミ生のプレゼンテーション B:質疑応答
第 4 回	仏教思想	A:文献講読： 仏教思想 (プリント) B:ディスカッション
第 5 回	道教思想	A:文献講読： 道教思想 (プリント) B:ディスカッション
第 6 回	発表 2	A:ゼミ生のプレゼンテーション B:質疑応答
第 7 回	漢字文化圏	A:文献講読： 漢字文化圏 (プリント) B:ディスカッション
第 8 回	漢字の発想	A:文献講読： 漢字の発想(プリント) B:ディスカッション
第 9 回	表意文字の感性	A:文献講読： 表意文字の感性 (プリント) B:ディスカッション
第 10 回	発表 3	A:ゼミ生のプレゼンテーション B:質疑応答
第 11 回	日・中両国文化の異質性	A:文献講読： 日・中両国文化の異質性 (プリント) B:ディスカッション
第 12 回	島文化	A:文献講読： 島文化 (プリント) B:ディスカッション
第 13 回	大陸文化	A:文献講読： 大陸文化 (プリント) B:ディスカッション
第 14 回	発表 4	A:ゼミ生のプレゼンテーション B:質疑応答
第 15 回	日中の言語と文化	A:文献講読： 日中の言語と文化(プリント) B:ディスカッション
第 16 回	中国語と日本語の特質	A:文献講読： 中国語と日本語の特質(プリント) B:ディスカッション
第 17 回	世界の中の日本語と中国語の位置	A:文献講読： 世界の中の日本語と中国語の位置(プリント) B:ディスカッション
第 18 回	発表 5	A:ゼミ生のプレゼンテーション B:質疑応答
第 19 回	日中飲食文化の相違	A:文献講読： 日中飲食文化の相違(プリント) B:ディスカッション
第 20 回	日中茶文化の相違	A:文献講読： 日中茶文化の相違 (プリント) B:ディスカッション
第 21 回	発表 6	A:ゼミ生のプレゼンテーション B:質疑応答
第 22 回	近代における中国文化の逆輸入	A:文献講読： 近代における中国文化の逆輸入(プリント) B:ディスカッション
第 23 回	近代日本-中国と西洋の懸け橋	A:文献講読： 近代日本-中国と西洋の懸け橋(プリント) B:ディスカッション
第 24 回	発表 7	A:ゼミ生のプレゼンテーション B:質疑応答
第 25 回	日中国交正常化(1)	A:文献講読： 日中国交正常化(1)(プリント)

		B:ディスカッション
第 26 回	日中国交正常化(2)	A:文献講読：日中国交正常化(2)(プリント) B:ディスカッション
第 27 回	発表 8	A:ゼミ生のプレゼンテーション B:質疑応答
第 28 回	日中平和友好条約(1)	A:文献講読：日中平和友好条約(1)(プリント) B:ディスカッション
第 29 回	日中平和友好条約(1)	A:文献講読：日中平和友好条約(2)(プリント) B:ディスカッション
第 30 回	発表 9	A:ゼミ生のプレゼンテーション B:質疑応答

授業形式
オンライン・双方向授業

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%
評価の特記事項					
評価方法「その他」はプレゼンテーションについての評価で、原則パワーポイントを使って発表してもらいたい。 棒読みではなく、自分の言葉で発表されているかどうかが重要である。					

テキスト
参考文献、記事などから抜粋し、プリントにして配布する。
参考文献
『日中韓三国の比較文化論』王少峰 2000 明石書店 『日中文化比較研究』李素楨 1999 文化書房博文社 『日中関係史』国分良成他 2014 有配斐閣
オフィスアワー
月曜日 18:00～19:00、3 号館 14 階の研究室にいます。事前にアポイントをとり、指示された時間帯に来ること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
配布された資料は事前に予習し、授業では積極的に自分の意見を発表してもらいたい。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	23
担当教員	徳永 志織	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	7062	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>この授業では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スペイン語力をアップし、会話ができる。 ・辞書を使い、スペイン語で書かれた様々なタイプの文献を読むことができる。 ・スペイン文化一般を理解する。 ・外国語を使うために必要なことを理解し、それを実践に役立たせることができる。 <p>対応 DP 及び CP:1, 2, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>語学の 4 技能を習得することを目的とし、スペイン語によるテキストを読みながら、文化・社会などを概観します。また、適宜 DVD, ネット配信のスペインのテレビ番組等を教材として用い、スペイン語の音に慣れます。教養研究（一）で学習したこととともに、各自興味のあるテーマを見つけ、次年度の研究論文作成につなげます。</p>

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	[事前学習]2 時間 スペイン語で自己紹介ができ、簡単な質問に答えられるようにしておく。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 2 回	スペイン語を概観する（復習）	[事前学習]2 時間 スペイン語とはどのような言語か復習しておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 3 回	スペインの芸術：歴史的建造物	[事前学習]2 時間 テキストを読み、下調べをしておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 4 回	スペインの芸術：中世	[事前学習]2 時間 テキストを読み、下調べをしておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 5 回	スペインの芸術：ルネッサンス	[事前学習]2 時間 テキストを読み、下調べをしておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 6 回	スペインの芸術：バロック	[事前学習]2 時間 テキストを読み、下調べをしておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 7 回	スペインの美術：ゴヤ	[事前学習]2 時間 テキストを読み、下調べをしておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 8 回	スペインの美術：バラスケス	[事前学習]2 時間 テキストを読み、下調べをしておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 9 回	スペインの美術：前衛派の画家	[事前学習]2 時間 テキストを読み、下調べをしておくこと。 [事後学習]2 時間
第 10 回	スペインの文学：黄金世紀	[事前学習]2 時間 テキストを読み、下調べをしておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 11 回	スペインの文学：27 年世代	[事前学習]2 時間 テキストを読み、下調べをしておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 12 回	スペインの音楽と舞踊：フラメンコ	[事前学習]2 時間 テキストを読み、下調べをしておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 13 回	スペインの音楽と舞踊：サルスエラ	[事前学習]2 時間 テキストを読み、下調べをしておくこと。

		[事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 14 回	スペインの地方舞踊	[事前学習]2 時間 テキストを読み、下調べをしておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 15 回	プレゼンテーション	[[事前学習]2 時間 プレゼン用の資料を文尾しておくこと。 [事後学習]2 時間 他のゼミ生の発表についてコメントすること。
第 16 回	スペインの祭り	[事前学習]2 時間 テキストを読み、下調べをしておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 17 回	スペインのテレビ番組：始まり	[事前学習]2 時間 テキストを読み、下調べをしておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 18 回	スペインのテレビ番組：80 年代	[事前学習]2 時間 資テキストを読み、下調べをしておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 19 回	スペインのテレビ番組：90 年代以降	[事前学習]2 時間 テキストを読み、下調べをしておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 20 回	スペインの料理：アンダルシア	[事前学習]2 時間 テキストを読み、下調べをしておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 21 回	スペインの料理：カスティーリヤ	[事前学習]2 時間 テキストを読み、下調べをしておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 22 回	スペインの料理：ガリシア	[事前学習]2 時間 テキストを読み、下調べをしておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 23 回	スペインの料理：カタルーニャ	[事前学習]2 時間 テキストを読み、下調べをしておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 24 回	スペインの料理：その他の地域（プレゼンテーション）	事前学習]2 時間 プレゼンテーション用資料を作成する。 [事後学習]2 時間 他のゼミ生の発表についてコメントする。
第 25 回	プレゼンテーション(第 1 回)：次年度の研究論文作成に向け、興味のあるテーマを決めて発表する。	事前学習]2 時間 プレゼン用の資料を作成し、発表原稿を作ること。 [事後学習]2 時間 他のゼミ生の発表についてコメントする。
第 26 回	プレゼンテーション（第 1 回）：次年度の研究論文	事前学習]2 時間 プレゼン用の資料を作成し、発表原稿を作ること。

	作成に向け、興味のあるテーマを決めて発表する。	[事後学習]2 時間 他のゼミ生の発表についてコメントする。
第 27 回	プレゼンテーション（第 1 回）：次年度の研究論文作成に向け、興味のあるテーマを決めて発表する。	事前学習]2 時間 資料をよく読んでおくこと。 [事後学習]2 時間 他のゼミ生の発表についてコメントする。
第 28 回	プレゼンテーション（第 2 回）：第 1 回のプレゼンについてのコメントを踏まえ、2 度目のプレゼンを実施する。	事前学習]2 時間 資料をよく読んでおくこと。 [事後学習]2 時間 他のゼミ生の発表についてコメントする。
第 29 回	プレゼンテーション（第 2 回）：第 1 回のプレゼンについてのコメントを踏まえ、2 度目のプレゼンを実施する。	事前学習]2 時間 資料をよく読んでおくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 30 回	プレゼンテーション（第 2 回）：第 1 回のプレゼンについてのコメントを踏まえ、2 度目のプレゼンを実施する。	事前学習]2 時間 プレゼンテーション用資料を作成する。 [事後学習]2 時間 他のゼミ生の発表についてコメントする。

授業形式	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業形態は「③部分的対面型」とする。 ・質問等のフィードバックは授業内に行う。 ・アクティヴ・ラーニングを実施する。 	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	20%	0%	50%	30%	100%
評価の特記事項					
プレゼンテーション、レポートにおいて、無記名のネット記事は参考文献としては認められない。また、ネットの情報のみではなく、紙媒体（電子書籍含む）の文献を使用すること。					

テキスト
<ul style="list-style-type: none"> ・García Santos, J.F. (director) , Español ELElab Universidad de Salamanca: nivel A1-A2 ・配布資料
参考文献
授業時に提示する。
オフィスアワー
必要なときにはメールで連絡をとること。そのうえで日時を調整する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
<p>無断遅刻・欠席は厳禁とする。</p> <p>日本国内のみではなく、海外のニュースにも注意し、様々な情報を入手すること。</p>
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	24
担当教員	中嶋 康裕	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	月 4	単位区分	選
講義室	3123	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>生物学のさまざまな課題に触れ、それらを自分で調べて、そして考えて理解する。</p> <p>対応 DP 及び CP: 1,2,6,7,8</p>
授業概要（教育目的）
<p>それぞれが設定した課題に取り組んで、まとめた成果をクラスで発表できるようになる。</p>

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	今年度ゼミ運営方針などの説明	自己紹介・今年度の方針、行事予定の説明 〔事後学習〕 2 時間 本日の講義内容を復習する。
第 2 回	施設見学	見学会（サンシャイン水族館） 〔事前学習〕 2 時間 見学施設について予習する。 〔事後学習〕 2 時間 見学施設について復習する。
第 3 回	植物栽培	植物（野菜）栽培の説明 〔事前学習〕 2 時間 どんな植物を栽培するか予習する。 〔事後学習〕 2 時間 講義内容を踏まえて、栽培する植物について予習する。
第 4 回	植物栽培補足	実施が困難なゼミ生への指導 〔事前学習〕 2 時間 どんな植物を栽培するか予習する。 〔事後学習〕 2 時間 講義内容を踏まえて、栽培する植物について復習する。
第 5 回	輪読	輪読前期第 1 回 〔事前学習〕 2 時間 指定ページを読んで予習する。 〔事後学習〕 2 時間 紹介された内容を踏まえて、復習する。
第 6 回	施設見学の総括	見学した施設について話し合う 〔事後学習〕 2 時間 見学施設について復習する。
第 7 回	輪読	輪読前期第 2 回 〔事前学習〕 2 時間 指定ページを読んで予習する。 〔事後学習〕 2 時間 紹介された内容を踏まえて、復習する。
第 8 回	個人課題予告	個人課題について ppt ファイル 3 枚以内で予報的に紹介する 〔事前学習〕 2 時間 提案内容を予習する。 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生が紹介した内容を復習する。
第 9 回	植物栽培	植物中間報告 〔事前学習〕 2 時間 報告する内容を予習する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の報告を復習する
第 10 回	個人課題	前期個人課題発表（3 名程度） 〔事前学習〕 2 時間 報告する内容を予習する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の報告を復習する
第 11 回	輪読	輪読第 3 回 〔事前学習〕 2 時間 指定ページを読んで予習する。

		<p>〔事後学習〕 2 時間 紹介された内容を踏まえて、復習する。</p>
第 12 回	個人課題	<p>前期個人課題発表（3 名程度） 〔事前学習〕 2 時間 報告する内容を予習する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の報告を復習する</p>
第 13 回	個人課題	<p>前期個人課題発表（3 名程度） 〔事前学習〕 2 時間 報告する内容を予習する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の報告を復習する</p>
第 14 回	個人課題	<p>前期個人課題発表（3 名程度） 〔事前学習〕 2 時間 報告する内容を予習する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の報告を復習する</p>
第 15 回	植物栽培	<p>植物栽培結果報告 〔事前学習〕 2 時間 報告する内容を予習する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の報告を復習する</p>
第 16 回	後期予定	<p>後期のゼミ予定を紹介する 〔事後学習〕 2 時間、 本日の講義内容を復習する。</p>
第 17 回	輪読	<p>輪読後期第 1 回 〔事前学習〕 2 時間 指定ページを読んで予習する。 〔事後学習〕 2 時間 紹介された内容を踏まえて、復習する。</p>
第 18 回	人間観察	<p>普段の登下校時と異なる時刻に自宅近くの駅を観察して、人々の様子がどこか異なるか考察する 〔事前学習〕 2 時間 観察項目を予習する。 〔事後学習〕 2 時間 観察結果を、復習する。</p>
第 19 回	人間観察	<p>前回気づいた点に注意して、さらに観察して、なぜ異なるのか考察する 〔事前学習〕 2 時間 観察項目を予習する。 〔事後学習〕 2 時間 観察結果を、復習する。</p>
第 20 回	輪読	<p>輪読後期第 2 回 〔事前学習〕 2 時間 指定ページを読んで予習する。 〔事後学習〕 2 時間 紹介された内容を踏まえて、復習する。</p>
第 21 回	人間観察のまとめ	<p>駅で観察した結果を発表する 〔事前学習〕 2 時間 発表内容を予習する。 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の発表を復習する。</p>
第 22 回	就活報告会	<p>ゼミの先輩の報告を聞く</p>

		<p>〔事前学習〕 2 時間 就活状況について予習する。</p> <p>〔事後学習〕 2 時間 紹介された内容を踏まえて、復習する。</p>
第 23 回	個人課題予告	<p>前期と同じく、個人課題について ppt ファイル 3 枚以内で紹介する</p> <p>〔事前学習〕 2 時間 報告する内容を予習する</p> <p>〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の報告を復習する</p>
第 24 回	輪読	<p>輪読後期第 3 回</p> <p>〔事前学習〕 2 時間 指定ページを読んで予習する。</p> <p>〔事後学習〕 2 時間 紹介された内容を踏まえて、復習する。</p>
第 25 回	個人課題	<p>後期個人課題発表（3 名程度）</p> <p>〔事前学習〕 2 時間 報告する内容を予習する</p> <p>〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の報告を復習する</p>
第 26 回	個人課題	<p>後期個人課題発表（3 名程度）</p> <p>〔事前学習〕 2 時間 報告する内容を予習する</p> <p>〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の報告を復習する</p>
第 27 回	個人課題	<p>後期個人課題発表（3 名程度）</p> <p>〔事前学習〕 2 時間 報告する内容を予習する</p> <p>〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の報告を復習する</p>
第 28 回	個人課題	<p>後期個人課題発表（3 名程度）</p> <p>〔事前学習〕 2 時間 報告する内容を予習する</p> <p>〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の報告を復習する</p>
第 29 回	4 年生卒論発表	<p>ゼミ 4 年生の卒論発表を聞く</p> <p>〔事後学習〕 2 時間 4 年生の報告を復習する</p>
第 30 回	来年度に向けての総括	<p>今年度の問題点を検討する</p> <p>〔事前学習〕 2 時間 報告する内容を予習する</p> <p>〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の報告を復習する</p>

授業形式
オンラインで実施する。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%
評価の特記事項					
ゼミへの出席と、発表をそれぞれ 50%で評価する。					

テキスト
なし
参考文献
なし
オフィスアワー
今年度はリモート授業のためなし。随時メールなどで相談する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
コロナ禍でこのゼミ本来の授業を実施できないのが残念です。
授業用 URL
https://classroom.google.com/u/0/c/OTY0NDEzNjI0NjJa
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究（二）	クラス	
担当教員	中村 光宏	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (教養ゼミ)
曜日・時限	水 3	単位区分	選
講義室	3125	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>私たちが日常的に使用している「ことば」を言語学・音声学の観点から分析し、その構造を理解した上で、説明できるようになることを目標とします。また、新聞などで取り上げられる言語表現や、商品ネーミングなどを言語学的観点から分析し、「ことば」と現代社会との関係を考察できるようになることを目指します。このような学習活動を通して、言語学・音声学の考え方を理解し、「ことば」を通して現代社会（社会・経済的側面）を捉え、説明できるようになることを目指します。</p> <p>対応 DP 及び CP：1，2，6，7，8</p>
授業概要（教育目的）
<p>教養研究（一）の学習内容と研究内容に基づき、それらを更に発展させていきます。教養研究（二）においても、教養研究（一）と同様に、言葉によるコミュニケーション全般を対象として研究を進めますが、研究内容は受講者個人の研究課題を発展させられるように計画していきます。私たちの日常を注意深く観察し、「ことば」や「発音」に関する素朴な疑問や不思議な現象を、音声学と言語学の観点から考えます。研究活動を通して「日本語らしさ」と「英語らしさ」についての理解を深めることを目的としています。</p>

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクションと年間計画	年間計画を立てます。 【事前学習】2 時間：教養研究（一）で行った口頭発表の内容を説明できるように準備してくる。 【事後学習】2 時間：今後調査分析したい言語現象について、400 字以内でまとめておく。
第 2 回	日常生活の中の「ことば」①	言語表現や使用方法など、「ことば」について取り上げられている新聞記事を読み、担当者が口頭で説明した後、グループあるいはクラス全体で議論します。トピックとしては、例えば、ら抜き言葉、若者言葉、方言、カタカナ語、商品ネーミング、言語景観などがあります。 【事前学習】2 時間：配付資料を読み、疑問点をまとめておく。 【事後学習】2 時間：概要、論点をまとめ、次回の準備を行う。
第 3 回	日常生活の中の「ことば」② 年齢と性別	言語表現や使用方法など、「ことば」について取り上げられている新聞記事を読み、担当者が口頭で説明した後、グループあるいはクラス全体で議論します。 【事前学習】2 時間：配付資料を読み、疑問点をまとめておく。 【事後学習】2 時間：概要、論点をまとめ、次回の準備を行う。
第 4 回	日常生活の中の「ことば」③ 発話スタイル	言語表現や使用方法など、「ことば」について取り上げられている新聞記事を読み、担当者が口頭で説明した後、グループあるいはクラス全体で議論します。 【事前学習】2 時間：配付資料を読み、疑問点をまとめておく。 【事後学習】2 時間：概要、論点をまとめ、次回の準備を行う。
第 5 回	日常生活の中の「ことば」④ 音象徴	言語表現や使用方法など、「ことば」について取り上げられている新聞記事を読み、担当者が口頭で説明した後、グループあるいはクラス全体で議論します。 【事前学習】2 時間：配付資料を読み、疑問点をまとめておく。 【事後学習】2 時間：概要、論点をまとめ、次回の準備を行う。
第 6 回	日常生活の中の「ことば」⑤ 短縮語	言語表現や使用方法など、「ことば」について取り上げられている新聞記事を読み、担当者が口頭で説明した後、グループあるいはクラス全体で議論します。 【事前学習】2 時間：配付資料を読み、疑問点をまとめておく。 【事後学習】2 時間：概要、論点をまとめ、次回の準備を行う。
第 7 回	中間まとめ	これまで取り上げた話題について、言語現象そのものと、社会的位置づけ、問題点などを確認します。 【事前学習】2 時間：これまでの配付資料を読み、疑問点をまとめておく。 【事後学習】2 時間：概要、論点をまとめ、次回の準備を行う。
第 8 回	言語現象と社会経済的要因①	興味ある言語現象を選択し、実例・背景情報などを調査し、特に「社会経済的」視点から考察して、発表するための準備を行います。 【事前学習】2 時間：新聞データベースを使用し、興味ある言語現象に関

		<p>する記事を複数準備してくる。</p> <p>【事後学習】2 時間：選択した記事を詳しくまとめ、疑問点などを明らかにしておく。</p>
第 9 回	言語現象と社会経済的要因②	<p>興味ある言語現象を選択し、実例・背景情報などを調査し、特に「社会経済的」視点から考察して、発表するための準備を行います。</p> <p>【事前学習】2 時間：選択した言語現象を実例を挙げて説明できるようにしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間：言語現象の説明をパワーポイントにまとめる。</p>
第 10 回	言語現象と社会経済的要因③	<p>興味ある言語現象を選択し、実例・背景情報などを調査し、特に「社会経済的」視点から考察して、発表するための準備を行います。</p> <p>【事前学習】2 時間：選択した言語現象と現代社会との関係、背景情報、自分自身との関係などを検討して、説明できるようにしておく。</p> <p>【事後学習】2 時間：言語現象と社会との関係について、パワーポイントにまとめる。</p>
第 11 回	言語現象と社会経済的要因④	<p>興味ある言語現象を選択し、実例・背景情報などを調査し、特に「社会経済的」視点から考察して、発表するための準備を行います。</p> <p>【事前学習】2 時間：発表のパワーポイントの全体的構成を検討しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間：発表のパワーポイントを完成させる。</p>
第 12 回	前期研究発表会①	<p>資料を配付して、パワーポイントを使用した口頭発表を行います。</p> <p>【事前学習】2 時間：発表者は発表の準備やリハーサルを行い、発表者でないものは、事前に配付された資料を読んでおく。</p> <p>【事後学習】2 時間：発表者は、質疑応答を含めた上で、今回の発表を見直し、小レポートにまとめる準備を開始する。</p>
第 13 回	前期研究発表会②	<p>資料を配付して、パワーポイントを使用した口頭発表を行います。</p> <p>【事前学習】2 時間：発表者は発表の準備やリハーサルを行い、発表者でないものは、事前に配付された資料を読んでおく。</p> <p>【事後学習】2 時間：発表者は、質疑応答を含めた上で、今回の発表を見直しを行う。</p>
第 14 回	前期研究発表会③	<p>資料を配付して、パワーポイントを使用した口頭発表を行います。</p> <p>【事前学習】2 時間：発表者は発表の準備やリハーサルを行い、発表者でないものは、事前に配付された資料を読んでおく。</p> <p>【事後学習】2 時間：発表者は、質疑応答を含めた上で、今回の発表を見直し、小レポートにまとめる準備を開始する。</p>
第 15 回	前期のまとめ	<p>前期に学習した内容を確認すると共に、口頭発表の方法について、クラスで感想・意見・改善点等の検討を行います。</p> <p>【事前学習】2 時間：前期の学習内容を見直し、疑問点などを挙げておく。</p> <p>【事後学習】2 時間：口頭発表に基づく小レポートの作成を進め、完成させる。</p>
第 16 回	後期の計画	<p>前期に発表した内容を確認すると共に、後期の研究計画（学習計画）を立案します。</p>

		<p>【事前学習】2 時間：前期の学習内容を見直し、疑問点などを挙げておく。</p> <p>【事後学習】2 時間：文献リストの資料を準備する。</p>
第 1 7 回	調査分析プロジェクトの準備 ① 問いを立てる	<p>興味ある言語現象について、調査分析して口頭発表するための準備を行います。この授業では「問いを立てる」ことについて考えます。</p> <p>【事前学習】2 時間：文献リストの資料を読み、論点を明確にして、要約を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間：クラスでの説明と議論に基づいて、要約を修正する。</p>
第 1 8 回	調査分析プロジェクトの準備 ② 文献復習の方法 (1)	<p>興味ある言語現象について、調査分析して口頭発表するための準備を行います。この授業では「文献復習の目的」について考えます。</p> <p>【事前学習】2 時間：文献リストの資料を読み、論点を明確にして、要約を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間：クラスでの説明と議論に基づいて、要約を修正する。</p>
第 1 9 回	調査分析プロジェクトの準備 ③ 文献復習の方法(2)	<p>興味ある言語現象について、調査分析して口頭発表するための準備を行います。この授業では「文献復習の方法」について考えます。</p> <p>【事前学習】2 時間：文献リストの資料を読み、論点を明確にして、要約を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間：クラスでの説明と議論に基づいて、要約を修正する。</p>
第 2 0 回	調査分析プロジェクトの準備 ④ 立案した問いの再検討	<p>興味ある言語現象について、調査分析して口頭発表するための準備を行います。この授業では「立案した問い」を再検討します。</p> <p>【事前学習】2 時間：文献リストの資料を読み、論点を明確にして、要約を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間：クラスでの説明と議論に基づいて、要約を修正する。</p>
第 2 1 回	調査分析プロジェクトの準備 ⑤ 調査方法の検討 (1)	<p>興味ある言語現象について、調査分析して口頭発表するための準備を行います。各自の研究課題を進めるため、調査方法・資料収集方法を検討します。</p> <p>【事前学習】2 時間：文献リストの資料を読み、論点を明確にして、要約を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間：クラスでの説明と議論に基づいて、要約を修正する。</p>
第 2 2 回	調査分析プロジェクトの準備 ⑥ 調査方法の検討 (2)	<p>興味ある言語現象について、調査分析して口頭発表するための準備を行います。この授業では、データ提示方法について検討します。</p> <p>【事前学習】2 時間：文献リストの資料を読み、論点を明確にして、要約を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間：クラスでの説明と議論に基づいて、要約を修正する。</p>
第 2 3 回	中間まとめ	<p>これまで説明した調査分析方法に関する項目に基づいて、各自の研究対象と方法論を確認します。</p> <p>【事前学習】2 時間：これまでに作成した要約を見直しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間：必要に応じて要約を加筆・修正し、完成させる。</p>
第 2 4 回	調査分析プロジェクト① 全体的構成の検討	<p>興味ある言語現象を選択し、独自調査を加えて口頭発表する準備を行います。この授業では、全体的構成を決め、パワーポイントを作成します。</p> <p>【事前学習】2 時間：自身の要約に基づき、疑問点（明らかにしたいこと）</p>

		を（ある程度）明確にしておく。 【事後学習】2 時間：疑問点、言語現象、ポイントをパワーポイントまとめる。
第 2 5 回	調査分析プロジェクト② 独自調査の内容・結果の検討	興味ある言語現象を選択し、独自調査を加えて口頭発表する準備を行います。独自調査とその結果をパワーポイントに作成します。 【事前学習】2 時間：独自調査の準備を行う。 【事後学習】2 時間：独自調査した内容をパワーポイントにまとめる。
第 2 6 回	調査分析プロジェクト③ 発表スライド全体の調整と検討	興味ある言語現象をひとつ選択し、独自調査を加えて口頭発表する準備を行います。調査内容について全体的に確認します。 【事前学習】2 時間：文献調査と独自調査の内容全体をパワーポイントにまとめる。 【事後学習】2 時間：口頭発表のパワーポイントを完成させる。
第 2 7 回	後期研究発表会①	資料を配付して、パワーポイントを使用した口頭発表を行います。 【事前学習】2 時間：発表者は発表の準備やリハーサルを行い、発表者でないものは、事前に配付された資料を読んでおく。 【事後学習】2 時間：発表者は、質疑応答を含めた上で、今回の発表を見直し、小レポートにまとめる準備を開始する。
第 2 8 回	後期研究発表会②	資料を配付して、パワーポイントを使用した口頭発表を行います。 【事前学習】2 時間：発表者は発表の準備やリハーサルを行い、発表者でないものは、事前に配付された資料を読んでおく。 【事後学習】2 時間：発表者は、質疑応答を含めた上で、今回の発表を見直し、小レポートにまとめる準備を開始する。
第 2 9 回	後期研究発表会③	資料を配付して、パワーポイントを使用した口頭発表を行います。 【事前学習】2 時間：発表者は発表の準備やリハーサルを行い、発表者でないものは、事前に配付された資料を読んでおく。 【事後学習】2 時間：発表者は、質疑応答を含めた上で、今回の発表を見直し、小レポートにまとめる準備を開始する。
第 3 0 回	まとめ（総括）	年間のリサーチ活動を振り返ります。 【事前学習】2 時間：リサーチ活動(計画・実行・報告・執筆)を振り返り、気づいたことをまとめる。 【事後学習】2 時間：リサーチ活動に必要と思われる事柄を明らかにする。

授業形式	
授業では、言語分析の基礎となる方法論や、言語現象を講義形式で概説します。受講者の皆さんが自身の研究課題に取り組めるように、必要な知識を正確に身に付けることに重点をおいて進めます。そして、受講者個人あるいはグループで進める研究プロジェクトを考え、興味ある事柄について調査・分析を進めてもらいます。調査分析や結果報告は演習形式（口頭発表）で行います。調査結果を口頭発表で報告し、クラス全員で議論しながら理解を深めていく形式で授業を進めます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	30 %	0 %	40 %	30 %	100 %
評価の特記事項					
「その他」は、前期・後期それぞれにおいて行う口頭発表の完成度を評価します。					

テキスト
特定のテキストは使用しません。電子ジャーナルや書籍など授業資料のリストを配付します。
参考文献
授業中に随時紹介します。
オフィスアワー
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
私たちは毎日ことばを話し、毎日ことばを書いています。家族や友達と話すときのことばやメールに入力していることば、アナウンサーの発音、商品のネーミング、ニックネームなどを注意深く観察してみましょう。興味深い発見がたくさんあります。そのような発見を通して、コミュニケーションについての理解を深めていきたいと思います。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	25
担当教員	根村 直美	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	3073	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本ゼミナールでは、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 倫理学とは、「相互尊重」を追究する学問であることを理解し、その視座から倫理的な問題を捉えることができる。 2. 倫理学のその視座が「生物学的決定論」から離床することにより成り立つことを理解することができる。 3. 倫理学に関わる具体的問題について、どのように判断しどう行動していけば「相互尊重」の関係性を実現していくことができるのかを考察することができる。 4. 倫理学的知見を吸収しつつ自らの判断を形成すること、および、その判断を理性を用いて論証することの重要性を理解し、それらを実践できる。あわせて、他者の判断と論証に向き合うこと、そして、論争の解決を平和的な交渉により試みることの重要性を理解し、それらを実践できる。 <p>対応 D P 及び C P : 1, 2, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本ゼミナールでは、現代の倫理的な諸問題についてどのように考えどう行動していけば、「相互尊重」の関係性を実現していくことができるのかを考察していく。その考察においては、ある人たちが「抑圧」されてきた様子、あるいは、「抑圧」されている様子を探っていくとともに、そうした「抑圧」がない社会をつくっていく道筋を模索していくことになる。そして、相互に尊重しあえる関係とは、それぞれが自己肯定感を持てるような関係に他ならないことを確認していく。すなわち、これまで社会的に不利な立場に置かれてきた人たちが「抑圧」に苦しむことなく生きることができるように社会を変えていこうとすることは、実は、自身が「心地よく」生きることができる社会を構築しようとするに他ならないことを確認していく。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	はじめに	<p>本授業が、どのような問題を扱い、何をねらいとするのか把握する。また、どのように授業を進められるのかについて把握する。</p> <p>【事前学習】2 時間 教養研究（一）の研究成果について振り返り、前期に取り組むべき課題について考えておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 ガイダンスをふりかえりつつ、前期に取り組む研究課題を決定する。</p>
第 2 回	研究報告と討論	<p>決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 教養研究(一)での研究成果を踏まえつつ、各自の課題にしたがって本授業での研究に着手する。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、自身が研究をすすめるにあたって参考にすべき点を整理する。</p>
第 3 回	研究報告と討論	<p>決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。</p>
第 4 回	研究報告と討論	<p>決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。</p>
第 5 回	研究報告と討論	<p>決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。</p>
第 6 回	研究報告と討論	<p>決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。</p>
第 7 回	ここまでの報告の振り返りと補足	<p>これまでの報告で問題を指摘された点や質問があった点について振り返り、補足の報告を行う。</p>

		<p>【事前学習】2 時間 ゼミ内で指摘された問題や出された質問を整理し、補足説明を行えるように準備する。</p> <p>【事後学習】2 時間 ここまでのゼミ内での報告と討論を踏まえ、今後どのように研究をすすめるべきか検討する。</p>
第 8 回	ここまでの報告の振り返りと補足	<p>これまでの報告で問題を指摘された点や質問があった点について振り返り、補足の報告を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 ゼミ内で指摘された問題や出された質問を整理し、補足説明を行えるように準備する。</p> <p>【事後学習】2 時間 ここまでのゼミ内での報告と討論を踏まえ、今後どのように研究をすすめるべきかさらに検討する。</p>
第 9 回	研究報告と討論	<p>決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。</p>
第 10 回	研究報告と討論	<p>決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。</p>
第 11 回	研究報告と討論	<p>決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。</p>
第 12 回	研究報告と討論	<p>決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。</p>
第 13 回	研究報告と討論	<p>決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。</p> <p>【事後学習】2 時間</p>

		報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第 14 回	ここまでの報告の振り返りと補足	<p>これまでの報告で問題を指摘された点や質問があった点について振り返り、補足の報告を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>ゼミ内で指摘された問題や出された質問を整理し、補足説明を行えるように準備する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>ここまでのゼミ内での報告と討論を踏まえ、今後どのように研究をすすめるべきか検討する。</p>
第 15 回	ここまでの報告の振り返りと補足	<p>これまでの報告で問題を指摘された点や質問があった点について振り返り、補足の報告を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>ゼミ内で指摘された問題や出された質問を整理し、補足説明を行えるように準備する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>ここまでのゼミ内での報告と討論を踏まえ、今後どのように研究をすすめるべきかさらに検討する。</p>
第 16 回	前期授業内容と後期授業の進め方の確認	<p>後期の授業が、何をねらいとするのか把握する。また、どのように授業を進められるのかを把握する。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>前期の研究について振り返り、後期に取り組むべき課題について考えておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>前期の振り返りを踏まえつつ、後期どのように研究を進めるべきかを確認する。</p>
第 17 回	研究報告と討論	<p>決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。</p>
第 18 回	研究報告と討論	<p>決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。</p>
第 19 回	研究報告と討論	<p>決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。</p>
第 20 回	研究報告と討論	<p>決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。</p>

		<p>【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。</p>
第 21 回	研究報告と討論	<p>決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。</p>
第 22 回	ここまでの報告の振り返りと補足	<p>これまでの報告で問題を指摘された点や質問があった点について振り返り、補足の報告を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 ゼミ内で指摘された問題や出された質問を整理し、補足説明を行えるように準備する。</p> <p>【事後学習】2 時間 ここまでのゼミ内での報告と討論を踏まえ、今後どのように研究をすすめるべきか検討する。</p>
第 23 回	ここまでの報告の振り返りと補足	<p>これまでの報告で問題を指摘された点や質問があった点について振り返り、補足の報告を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 ゼミ内で指摘された問題や出された質問を整理し、補足説明を行えるように準備する。</p> <p>【事後学習】2 時間 ここまでのゼミ内での報告と討論を踏まえ、今後どのように研究をすすめるべきかさらに検討する。</p>
第 24 回	研究報告と討論	<p>決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。</p>
第 25 回	研究報告と討論	<p>決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。</p>
第 26 回	研究報告と討論	<p>決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。</p> <p>【事後学習】2 時間</p>

		報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第 27 回	研究報告と討論	<p>決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。</p>
第 28 回	研究報告と討論	<p>決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。</p>
第 29 回	ここまでの報告の振り返りと補足	<p>これまでの報告で問題を指摘された点や質問があった点について振り返り、補足の報告を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>ゼミ内で指摘された問題や出された質問を整理し、補足説明を行えるように準備する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>ここまでのゼミ内での報告と討論を踏まえ、研究論文の執筆のために、今後どのように研究をすすめるべきか検討する。</p>
第 30 回	ここまでの報告の振り返りと補足	<p>これまでの報告で問題を指摘された点や質問があった点について振り返り、補足の報告を行う。</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>ゼミ内で指摘された問題や出された質問を整理し、補足説明を行えるように準備する。</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>ここまでのゼミ内での報告と討論を踏まえ、研究論文の執筆のために、今後どのように研究をすすめるべきかさらに検討する。</p>

授業形式
<p>1. 授業形態は「②オンデマンド型」とする。</p> <p>2. レポートの提出とそのレポート内容へのフィードバックを適宜行う。</p> <p>3. 質問等はメールでも受け付ける。</p> <p>4. 各回の具体的な内容に関しては、初回授業時に詳細な説明を行う。また、進行状況によって変更・調整を行うものとする。</p>

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	60%	0	30%	10%	1
評価の特記事項					
レポートについては、本ゼミナール所属の要件（学習目標、および、ねらい）を満たすことが必要。「その他」はゼミ内での指摘を踏まえたレポート修正による加点および減点。					

テキスト
初回の授業において提示する。
参考文献
適宜、授業において提示する。
オフィスアワー
原則として、火曜日 12:20-12:50。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
<p>1. 独りよがりの自説を述べる場ではなく、倫理的知見に基づいて自説を述べる場であることを理解して履修してください。</p> <p>2. 倫理的知見を吸収することを通じ自分自身の考えを見つめ直そうとする姿勢をもって授業に臨んでください。また、異なる考えに向き合おうとする姿勢をもって授業に臨んでください。</p>
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	26
担当教員	バターフィールド ジェフリー	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	火 4	単位区分	選
講義室	3104	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<ol style="list-style-type: none"> Students will be able to understand and explain the connections between language, culture, and thinking. Students will be able to understand and explain how culture affects language and the role that language plays in societies. <p>対応 DP 及び CP: 1,2,6,7,8</p>
授業概要（教育目的）
<p>In this seminar students will learn about the connections between language, culture, and thinking. We will examine ways in which culture affects language and explore the idea that language is a cultural tool.</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	Course introduction	Discuss the course content, grading, and schedule. 事前学習 : 2 hours Preview the syllabus. 事後学習 : 2 hours Review the syllabus and content covered in class.
第 2 回	Designated weekly reading	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 3 回	Designated weekly reading	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 4 回	Designated weekly reading	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 5 回	Designated weekly reading	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 6 回	Designated weekly reading	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 7 回	Designated weekly reading	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 8 回	Designated weekly reading	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading.

		<p>事前学習 : 2 hours</p> <ul style="list-style-type: none"> -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 9 回	Designated weekly reading	<p>Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading.</p> <p>事前学習 : 2 hours</p> <ul style="list-style-type: none"> -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 10 回	Designated weekly reading	<p>Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading.</p> <p>事前学習 : 2 hours</p> <ul style="list-style-type: none"> -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 11 回	Designated weekly reading	<p>Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading.</p> <p>事前学習 : 2 hours</p> <ul style="list-style-type: none"> -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 12 回	Designated weekly reading	<p>Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading.</p> <p>事前学習 : 2 hours</p> <ul style="list-style-type: none"> -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 13 回	Designated weekly reading	<p>Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading.</p> <p>事前学習 : 2 hours</p> <ul style="list-style-type: none"> -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 14 回	Designated weekly reading	<p>Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading.</p> <p>事前学習 : 2 hours</p> <ul style="list-style-type: none"> -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 15 回	Designated weekly reading and course summary	<p>Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading.</p> <p>事前学習 : 2 hours</p> <ul style="list-style-type: none"> -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not

		understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 16 回	Designated weekly reading	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 17 回	Designated weekly reading	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 18 回	Designated weekly reading	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 19 回	Designated weekly reading	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 20 回	Designated weekly reading	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 21 回	Designated weekly reading	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 22 回	Designated weekly reading	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 23 回	Designated weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated

	reading	<p>weekly reading.</p> <p>事前学習 : 2 hours</p> <ul style="list-style-type: none"> -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 24 回	Designated weekly reading	<p>Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading.</p> <p>事前学習 : 2 hours</p> <ul style="list-style-type: none"> -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 25 回	Designated weekly reading	<p>Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading.</p> <p>事前学習 : 2 hours</p> <ul style="list-style-type: none"> -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 26 回	Designated weekly reading	<p>Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading.</p> <p>事前学習 : 2 hours</p> <ul style="list-style-type: none"> -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 27 回	Designated weekly reading	<p>Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading.</p> <p>事前学習 : 2 hours</p> <ul style="list-style-type: none"> -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 28 回	Designated weekly reading	<p>Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading.</p> <p>事前学習 : 2 hours</p> <ul style="list-style-type: none"> -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 29 回	Designated weekly reading	<p>Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading.</p> <p>事前学習 : 2 hours</p> <ul style="list-style-type: none"> -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 30 回	Designated weekly reading and course summary	<p>Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading.</p> <p>事前学習 : 2 hours</p> <ul style="list-style-type: none"> -Read the designated weekly reading.

		-Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may have.
--	--	---

授業形式
<ul style="list-style-type: none"> ・授業形態は同時双方向型とする。 ・質問等は EcoLink、Gmail からまたは授業中に受け付ける。 ・内容理解を確認するための Presentation をしてもらう。Presentation に関するフィードバックは原則として授業中に行う。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	20%	80%	100%
評価の特記事項					
Active participation is required.					

テキスト
Language: The Cultural Tool by Daniel Everett (9781846682681)
参考文献
特になし
オフィスアワー
メールでアポをとること。なお、メールアドレスは授業時に表示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
You are required to read the designated weekly reading and prepare any questions about the reading that you may have.
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	28
担当教員	平木 貴子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	水 3	単位区分	選
講義室	3112	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本授業では、以下の能力を身につけることを目標とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツ心理学の専門用語や理論の意味を理解し、説明できる 2. 自身の体験や観察をもとに様々な疑問・問題・課題をスポーツ心理学的視点からとらえることで、スポーツ・運動・身体活動場面における現象を理解できる 3. 自身の体験や観察をもとに課題を設定し、課題への理解を深めるための方法論を知り、説明できる 4. スポーツ・運動・身体活動場面における現象から研究課題を設定し、課題解決に向けて協働できる 5. 自身の研究について論理的に説明できる <p>対応 DP および CP : 1, 2, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>「スポーツ」「身体活動」を手がかりにこころの動き、こころと身体の関連について考えていきます。自身の体験から関心のあるテーマをみつけ、文献抄読、調査や実験、事例検討をしていきます。ゼミナールでの活動を通して、自ら課題を見出し、主体的に課題に取り組んでいく姿勢を学んでほしいと思っています。</p>

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の内容・進め方・評価方法・受講のルール等を説明する 【事前学習】2 時間 Google Classroom への登録および連絡事項・資料を熟読の上、授業に参加すること 【事後学習】2 時間 取り組む研究課題の準備をすること
第 2 回	グループ研究① 研究テーマの確認	グループメンバー・研究テーマ・課題の確認 【事前学習】2 時間 春休みまでに取り組んでいた研究の進捗状況をグループメンバーとう共有できるように準備すること 【事後学習】2 時間 研究を実施する上での課題を洗い出すこと
第 3 回	グループ研究② 研究テーマの発表	先行研究レビューおよびリサーチクエッション（以下 RQ）の報告① 報告に対するフィードバック（以下 FB）① 【事前学習】2 時間 先行研究をまとめ、リサーチクエッションを設定すること 発表資料にまとめ、提出すること 【事後学習】2 時間 FB をもとにグループ研究を遂行する上での課題をグループ内で検討し、役割分担を明確化すること
第 4 回	グループ研究③ 先行研究の収集	先行研究の収集および RQ の精査 【事前学習】2 時間 研究テーマに沿って、関連研究に関する文献を収集すること 【事後学習】2 時間 収集した文献を読み、要点をまとめておくこと
第 5 回	グループ研究④ 先行研究のまとめと RQ の設定	先行研究の共有と RQ の改善 【事前学習】2 時間 先行研究の内容を精査し、RQ を立てておくこと 【事後学習】2 時間 グループメンバーが収集した文献についても理解を深めておくこと 必要な文献を追加し、先行研究をレビューすること
第 6 回	グループ研究⑤ 先行研究のレビューと RQ の発表	先行研究レビューおよび RQ の報告② 報告に対する FB② 【事前学習】2 時間 追加された先行研究も踏まえレビューを修正し、RQ を精査すること 発表資料にまとめ、提出すること 【事後学習】2 時間 FB をもとに先行研究の追加およびグループ研究を遂行する上での課題をグループ内で検討し、役割分担を明確化する
第 7 回	グループ研究⑥ 研究目的の検討	研究目的の設定を行う 【事前学習】2 時間 発表時のコメントをもとに必要な情報収集・再検討を行い、RQ に基づく研究目的を設定しておくこと 【事後学習】2 時間 前回からの変更点や議論を踏まえ、研究目的を修正すること
第 8 回	グループ研究⑦ 研究目的の発表①	研究目的の報告 報告に対する FB③ 【事前学習】2 時間 追加された情報や議論も踏まえレビューを修正し、研究目的を具体的にす

		ること 発表資料にまとめ、提出すること 【事後学習】2 時間 FB をもとに先行研究の追加およびグループ研究を遂行する上での課題をグループ内で検討し、役割分担を明確化する
第 9 回	グループ研究⑧ 先行研究のレビュー・RQ・研究目的の改善①	先行研究のレビュー・RQ・研究目的を修正する 【事前学習】2 時間 発表時のコメントをもとに必要な情報収集・再検討を行い、先行研究のレビューの充実、RQ に基づく研究目的を明確化しておくこと 【事後学習】2 時間 前回からの変更点や議論を踏まえ、研究目的を再修正すること
第 10 回	グループ研究⑨ 研究目的の発表②	研究目的の報告 報告に対する FB④ 【事前学習】2 時間 議論を踏まえて修正した研究目的を発表資料にまとめ、提出すること 【事後学習】2 時間 FB をもとに先行研究の追加およびグループ研究を遂行する上での課題をグループ内で検討し、役割分担を明確化すること
第 11 回	グループ研究⑩ 先行研究のレビュー・RQ・研究目的の改善②	先行研究のレビュー・RQ・研究目的を修正する 【事前学習】2 時間 発表時のコメントをもとに必要な情報収集・再検討を行い、先行研究のレビューの充実、RQ に基づく研究目的を明確化しておくこと 【事後学習】2 時間 前回からの変更点や議論を踏まえ、研究目的を再修正すること
第 12 回	グループ研究⑪ 研究方法の検討①	研究目的に沿って研究方法を検討する 【事前学習】2 時間 研究方法について自分の考えをまとめ、説明できるようにすること 【事後学習】2 時間 議論を踏まえ、研究方法を具体的にすること
第 13 回	グループ研究⑫ 研究方法の発表	研究目的に基づく研究方法を報告する 報告に対する FB⑤ 【事前学習】2 時間 議論をもとに設定した研究方法を発表資料にまとめ、提出すること 【事後学習】2 時間 FB をもとにグループ研究を遂行する上での課題をグループ内で検討し、役割分担を明確化すること
第 14 回	グループ研究⑬ 研究方法の検討②	発表時のコメントをもとに研究方法を修正する 【事前学習】2 時間 研究方法の問題点を修正し、説明できるようにしておくこと 【事後学習】2 時間 議論を踏まえ、研究方法を再設定すること 発表資料作成に必要な情報を整理しておくこと
第 15 回	グループ発表⑭ 発表資料の検討・前期の振り返り	前期の成果を発表スライドにまとめ、より良い発表に向けた意見交換を行う 前期のまとめを行う。 【事前学習】2 時間 所定の時間内にグループメンバーと情報共有できるように発表資料のアウトラインを作成しておくこと 【事後学習】2 時間 意見交換を踏まえて、発表資料を修正し、提出する 所定の期日までに他者の発表についてコメントする
第 16 回	後期授業に関するガイダンス	後期の流れ・課題について説明する 【事前学習】2 時間

		<p>前期の成果発表時に指摘された点を確認・整理しておく</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>授業内で話し合った課題について修正し、研究方法を精査する</p>
第 17 回	グループ研究⑮ 研究方法の検討③	<p>発表時のコメントをもとに研究方法を修正する</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>コメントをもとに研究方法の問題点を修正し、説明できるようにしておくこと</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>議論を踏まえ、研究方法を再設定すること</p>
第 18 回	グループ研究⑯ データ収集の準備	<p>データ収集に必要な資料や用具・機材の最終確認を行う</p> <p>予備調査・予備実験を行う</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>実験・調査に必要な用具・機材・資料を作成・準備すること</p> <p>研究協力者への連絡や説明に必要な資料を作成しておくこと</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>議論をもとにデータ収集準備を完了させること</p>
第 19 回	グループ研究⑰ データ収集①	<p>データの収集を行う</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>研究協力者への連絡や説明を徹底すること</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>グループ内でデータ入力フォーマットを共有しておくこと</p> <p>得たデータは随時入力すること</p>
第 20 回	グループ研究⑱ データ収集②・データ集計	<p>データの収集を行う</p> <p>収集したデータを集計する</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>収集したデータを入力しておくこと</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>授業内で共有したデータに基づいて、基礎データの集計すること</p>
第 21 回	グループ研究⑲ データ分析	<p>データの分析を行う</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>データ分析方法を調べ、分からない点をメンバーと検討できるように整理しておくこと</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>データの分析を完了させておくこと</p>
第 22 回	グループ研究⑳ 研究結果・考察の検討①	<p>分析結果をグループメンバーと共有し、結果の考察を行う</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>分析結果を説明できるようにすること</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>議論をもとに分析結果からどのような結果が得られたのかをまとめておくこと</p>
第 23 回	グループ研究㉑ 研究結果・考察の検討②	<p>分析結果をグループメンバーと共有し、結果の考察を行う</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>分析の結果からどのようなことを考えられるのかを整理しておくこと</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>データの分析結果を表やグラフにすること</p>
第 24 回	グループ研究㉒ 研究成果報告	<p>グループ研究の成果を報告する</p> <p>報告に対する FB を行う⑥</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>研究成果を発表資料にまとめ、提出すること</p> <p>【事後学習】2 時間</p> <p>コメントを踏まえ、発表資料を修正し提出すること</p>
第 25 回	個人研究① テーマ設定	<p>研究テーマ・課題の確認</p> <p>【事前学習】2 時間</p> <p>個人研究のテーマ・研究課題を決めておくこと</p>

		【事後学習】2 時間 文献収集を行う際のキーワードを考えること
第 26 回	個人研究② 先行研究の収集	先行研究の収集および文献抄読 【事前学習】2 時間 研究テーマに沿って、関連研究に関する文献を収集すること 【事後学習】2 時間 収集した文献を読み、要点をまとめておくこと
第 27 回	個人研究③ 先行研究のレビューおよび RQ・研究目的の設定	先行研究のレビューから RQ と研究目的を設定する 【事前学習】2 時間 先行研究から RQ を立てておくこと 【事後学習】2 時間 文献収集を継続し、RQ と研究目的を精査させておくこと
第 28 回	個人研究④ 先行研究、RQ および研究目的のまとめ	先行研究のレビューに基づいて RQ および研究目的を説明する 【事前学習】2 時間 研究目的に至る研究背景（先行研究のレビューと RQ）を論理的に説明できるようにしておく 【事後学習】2 時間 発表資料にまとめて提出する
第 29 回	個人研究⑤ 発表	個人研究の研究目的およびその背景をまとめ発表する 【事前学習】2 時間 個人研究の研究目的およびその背景を発表資料にまとめる 【事後学習】2 時間 発表時に得た指摘を参考に研究背景および研究目的を修正し、レポートにまとめて提出する
第 30 回	後期の振り返り	授業全体のまとめを行う 【事前学習】2 時間 本講義を通して学んだことをまとめておく 【事後学習】2 時間 授業での学びについて自己評価を行う

授業形式	
<p>・授業形態は、①オンデマンド型、②部分対面もしくは Zoom でのリアルタイム型の①②ハイブリット型授業を行う。大部分は②で実施する。</p> <p>・Google Classroom を主に利用するため、必ず登録すること</p> <p>・質問等は授業内で受け付ける（Gmail から受付け可能）</p> <p>・学生参加型授業を実施する</p>	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	45%	25%	100%
評価の特記事項					
<ul style="list-style-type: none"> ・初回授業時に詳細は示します ・配布資料がある場合は必ず自分でダウンロード・アクセスしてください ・課題提出は徹底してください ・学生参加型授業であるため積極的に議論・意見・行動すること 					

テキスト
<p>特になし</p> <p>※ 必要に応じて資料を Google Classroom にアップロードするので、各自連絡事項を確認の上、ダウンロードしてください</p>
参考文献
必要に応じて紹介します
オフィスアワー
<p>質問は原則、メール（平木：ecta80135@g.nihon-u.ac.jp）で対応します（必要に応じて、Google Meet や Zoom などのツールを使用することもあります）</p> <p>※ 担当教員にメールを送る時は、件名に「教養研究（二）（受講曜日・時限）、学生番号、氏名」を明記すること</p>
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
<p>※ 注意事項や指示がある場合は Google Classroom で連絡します。</p> <p>必ず確認するようにしてください。</p>
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	29
担当教員	松岡 勝男	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	金 5	単位区分	選
講義室	3131	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>『教養研究（一）』, 『教養研究（二）』, 『卒業論文』においては, 現在では純粋数学の一分野にとどまることなく, コンピュータサイエンス, OR, 化学, 生物学, 経済学, 社会学など, いろいろな分野において広く応用されている, 19 世紀から活発に研究されてきたグラフ理論を扱う。まず, 日常における“空間”の概念を数学的に定義（表現）し, 実数の性質とともに実数全体の集合（1 次元ユークリッド空間）のさまざまな数学的構造について考え, さらに n 次元ユークリッド空間 について学ぶ。続いて, グラフ理論についての多くの基礎的な概念を学ぶとともに, グラフ理論の応用の各論であるグラフの彩色, グラフアルゴリズムなどについて考える。これらの学習を通じて, 例えば, 都市間の通信網の建設費などの“最小費用の問題”について, さらに論文を読んで考察するなど, 経済学における最適化問題などに取り組む能力を養うことを目標とする。</p> <p>対応 DP 及び CP : 1, 2, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>この『教養研究（二）』においては, グラフ理論の専門的な学修に向けての基礎を身につける。。そのために, 講義の前期では, グラフの一般的な基本的概念, 性質を中心に, また後期では, 個々の特別なタイプのグラフの基本的性質と付随する問題について学ぶ。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	グラフの基本的概念 (1)	<p>グラフとは何か, について輪講する。</p> <p>【事前学習】 8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】 3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノートを作成させる。</p>
第 2 回	グラフの基本的概念 (2)	<p>グラフから導かれるグラフ, について輪講する。</p> <p>【事前学習】 8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】 3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノートを作成させる。</p>
第 3 回	道と閉路 (1)	<p>道とは何か, について輪講する。</p> <p>【事前学習】 8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】 3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノートを作成させる。</p>
第 4 回	道と閉路 (2)	<p>グラフの表し方 (隣接行列), について輪講する。</p> <p>【事前学習】 8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】 3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノートを作成させる。</p>
第 5 回	道と閉路 (3)	<p>グラフの表し方 (接続行列, 次数行列), について輪講する。</p> <p>【事前学習】 8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】 3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノートを作成させる。</p>
第 6 回	連結グラフ (1)	<p>連結とは何か, について輪講する。</p> <p>【事前学習】 8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】 3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノートを作成させる。</p>
第 7 回	連結グラフ (2)	<p>距離, について輪講する。</p> <p>【事前学習】 8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】 3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノートを作成させる。</p>
第 8 回	連結グラフ (3)	<p>連結であるための必要条件, について輪講する。</p> <p>【事前学習】 8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】 3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノートを作成させる。</p>
第 9 回	連結グラフ (4)	<p>連結であるための十分条件, について輪講する。</p>

		<p>【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを完成させる。</p>
第 10 回	連結度 (1)	<p>つながりが弱い箇所, について輪講する。</p> <p>【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを完成させる。</p>
第 11 回	連結度 (2)	<p>連結の度合い (連結度、辺連結度), について輪講する。</p> <p>【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを完成させる。</p>
第 12 回	連結度 (3)	<p>連結の度合い (Whitney の定理), について輪講する。</p> <p>【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを完成させる。</p>
第 13 回	連結度 (4)	<p>2 頂点間の道の本数, について輪講する。</p> <p>【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを完成させる。</p>
第 14 回	グラフ上の演算	<p>基本演算, について輪講する。</p> <p>【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを完成させる。</p>
第 15 回	グラフ上の演算	<p>合成と代入, について輪講する。</p> <p>【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを完成させる。</p>
第 16 回	Euler グラフ (1)	<p>Euler の定理, について輪講する。</p> <p>【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを完成させる。</p>
第 17 回	Euler グラフ (2)	<p>n 筆書き, について輪講する。</p> <p>【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを完成させる。</p>

		を完成させる。
第 18 回	Euler グラフ (3)	<p>交差しない Euler 道, について輪講する。</p> <p>【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノートを作成させる。</p>
第 19 回	Hamilton グラフ (1)	<p>Hamilton グラフと Ore の定理, について輪講する。</p> <p>【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノートを作成させる。</p>
第 20 回	Hamilton グラフ (2)	<p>Hamilton 閉路とグラフの閉包, について輪講する。</p> <p>【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノートを作成させる。</p>
第 21 回	Hamilton グラフ (3)	<p>因子分解, について輪講する。</p> <p>【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノートを作成させる。</p>
第 22 回	2 部グラフ (1)	<p>サイクル長による特徴付け, について輪講する。</p> <p>【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノートを作成させる。</p>
第 23 回	2 部グラフ (2)	<p>マッチング, について輪講する。</p> <p>【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノートを作成させる。</p>
第 24 回	2 部グラフ (3)	<p>結婚定理, について輪講する。</p> <p>【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノートを作成させる。</p>
第 25 回	平面グラフ (1)	<p>平面グラフと平面的グラフ, について輪講する。</p> <p>【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。</p> <p>【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノートを作成させる。</p>
第 26 回	平面グラフ (2)	<p>Euler の多面体定理, について輪講する。</p> <p>【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。</p>

		<p>【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを作成させる。</p>
第 27 回	平面グラフ (3)	<p>平面的グラフの特徴付け, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを作成させる。</p>
第 28 回	平面グラフ (4)	<p>双対グラフ, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを作成させる。</p>
第 29 回	木 (1)	<p>自由木, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを作成させる。</p>
第 30 回	木 (2)	<p>根付き木, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを作成させる。</p>

授業形式	
<p>○ 授業形態は「① 同時双方向型」とする。</p> <p>○ 授業は輪講形式で行う。</p> <p>○ 質問などは授業中及び授業後に EcoLink または Gmail で受け付ける。また、質問などのフィードバックは原則として授業日中に行う。</p>	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	40%	0%	50%	10%	100%
評価の特記事項					
出席状況，受講態度，輪講発表状況及びレポート状況で総合評価する。ただし，授業に 3 分の 2 以上出席していなければ，出席状況は 0 とする。					

テキスト
守屋悦朗 著，情報系のための数学＝4『ヴィジュアルでやさしい グラフへの入門』，サイエンス社，2016 年，2,200 円（税抜）.
参考文献
講義の最初に説明する。
オフィスアワー
毎週金曜日 17:55 ～ 18:25 に Google Meet で対応します。事前に EcoLink または Gmail で申し出ること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
<input type="radio"/> 『基礎数理』，『経済数学Ⅰ』を修得していること，あるいは『基礎数理』，『経済数学Ⅰ』と同等の知識を有していることが必要である。 <input type="radio"/> 積極的に輪講中に発言をすることを望む。 <input type="radio"/> 30 分以上の遅刻は認めない。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	30
担当教員	村岡 哲郎	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	月 3	単位区分	選
講義室	3123	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日常的に使用する認知心理学用語の意味を理解し、説明できる。 2. 私たちの身近にあるさまざまな問題を認知心理学的な視点から捉えることで、新聞や ニュースなどの緒問題を正しく理解できる。 3. 認知心理学的な考え方を理解し、認知心理学とはどのような学問なのかを説明できる。 <p>対応 DP 及び CP:1, 2, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本講義では、認知心理学の基礎的な学修として、私たちの身近な問題に関連した実験を通して日常的に使用する認知心理学用語について解説し、認知心理学的な視点から実験結果を分析します。これによって、認知心理学とはどのような学問なのかを理解してもらい、認知心理学の基礎的知識を身につけてもらいます。</p>

授業計画 (30 週)

[illegible]

		【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 12 回	実験の実践	選択した研究課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 13 回	実験の実践	選択した研究課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 14 回	報告と討論の実践	選択した研究課題について各自報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 15 回	報告と討論の実践	研究課題について各自報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 16 回	研究課題の選定	研究課題候補についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題候補に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題候補について問題点を整理する。
第 17 回	研究課題の選定	研究課題候補についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題候補に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題候補について問題点を整理する。
第 18 回	研究課題の選定	研究課題候補についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題候補に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題候補について問題点を整理する。
第 19 回	研究課題の選定	研究課題候補についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題候補に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題候補について問題点を整理する。
第 20 回	実験の実践	選択した研究課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 21 回	実験の実践	選択した研究課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 22 回	実験の実践	選択した研究課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 23 回	実験の実践	選択した研究課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題に関する先行研究について調べておく。

		【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 24 回	実験の実践	選択した研究課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 25 回	実験の実践	選択した研究課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 26 回	実験の実践	選択した研究課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 27 回	実験の実践	選択した研究課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 28 回	実験の実践	選択した研究課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 29 回	報告と討論の実践	研究課題について各自報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 30 回	報告と討論の実践	研究課題について各自報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。

授業形式	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業形態は「部分対面型」とする。 ・質問等のフィードバックは，講義内で行う。 ・質問等は Gmail から受け付ける。 	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%
評価の特記事項					
研究発表は必ずおこなうこと。					

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
月曜日 12:10~12:55。事前に授業後またはメールでアポをとること。なお、メールアドレスは、授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
遅刻，私語など他の学生の迷惑がかかる行為は厳禁とする。十分な予習・復習に努めること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	31
担当教員	安田 静	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	月 4	単位区分	選
講義室	7064	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本ゼミナールでは、フランスの文化・芸術・社会に関するひと、もの、ことを研究対象として、自ら「問題をたてる」ことができるようになる、というのが最も重要な到達目標となります。</p> <p>すなわち、教員から与えられた課題について考察する、という受動的な姿勢ではなく、最も興味・関心を持つ対象について、「何が問題なのか」「何を問題とすべきなのか」を見つけて、それらについて深く考察し、その結論を論理的に筋道の通った研究論文の形でまとめることが最終目標です。</p> <p>対応 DP 及び CP: 1, 2, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>本ゼミナールでは、フランスの文化・芸術に触れ、同時にフランスにおける様々な問題についても理解を深めてゆくことが大切な目的の一つです。そのために、座学の上に留まらず、劇場、美術館などに実際に出かけて、フィールドワークを通してより立体的な知見を獲得していただきます。</p> <p>しかしながら、ゼミナール初年度の教養研究（一）ではまず何よりも先に、アカデミック・ライティングに必要な基本的スキルをしっかりと身につけていただくことが大切です。一年生の「自主創造の基礎」ゼミで扱ったレポートの作成方法や引用の仕方などはもちろん、学術的な論文の探し方をはじめ、数限りなく存在する書物や論文の中から信頼に足る価値あるものを選び、それを正しく引用して、より良い論文を執筆するためのスキルを身につけてゆきましょう。</p>

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	本ゼミナールの内容、ゼミナールの形式や評価方法などについて説明します。 また、ゼミ入室前の春休み課題レポートに簡単な講評を加えます。 【事前学習】6-8 時間 春休み中に課題をしっかりと進めておいてください。 【事後学習】2 時間 授業時の講評を参考にして、より良い内容となるようレポートをリライトしてみましょう。 また、次回以降の授業で使う『論理的に書き、プレゼンする技術』を購入しておくこと。
第 2 回	春休み課題の講評とリライト	春休み課題についての講評をさらに詳細に行い、文体や形式について問題点を明らかにします。 【事前学習】2 時間 できるところまで、春休み課題をリライトしておきましょう。 【事後学習】2 時間 詳細説明に基づいて、よりアカデミックな表現になるよう、再校しましょう。
第 3 回	『論理的に書き、プレゼンする技術』輪読 第 1 章および第 2 章：「まず書くことを決めよう」	入室試験の時点で、ゼミの 3 年間を通じて追求すべき課題がすでに大まかに決まっている方は、まだトピックが決まらない方とディスカッションを進めて、できるだけ早く全員の課題をそれぞれ決定しましょう。 【事前学習】2 時間 課題図書をよく読み、トピックを選んでテーマを設定しましょう。 【事後学習】2 時間 テーマがある程度決まったら、トピックを探しましょう。
第 4 回	『論理的に書き、プレゼンする技術』輪読 第 3 章：「資料・情報を集めよう」	第 3 章の内容について報告していただきます。 さらに、参考文献の集め方について実習します。 【事前学習】2 時間 報告すべき箇所を読み、簡潔にまとめておきましょう。 【事後学習】2 時間 報告後修正された点やアドバイスを受けた点を踏まえて、検索・検討作業を続けましょう。
第 5 回	グループワークの実践 第 4 回内容に基づくグループワーク（第 1 回）	実際に集めた資料・情報をそれぞれのテーマに基づいて発表します。 【事前学習】2 時間 自分の研究テーマに沿った資料を収集します 【事後学習】2 時間 収集した資料のどれが研究論文の引用文献として適切で、どれが不適切なのか、問題点を整理しておきましょう。
第 6 回	グループワークの実践 第 4 回内容に基づくグループワーク（第 2 回）	集めた資料について、より詳しく吟味します。 【事前学習】2 時間 学部附属図書館だけではなく、他学部の蔵書も活用しましょう。 【事後学習】2 時間 選び出した書籍や論文の読解に取りかかりましょう。
第 7 回	『論理的に書き、プレゼンする技術』輪読 第 4 章：「論理的なレポートを書こう」	文献内容を報告し、レポート・論文にふさわしい文体について学びましょう。また、実際に各自のテーマに沿った「あらすじ」を組み立てるとともに、選択した参考文献から、必要と思われる箇所を抜き書きしてみましょう。 【事前学習】2 時間 内容をまとめておきましょう。 【事後学習】2 時間 自分や他の人の報告内容への指摘を踏まえ、重要な点をまとめておきましょう。
第 8 回	グループワークの実践	授業での指摘を参考にして、取り上げるべき問題点を明らかにし、最初は

	第 7 回内容に基づくグループワーク	<p>箇条書きで良いので、トピックをどんどん書き出してみましょう。ここで最も重要なのは、第 4 章－5「資料で見つけた事柄と自分の意見を明確に区別して書こう」という点です。</p> <p>【事前学習】2 時間 トピックを書き出しておきましょう</p> <p>【事後学習】2 時間 トピックの報告後、教員および他のゼミ生から指摘された点を踏まえ、練り直しておきましょう。</p>
第 9 回	報告と討論の実践 各人のテーマについて報告し、討論する。	<p>テーマが決まったら、問題点を明らかにし、トピックをたててゆきましょう。また、レポート全体の構成についても考えてみましょう。</p> <p>【事前学習】2 時間 テーマ報告のための準備を整えましょう。</p> <p>【事後学習】2 時間 報告後の指摘を踏まえて、内容をもう一度吟味し、修正しましょう。</p>
第 10 回	『論理的に書き、プレゼンする技術』輪読 第 5 章：「プレゼンテーションをしよう」	<p>左記の図書を参考にして文献内容に基づいて自分の考察をまとめ、報告してください。</p> <p>【事前学習】2 時間 報告すべき箇所を読み、レポートにまとめておきましょう。</p> <p>【事後学習】2 時間 指摘を受けた点を参照し、もう一度レポートをブラッシュアップしましょう。</p>
第 11 回	プレゼンテーションのための準備講座	<p>第 5 章の内容を基盤として、より良いプレゼンテーションのあり方について学びます。</p> <p>【事前学習】2 時間 各自のテーマに沿ったプレゼンテーションのあらすじを準備しましょう。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業での指示内容を参考にして、プレゼンテーションを整えましょう。</p>
第 12 回	プレゼンテーションと講評	<p>各自のテーマに沿ったプレゼンテーションを行い、教員の講評及びゼミ生全員からの「評価シート」を受け取りましょう。</p> <p>【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備します。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業での指示事項をもとに、プレゼンテーションを練り直しましょう。</p>
第 13 回	改訂版プレゼンテーションの発表及び レポート作成に関する質問受付とその対応	<p>前回の内容を踏まえ、改訂版を発表していただきます。</p> <p>【事前学習】2 時間 プレゼンテーションのブラッシュアップを行ってください。</p> <p>【事後学習】3 時間 プレゼンテーションを基盤にして、レポートを作成しましょう。</p>
第 14 回	レポート提出と読み合わせ	<p>作成したレポートを共有設定のドライブにアップロードし、全員の協働で添削作業をしてゆきましょう。</p> <p>【事前学習】2 時間 レポートを改訂しておきましょう。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内での指示事項をもとに、さらにリライトしておきましょう。</p>
第 15 回	レポート講評	<p>夏休み前の最終授業となります。リライト後のレポートへ、講評を加えます。</p> <p>【事前学習】2 時間 レポートの改訂作業</p> <p>【事後学習】2 時間 講評後の見直し</p>
第 16 回	後期授業のイントロダクション	<p>後期授業の課題及び計画について説明・検討します。</p> <p>【事前学習】2 時間 講評に基づき、休み前のプレゼン及びレポートのリライトを進めておきましょう。</p> <p>【事後学習】2 時間</p>

		後期授業での研究計画に沿って準備を進めます。
第 17 回	報告と討論の実践：発表者 A, B, C 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 18 回	報告と討論の実践：発表者 D, E, F 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 19 回	報告と討論の実践：発表者 G, H, I 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 20 回	報告と討論の実践：発表者 A, B, C 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 21 回	報告と討論の実践：発表者 D, E, F 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 22 回	報告と討論の実践：発表者 G, H, I 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 23 回	報告と討論の実践：発表者 A, B, C 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 24 回	報告と討論の実践：発表者 D, E, F 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 25 回	報告と討論の実践：発表者 G, H, I 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 26 回	全体への講評	全体への講評を行いますので、プレゼンテーションの準備をしましょう。 【事前学習】2 時間 各自の研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 27 回	プレゼンテーションと講評	各自のテーマに沿ったプレゼンテーションを行い、教員の講評及びゼミ生全員

		からの「評価シート」を受け取りましょう。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備します。 【事後学習】2 時間 授業での指示事項をもとに、プレゼンテーションを練り直しましょう。
第 28 回	改訂版プレゼンテーションの発表及び レポート作成に関する質問 受付とその対応	前回の内容を踏まえ、改訂版を発表していただきます。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションのブラッシュアップを行ってください。 【事後学習】3 時間 プレゼンテーションを基盤にして、レポートを作成しましょう。
第 29 回	レポート提出と読み合わせ	作成したレポートを共有設定のドライブにアップロードし、全員の協働で添削作業をしてゆきましょう。 【事前学習】2 時間 レポートを改訂しておきましょう。 【事後学習】2 時間 授業内での指示事項をもとに、さらにリライトしておきましょう。
第 30 回	レポート講評	今年度の最終授業となります。リライト後のレポートへ、講評を加えます。 【事前学習】2 時間 レポートの改訂作業 【事後学習】2 時間 講評後の見直し

授業形式	
<p>・授業形式は「同時双方向型」とします。</p> <p>・質問等のフィードバックは原則として講義内で行うが、レポートの書き方に関する指導などは Gmail 及び添付ファイルなども用いて行います。</p> <p>・授業時には随時発表やディスカッションを行うなど、アクティブ・ラーニングを実施します。</p>	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	60%	0%	20%	20%	100%
評価の特記事項					
「その他」はプレゼンテーション課題です。前期と後期にそれぞれ、レポート提出とプレゼンが必須となります。					

テキスト
菊田千春他『大学生のための論理的に書き、プレゼンする技術』東洋経済新報社，2015 年．
参考文献
授業時にその都度指示します。
オフィスアワー
授業時に指示します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミナールは講義とは異なり，受動的な姿勢で「聞くだけ」「レポート課題を提出するだけ」では成立しません。当ゼミでは教養研究(一)の段階から，各自のテーマに沿って研究に取りかかっていますが，課題の決定過程や問題の立て方，そして実際にレポート（最終的に研究論文に取り込むもの）を執筆してゆく過程で，常に他のゼミ生と問題意識を共有し，随時ディスカッションを行って，考察を深めていく必要があります。
授業用 URL
参考 URL 1
https://www.eco.nihon-u.ac.jp/seminar/yasudashizuka/
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	32
担当教員	薮越 知子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	水 4	単位区分	選
講義室	7063	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国語学習ストラテジー（外国語をより効果的・効率的に学ぶための方法や行動）を理解し、説明できる。 2. 外国語学習ストラテジーを自身の外国語学習に応用し、言語能力を高めることができる。 3. 学術論文を読み、調査目的、調査方法、分析結果、考察等を自分の言葉で説明できる。 4. 物事を深く考え、論理的に考えることができる。 <p>対応 D P 及び C P 1, 2, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>どうすれば、外国語をより効果的・効率的に習得することができるのでしょうか。このゼミでは、外国語学習ストラテジー（外国語をより効果的・効率的に学ぶための方法や行動）について研究し、皆さんの外国語学習に役立ててもらいます。また、外国語学習ストラテジーに関する研究テーマを設定し、調査、分析、考察という一連の作業を通して、論理的思考力の育成もはかります。加えて、ディスカッションをかさねて、物事を深く考え、批判的に見る目も養います。</p> <p>本講義では、自分が興味・関心を寄せている言語スキル（スピーキング、リスニング、リーディング、ライティング、語彙、文法など）について、各自が情報を収集し、各スキルをアップさせるためのストラテジーや研究論文をゼミで発表してもらいます。</p>

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容，講義の形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 シラバスやゼミナルガイドをよく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し，授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておく。
第 2 回	達人の学習法の概要	講義で使用するテキストを概観し、発表の準備を進める。 【事前学習】2 時間 テキストとシラバスをよく読んでおく。 【事後学習】2 時間 テキストの概要をよく復習し，出てきたキーワードを説明できるようにしておく。
第 3 回	学習要因に関する発表と問題演習	学習要因を発表する。その後、各自の学習適性やスタイルについて熟考する。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所をよく読み，発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が発表して修正された点や気づいたことなどから，自分の発表時に注意すべきことをまとめる。
第 4 回	達人に見る学習計画に関する発表と問題演習	達人に見る学習計画を発表する。その後、各自の学習計画を策定する 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所をよく読み，発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が発表して修正された点や気づいたことなどから，自分の発表時に注意すべきことをまとめる。
第 5 回	リスニングとリーディングの学び方に関する発表と問題演習	リスニングとリーディングの学び方を発表する。その後、問題演習を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所をよく読み，発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が発表して修正された点や気づいたことなどから，自分の発表時に注意すべきことをまとめる。
第 6 回	スピーキングとライティングの学び方に関する発表と問題演習	スピーキングとライティングの学び方を発表する。その後、問題演習を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所をよく読み，発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が発表して修正された点や気づいたことなどから，自分の発表時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	ボキャブラリーとグラマーの学び方に関する発表と問題演習	ボキャブラリーとグラマーの学び方を発表する。その後、問題演習を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所をよく読み，発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が発表して修正された点や気づいたことなどから，自分の発表時に注意すべきことをまとめる。
第 8 回	達人の英語学習法の総括とスキル別学習法	達人の英語学習法を総括し、自分が調べたいスキルを決定する。 【事前学習】2 時間 テキストをよく読んでおく。 【事後学習】2 時間 スキル別の学習法に関する論文を検索する。
第 9 回	スキル別学習法に関する論	各自で検索・入手した文献の内容を順番に報告し，討論する。

	文報告	<p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、発表資料を作成する。また、学習法に関する疑問点を抽出しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の発表時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 10 回	スキル別学習法に関する論文報告	<p>各自で検索・入手した文献の内容を順番に報告し、討論する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、発表資料を作成する。また、学習法に関する疑問点を抽出しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の発表時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 11 回	スキル別学習法に関する論文報告	<p>各自で検索・入手した文献の内容を順番に報告し、討論する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、発表資料を作成する。また、学習法に関する疑問点を抽出しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の発表時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 12 回	スキル別学習法に関する論文報告	<p>各自で検索・入手した文献の内容を順番に報告し、討論する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、発表資料を作成する。また、学習法に関する疑問点を抽出しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の発表時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 13 回	スキル別学習法に関する論文報告	<p>各自で検索・入手した文献の内容を順番に報告し、討論する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、発表資料を作成する。また、学習法に関する疑問点を抽出しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の発表時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 14 回	スキル別学習法に関する論文報告	<p>各自で検索・入手した文献の内容を順番に報告し、討論する。</p> <p>【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、発表資料を作成する。また、学習法に関する疑問点を抽出しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の発表時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 15 回	まとめと Q/A	<p>これまでの総括をし、後期の発表に向けて、自信の研究テーマを明確化する</p> <p>【事前学習】2 時間 これまでの発表資料をよく読んでおく。</p> <p>【事後学習】2 時間 後期の発表に向けて、論文を検索する。</p>
第 16 回	後期のイントロダクション	<p>講義の内容、講義の形式、評価方法、履修上の注意点について説明する。</p> <p>【事前学習】2 時間 Google Classroom にアップしたシラバスをよく読んでおく。夏休みの自主学習の内容を報告できるようにまとめておく。</p> <p>【事後学習】2 時間</p>

		授業内容をよく復習し、授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておく。
第 17 回	文献収集 1	文献収集を行う。 【事前学習】2 時間 各自の研究テーマを明確化する。 【事後学習】2 時間 集めた文献にざっと目を通し、後期のゼミで発表する論文を 1 本選出する。
第 18 回	文献収集 2	文献収集を行う。 【事前学習】2 時間 各自の研究テーマを明確化する。 【事後学習】2 時間 集めた文献にざっと目を通し、後期のゼミで発表する論文を 1 本選出する。
第 19 回	論文報告 1	各自で検索・入手した文献の内容を順番に報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、発表資料を作成する。また、学習法に関する疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の発表時に注意すべきことをまとめる。
第 20 回	論文報告 2	引き続き、各自で検索・入手した文献の内容を順番に報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、発表資料を作成する。また、学習法に関する疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の発表時に注意すべきことをまとめる。
第 21 回	論文報告 3	引き続き、各自で検索・入手した文献の内容を順番に報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、発表資料を作成する。また、学習法に関する疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の発表時に注意すべきことをまとめる。
第 22 回	論文報告 4	引き続き、各自で検索・入手した文献の内容を順番に報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、発表資料を作成する。また、学習法に関する疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の発表時に注意すべきことをまとめる。
第 23 回	論文報告 5	引き続き、各自で検索・入手した文献の内容を順番に報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、発表資料を作成する。また、学習法に関する疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の発表時に注意すべきことをまとめる。
第 24 回	論文報告 6	引き続き、各自で検索・入手した文献の内容を順番に報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、発表資料を作成する。また、学習法に関する疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間

		自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の発表時に注意すべきことをまとめる。
第 25 回	章立て	<p>これまでに発表した資料を概観し、研究論文の章立てを作成する。</p> <p>【事前学習】2 時間 これまでの発表資料をよく読んでおく。</p> <p>【事後学習】2 時間 発表内容をよく復習し、出てきたキーワードを説明できるようにしておく。</p>
第 26 回	章立ての発表 1	<p>研究論文の章立てを各自報告し、討論する。</p> <p>【事前学習】2 時間 各自の章立てに関する発表資料を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の発表時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 27 回	章立ての発表 2	<p>引き続き、研究論文の章立てを各自報告し、討論する。</p> <p>【事前学習】2 時間 各自の章立てに関する発表資料を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の発表時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 28 回	章立ての発表 3	<p>引き続き、研究論文の章立てを各自報告し、討論する。</p> <p>【事前学習】2 時間 各自の章立てに関する発表資料を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の発表時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 29 回	章立ての発表 4	<p>引き続き、研究論文の章立てを各自報告し、討論する。</p> <p>【事前学習】2 時間 各自の章立てに関する発表資料を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の発表時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 30 回	まとめと Q/A	<p>これまでの総括をし、各自の研究テーマを明確化する。</p> <p>【事前学習】2 時間 これまでの発表資料をよく読んでおく。</p> <p>【事後学習】2 時間 今後の研究課題を整理する。</p>

授業形式

- ・授業形態は「①同時双方向型(Zoom)」とする。
- ・質問等は講義内で受け付け、フィードバックも原則として講義内に行う。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	20%	0%	40%	40%	100%
評価の特記事項					
参加，発表・討議，課題提出で総合的に評価します。年間欠席回数が6回に達した場合は単位を認定しません。2回遅刻すると1回の欠席とみなします。					

テキスト
竹内理（著）『達人の英語学習法－データが語る効果的な外国語習得法とは』草思社，1,500円＋税
参考文献
授業中に指示する。
オフィスアワー
水曜日 12：20～12：50。事前に授業後またはメールでアポをとること。なお，メールアドレスは，授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
欠席する場合は，必ず担当教員に連絡してください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	33
担当教員	山岸 郁子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	金 4	単位区分	選
講義室	3093	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>ゼミナールのテーマは「日本近代文学とメディア」である。</p> <p>表象文化が新聞・雑誌・ラジオ・テレビ・インターネットなど様々なマス（大量）メディアとジャーナリズムとの関係性の中で生成された過程をとらえなおし，分析・批評する力を身につけることができるようになる。研究対象は文学作品に限らず，映像作品，漫画，音楽，演劇，広告表現など広範囲にわたる。ゼミではディスカッションを重視し，コミュニケーション能力を高めることができる。</p> <p>対応DP及びCP1, 2, 6, 7, 8</p>
授業概要（教育目的）
<p>1.文学作品をめぐるさまざまなメディア（新聞・雑誌・書籍・電子書籍他）について，個別に作品を選び分析，発表し，内容を理解する。</p> <p>2.近代という視覚革命がもたらした表象文化の展開という側面から映像メディア等について分析，発表し，内容を理解する。</p> <p>3.現代性を浮かび上がらせている表現（音楽・漫画などジャンルを問わない）を検証し，その個別性について考察する。</p> <p>1～3の中から各自作品・テーマを決定し，レジュメやpptを使用して60分の個人発表を行う。またグループで研究テーマを決め，それに即した調査を行い，発表し，研究を深化させる。</p>

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	<p>予め資料をダウンロードして確認し、教養研究（一）の学習で得た知識や分析方法を確認し、教養（二）における課題と目標を決定する。</p> <p>【事前学習】2 時間 資料を読む。</p> <p>【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。</p>
第 2 回	報告と討論の実践	<p>研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 3 回	報告と討論の実践	<p>研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 4 回	報告と討論の実践	<p>研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 5 回	報告と討論の実践	<p>研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 6 回	報告と討論の実践	<p>研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 7 回	報告と討論の実践	<p>研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 8 回	報告と討論の実践	<p>研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 9 回	報告と討論の実践	<p>研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>
第 10 回	報告と討論の実践	<p>研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。</p> <p>【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。</p>

[illegible]

		【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 22 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 23 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 24 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 25 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 26 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 27 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 28 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 29 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 30 回	総括	1 年間の課題を振り返り、課題点をグループでまとめ、発表する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。

授業形式
<p>授業方法は①同時双方型とする。</p> <p>質問は随時ゼミ時に受け付ける。</p> <p>ecolink や Gmail でも受け付ける。1 週間以内に回答する。</p>

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	60%	10%	1
評価の特記事項					
ゼミでの発表や質疑応答のほか，ゼミで分担した係（司会やコメンテーターなど）を遂行しているかどうか総合的に判断する。					

テキスト
適宜指示する。
参考文献
適宜指示する。
オフィスアワー
水曜日 14 時 40 分～16 時 10 分 ※メールにて必ずアポイントをとること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミは表現の「しくみ」について，書籍・映像・広告・音楽などを通して探る場所です。どのように表現されているのかを探求し，自分の言葉でそれを説明するのが目標であって，そこに 1 つの「正解」があるわけではありません。考える訓練を積み重ねることによって，自分を取り囲む世界を観察するための見方や，自分の言葉で表現する力が鍛えられます。課題について必ず事前学習をしてゼミに臨んで下さい。また事後学習は「評価シート」をもとに自分の理解度を確認し，次の課題に取り組むための参考として下さい。 授業用 classroom は第 1 回目授業でお知らせします。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(二)	クラス	37
担当教員	リチャード パウエル	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	3 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	水 2	単位区分	選
講義室	7062	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
<p>言語対方言についてのディスカッション。危機に瀕した言語の概要。プレゼンテーション準備の説明。報告と討論の実践 〇〇についてグループで報告し、討論する。</p> <p>【事前学習】2 時間 日本でも言語死亡について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。</p> <p>対応 DP 及び CP:1,2,6,7,8</p>
授業概要（教育目的）
<p>Analysis and discussion of topics on language and human rights presented by teacher by way of group work during class and individual research prior to class. Students may discuss and present in either Japanese or English but after reading a variety of English materials in the first year of the semester they are expected to be able to read and analyse English as well as Japanese materials from a number of sources. 授業中のグループワークと授業前の個別研究を通じて教師が提示した言語と人権に関するトピックの分析と議論。学生は日本語または英語で議論し、発表することができると期待されますが、教養研究 1 にさまざまな英語の資料を読む経験があったので、さまざまな資料を日本語でも英語でも読んで分析できることが期待されます。</p>

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	Introduction コース紹介	多様な視点から見た人権 についてのディスカッション。授業の進め方の紹介。 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべき ことをまとめる。
第 2 回	Universal Declaration of Human Rights 世界人権宣言	言語的人権、言語に基づいた差別についてのディスカッション。グループワークの進め方の説明。グループワークの実践。 言語的人権についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 言語に基づいた差別とは何か調べておく。 【事後学習】2 時間 言語に基づいた差別について問題点を整理する。
第 3 回	Language death and linguistic human rights 言語死亡と言語的人権	言語対方言についてのディスカッション。危機に瀕した言語の概要。プレゼンテーション準備の説明。報告と討論の実践 【事前学習】2 時間 日本でも言語死亡について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 語死亡に関する資料等により理解を深める。
第 4 回	Rights to mother tongue education 母語で教育を受ける権利	母語、第一言語、ネイティブ スピーカーの区別のディスカッション。発表の計画の説明。
第 5 回	Educational arms race 教育の国際競争	教育の国際化についてのディスカッション。今週のテーマについて学生の発表。先週のテーマに関するクイズ。報告と討論の実践 教育の国際競争についてグループで報告し、 討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 6 回	Language disadvantage in employment 雇用における言語による不利益	雇用と言語についてのディスカッション。今週のテーマについて学生の発表。先週のテーマに関するクイズ。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 7 回	Freedom of expression 表現の自由	表現の自由についてのディスカッション。今週のテーマについて学生の発表。先週のテーマに関するクイズ。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 8 回	Hate speech ヘイトスピーチ	海外と日本のヘイトスピーチ法の比較。差別的言動についてのディスカッション。今週のテーマについて学生の発表。先週のテーマに関するクイズ。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 9 回	Political correctness ポリコレ言葉	言葉使い対表現の自由についてのディスカッション。今週のテーマについて学生の発表。先週のテーマに関するクイズ。【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 10 回	Linguistic imperialism 言語帝による国主義	英語や「世界・地域的共通語」の政治・経済的力についてのディスカッション。今週のテーマについて学生の発表。先週のテーマに関するクイズ。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 11 回	Language crimes 言語による犯罪	特定の形式のスピーチまたはライティングの犯罪化についてのディスカッション。今週のテーマについて学生の発表。先週のテーマに関するクイズ。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 12 回	Defamation 名誉毀損	名誉毀損の説明及び国際比較。今週のテーマについてのディスカッション。今週のテーマについて学生の発表。先週のテーマに関するクイズ。

		<p>【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。</p>
第 13 回	Legal interpreting 司法通訳	<p>裁判での通訳の特徴についてのディスカッション。今週のテーマについて学生の発表。先週のテーマに関するクイズ。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。</p>
第 14 回	Legal language 司法言語	<p>法律関係の言語の特徴についてのディスカッション。今週のテーマについて学生の発表。先週のテーマに関するクイズ。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。</p>
第 15 回	Neocolonial law 新植民地主義	<p>経済的・文化的帝国主義についてのディスカッション。今週のテーマについて学生の発表。先週のテーマに関するクイズ。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。</p>
第 16 回	Plain language 易しい言葉、わかりやすい言葉	<p>難しい言葉とわかりやすい言葉についてのディスカッション。今週のテーマについて学生の発表。先週のテーマに関するクイズ。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。</p>
第 17 回	Language support for the deaf and blind 聴覚障・視力障害者のための言語サポート	<p>様々な障害と言語についてのディスカッション。今週のテーマについて学生の発表。先週のテーマに関するクイズ。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。</p>
第 18 回	Privacy プライバシー	<p>プライバシーという概念の進化についてのディスカッション。今週のテーマについて学生の発表。先週のテーマに関するクイズ。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。</p>
第 19 回	Secrecy& access to information 秘密保護法と情報へのアクセス	<p>情報アクセスの自由 についてのディスカッション。今週のテーマについて学生の発表。先週のテーマに関するクイズ。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。</p>
第 20 回	Copyright 著作権	<p>著作権、商標と特許の比較。著作権についてのディスカッション。今週のテーマについて学生の発表。先週のテーマに関するクイズ。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。</p>
第 21 回	Trademarks 商標	<p>商標についてのディスカッション。今週のテーマについて学生の発表。先週のテーマに関するクイズ。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。</p>
第 22 回	Patents 特許	<p>特許についてのディスカッション。今週のテーマについて学生の発表。先週のテーマに関するクイズ。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。</p>
第 23 回	Plagiarism 盗作と剽窃	<p>盗作についてのディスカッション。今週のテーマについて学生の発表。先週のテーマに関するクイズ。剽窃と卒論の関係についての助言。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。</p>
第 24 回	Review of main topics 主なトピックのレビュー	<p>教員やゼミ生から主なトピックのサマリー。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。</p>
第 25 回	Basic research skills: note-taking	<p>報告向けのスキルのワークショップ（１）：メモのとり方。</p> <p>【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。</p> <p>【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。</p>

第 26 回	Basic research skills: book reports 基礎研究 スキル：書籍サマリー	報告向けのスキルのワークショップ（２）：批判的読解。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 27 回	Basic research skills: surveys 基礎研究ス キル：アンケート	報告向けのスキルのワークショップ（３）： アンケートの実施。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 28 回	Basic research skills: interviews 基礎研究ス キル：面接	報告向けのスキルのワークショップ（４）： 面接の計画。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 29 回	Rethinking language and human rights in the real world (1) International issues.現 実世界における言語と人権 の再考（１）国際問題	現実世界における言語と人権についてグループで報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 30 回	Rethinking language and human rights in the real world (2) Japanese issues.現実世 界における言語と人権の再 考（１）国際問題	現実世界における言語と人権についてグループで報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。

授業形式
Seminar study. ゼミの小グループ研究

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	40%	30%	30%	0%	100%
評価の特記事項					
クラスの資料の分析と独立したフォローアップ、独創的なアイデアの論理的提示が最も重要な評価基準になります					

テキスト
参考文献
www.english-in-asia.blogspot.com
オフィシアワー
原則として水曜日のお昼ですが、前もってメールしてください : richard.powell@nihon-u.ac.jp
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
言語をただのコミュニケーションツールとしてではなく、社会的人権や個人の自由を左右する現象として扱います。「英語は米英帝国主義の全能武器なのか、それとも国際交流のための道具なのか？」のような問題は日常生活にも具体的な影響があります。母国語で勉強できない発展途上国の子供たち、外国語での尋問が理解できず投獄された日本人容疑者。ことばの壁は人権の壁にもなりうるのです。そういった課題について、多方面から議論しましょう。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2